



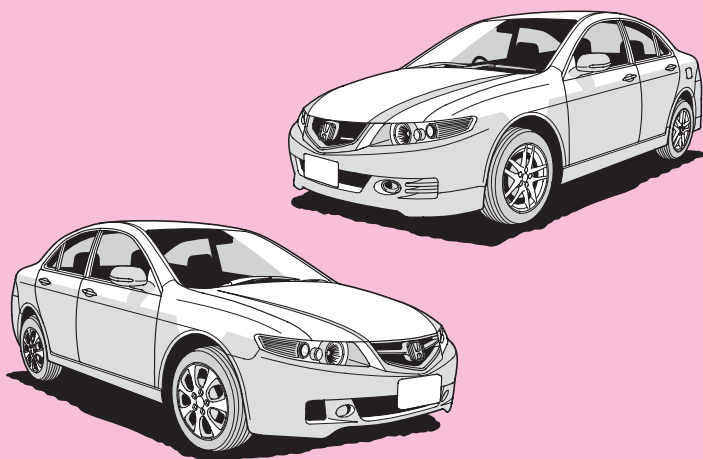
取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

ACCORD

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **ACCORD** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



● 運転はルールを守り、マナーよく。 ● シートベルトを着用しましょう。 ● 法定速度を守りましょう。 ● 子供やお年寄りをいたわりましょう。 ● 駐停車は、ルールに従いましょう。 ● 迷惑運転はやめましょう。 ● 自然環境保護に気をくばりましょう。	● お車に“  ”の表示があるところは、ご使用前に本書の記載を確認してください。
	● 取扱説明書は、メンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。
	● お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
● 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	● ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読 6 ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えてあります

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ

インデックス
(→4ページ)

7. 車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い



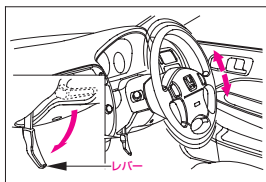
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

△知識

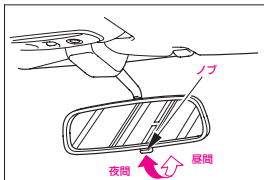
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次と対応しているので、目的のページが
辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6~P.10)



名称から探すとき



さくいん
(P.422~P.432)

目 次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. お出けまえに 12 | 2. お子さまに思いやりを 14 |
| 3. 正しい知識で最適運転 18 | 4. オートマチック車の注意ポイント 20 |
| 5. 駐車や停車はしっかりと 24 | 6. こんなことにも注意をしよう 26 |

11

1. 車を運転する前に

- | | | |
|--------------------|----------------|------------------|
| ・各部の開閉 34 | ・セキュリティシステム 60 | ・シートの調節 64 |
| ・ハンドル・バックミラーの調節 74 | ・シートベルト 80 | ・チャイルドシート固定装置 88 |

33



2. 車を運転するときに

- | | | |
|-------------|-------------------------|----------------|
| ・メーター 94 | ・マルチインフォメーションディスプレイ 100 | |
| ・表示灯 110 | ・警告灯 118 | ・スイッチの使いかた 130 |
| ・運転のしかた 154 | ・リミテッドスリップデフ(LSD) 184 | |

93



3. 安全装備

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| ・SRSエアバッグシステム 186 | |
| ・サイドエアバッグシステム／サイドカーテンエアバッグシステム 194 | |
| ・シートベルトプリテンショナー 210 | ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 212 |
| ・ピークルスタビリティアシスト(VSA) 214 | ・四輪駆動機構(4WD) 218 |
| ・その他の安全装備 220 | |

185



4. ドライブを快適にする装備

- | | | |
|----------------------|---------------|------------|
| ・インフォメーションディスプレイ 222 | ・エアコン 224 | ・オーディオ 254 |
| ・室内装備品 306 | ・カスタマイズ機能 320 | |

221



5. 万一のとき

- | | | |
|--------------------|--------------|------------------|
| ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 328 | ・故障したとき 330 | ・事故が起きたとき 332 |
| ・けん引 334 | ・パンクしたとき 338 | ・オーバーヒートしたとき 348 |
| ・電気系統が異常のとき 350 | | |

327



6. 車の手入れ

- | | | |
|----------------|-------------|-----------------|
| ・点検・整備について 378 | ・日常の手入れ 380 | ・車にあった部品の使用 394 |
|----------------|-------------|-----------------|

377



7. 車との上手なつきあい

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ・積雪・寒冷時の取り扱い 396 | ・こんなときは 406 |
| ・環境にやさしい省エネドライブをするために 410 | |

395



・サービスデータ

414

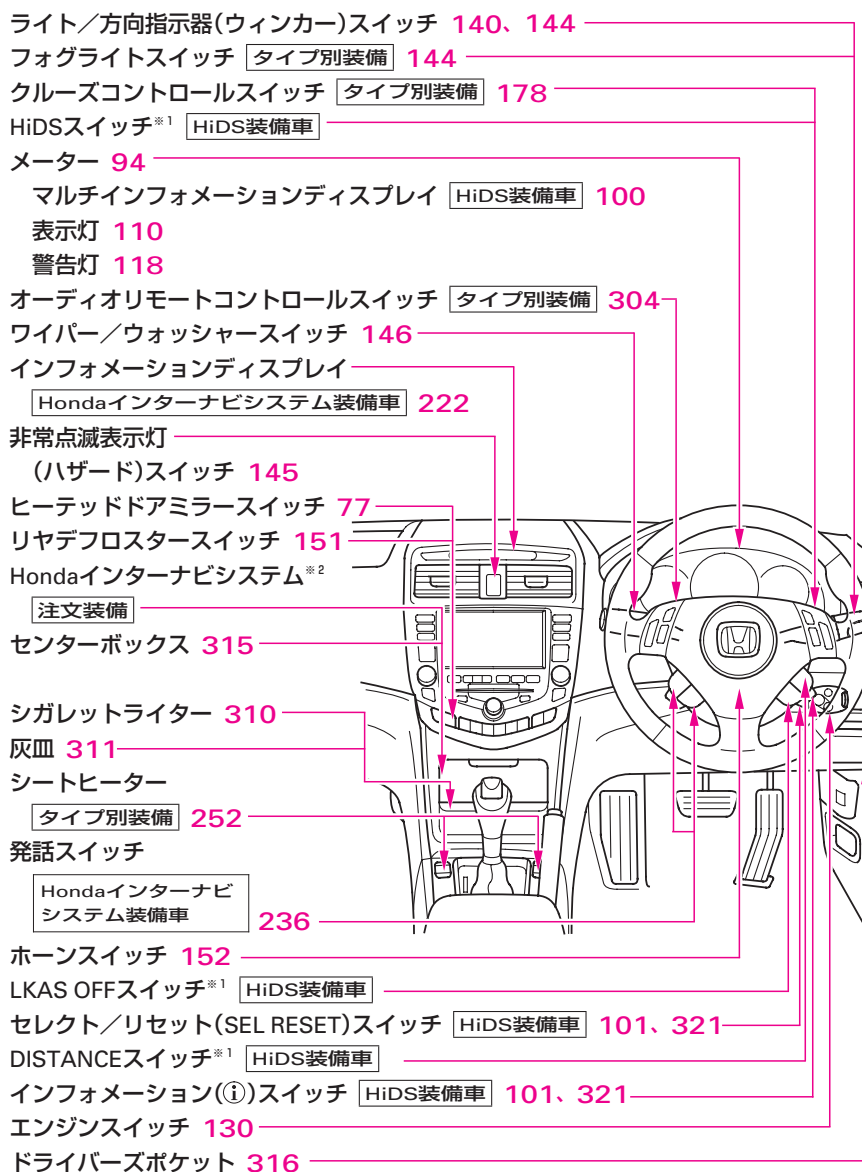
・さくいん

422

・こんなことでお困りのとき

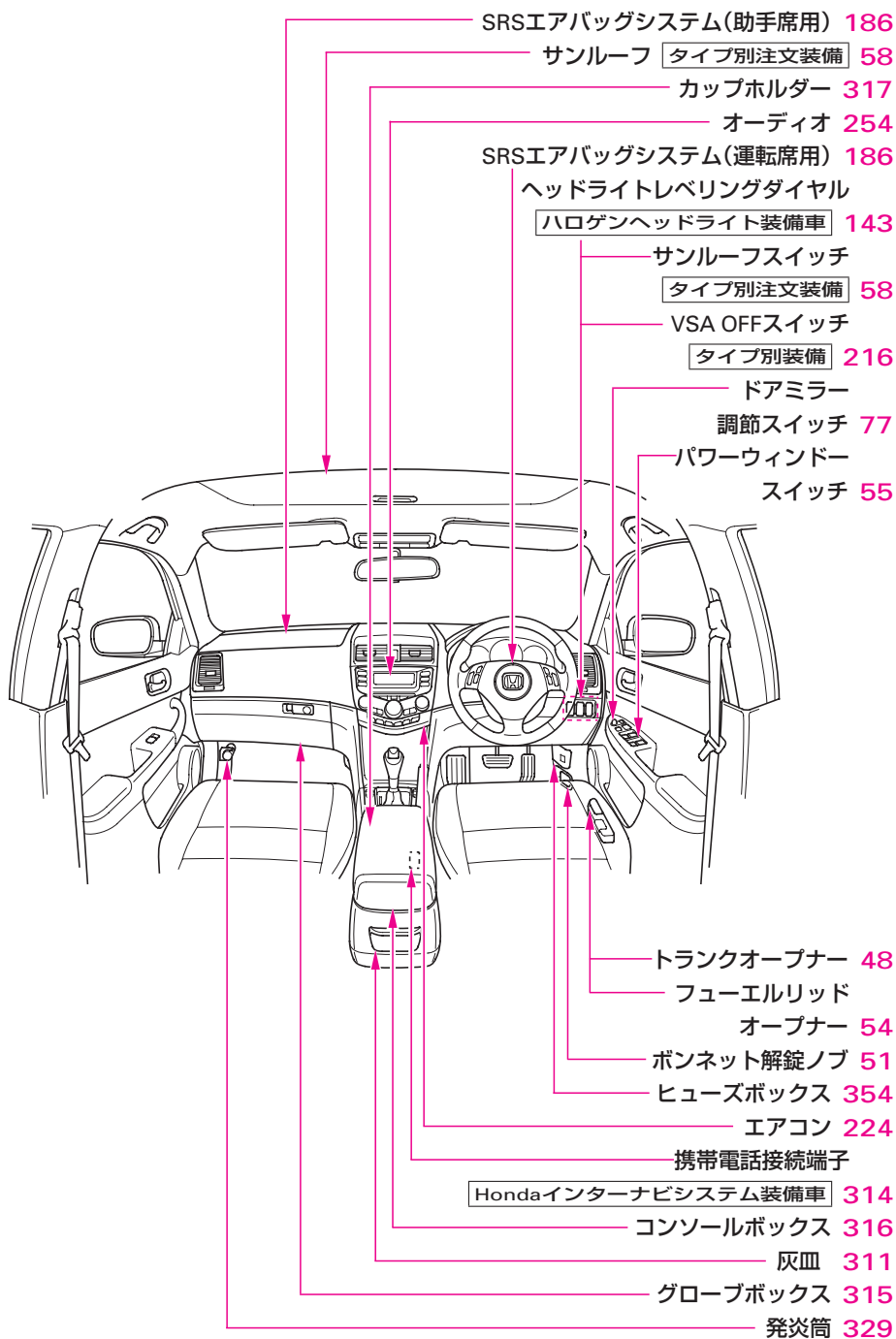
巻末

ビジュアル目次



※ 1 : 別冊のHiDS取扱説明書をご覧ください。

※ 2 : 別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。



ビジュアル目次

RECAROシート非装備車

シートベルト(チャイルドシート固定機構付き) 88

室内灯 306

サイドカーテンエアバッグシステム 注文装備 194

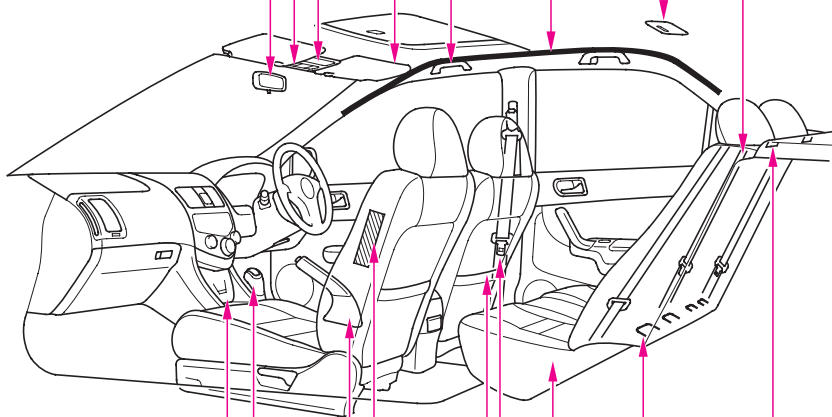
グラブレール 318

サンバイザー 312

サングラスホルダー 313

マップランプ 307

ルームミラー 75



センターボックス 315

セレクトレバー オートマチック車 162

パーキングブレーキ 158

サイドエアバッグシステム

注文装備 194

フロントマニュアルシート 68

フロントパワーシート(運転席のみ)

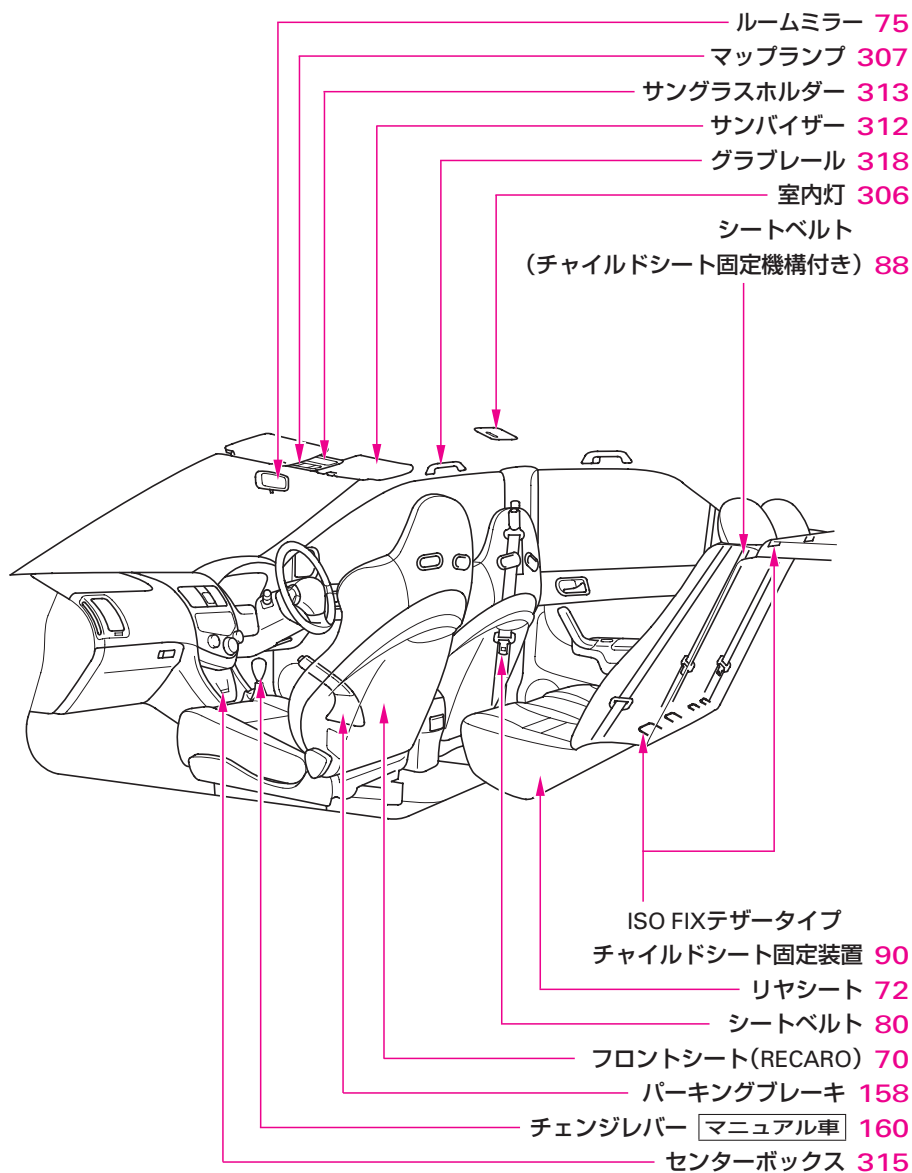
タイプ別装備 66

シートベルト 80

リヤシート 72

ISO FIXテザータイプチャイルドシート固定装置 90

RECAROシート装備車



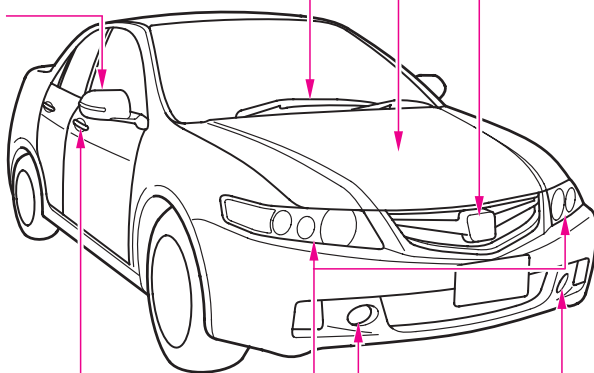
ビジュアル目次

レーダーセンサー(エンブレムの奥)* HiDS装備車

ボンネット 51

ワイパー 146

ドアミラー 76



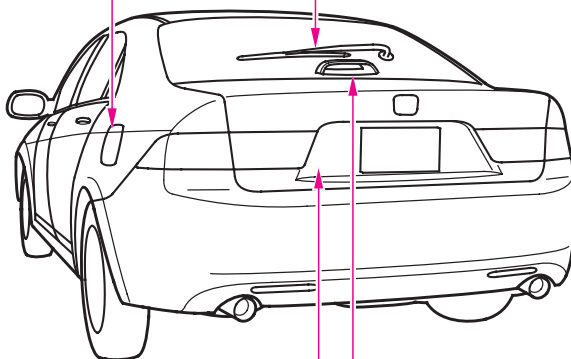
ドアの施錠、解錠 39

ヘッドライト 140

フォグライト タイプ別装備 144

リヤワイパー 4WD車 150

燃料補給口 53



トランク 47

ハイマウントストップランプ 220

※：HiDSについては、別冊のHiDS取扱説明書をご覧ください。

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 18
- オートマチック車の注意ポイント… 20
- 駐車や停車はしっかりと…………… 24
- こんなことにも注意をしよう…………… 26

1 お出かけまえに…

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、Honda販売店で点検を受けてください。

(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…)

- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<80ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



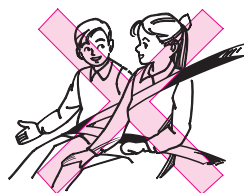
- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



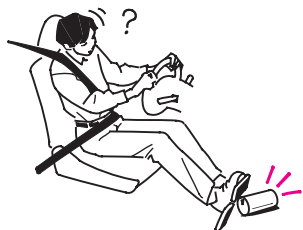
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



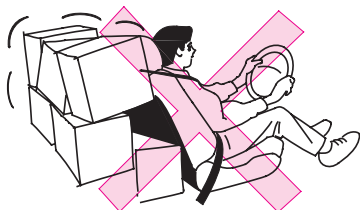
運転の妨げになる物には注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

後方視界を妨げたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。

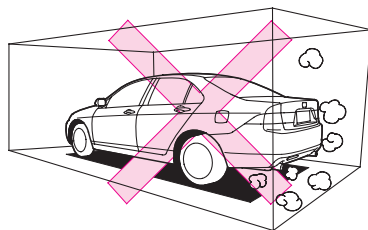


排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。

車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらHonda販売店で点検を受けてください。

車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

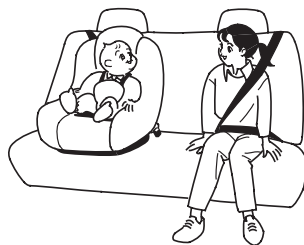
お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転の妨げになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・サイドエアバッグ装備車では、フロントドアに寄りかかった状態での乗車は、サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート*をお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトが当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

- シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
- チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- この車には、ISO FIX テザータイプのチャイルドシートを固定するための固定専用バーとテザーアンカーが装備されています。
この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

ISO FIXテザータイプチャイルド

シート固定装置 →90ページ

- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISO FIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド) シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

ISO FIXテザータイプ

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用 (ベビー) シート	～9	～70	～9か月
幼児用 (チャイルド) シート	9～18	70～100	9か月～4才

安全ドライブのための必読6ポイント

●チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。

- ・ISO FIX対応以外のチャイルドシートは、シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →82ページ

チャイルドシート固定機構付き

シートベルト →88ページ

- ・ISO FIX テザータイプのチャイルドシートは、固定専用バーとテザーアンカーを用いて固定します。テザーアンカーにテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。

- ・ISO FIX テザータイプのチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

ISO FIXテザータイプチャイルド

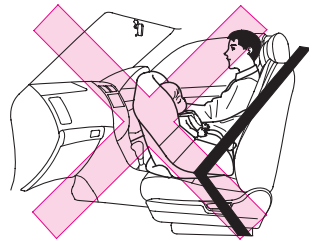
シート固定装置 →90ページ

- ・詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

●助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。

- ・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。

- ・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



●チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、サンルーフ、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、顔などをはさまないように、気をつけてください。
- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。

ドアが完全に閉まっていないと走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因となります。

- チャイルドブルーフを使って後席ドアを車内から開かないようにしてください。

<46ページ参照>

走行中にドアを開けると、お子さまが車外に放り出されるおそれがあります。

- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。

<55ページ参照>

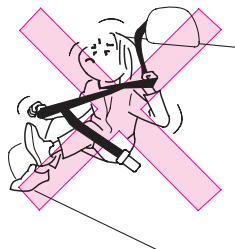
- 走行中、一時停止のときなど、窓やサンルーフから手や頭、物などを出さないよう、注意してください。思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。

ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。

万一ベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



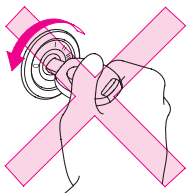
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作の妨げになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、効きが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。オートマチック車はD_Lを使ってください。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、シーケンシャルモードにして2速または1速にします。

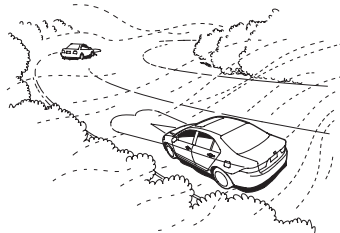


エンジンブレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよく効きます。

霧が出たときは。

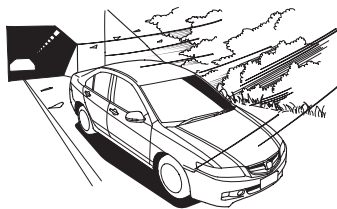
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起しやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→406ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

水たまりに入ったあとはブレーキの効き具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んで効き具合を確認してください。ぬれたブレーキは効きが悪かったり、ぬれていない片側だけが効いてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキの効きが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
＜118ページ参照＞

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかりと握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<168ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

- PまたはDで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

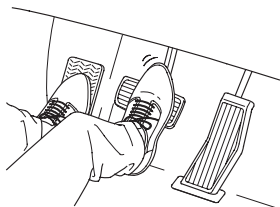
1 ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

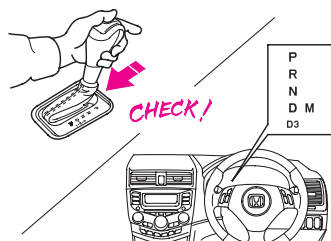
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンをかけるとき。**

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。



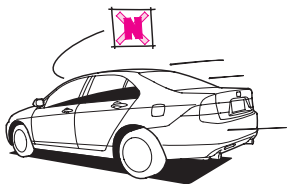
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がリ、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →18ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。

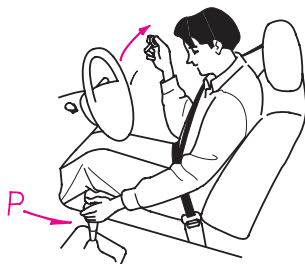
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。

万一、セレクトレバーがR/N以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR/N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

坂道などで、前進(□、■、■)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(□)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

- 後退したあとは、すぐ□から■にもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、□に入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、□に入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、□からのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- 以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

□以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

- に入るとチャイムが鳴ります。

- ・セレクトレバーが□のときにチャイムが鳴り、□に入っていることを運転者に知らせます。

- ・車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。

- 万一、□からセレクトレバーが操作できないときは：

- ・カバーを外し、

→171ページ

- ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、

- ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

シフトロック
解除穴

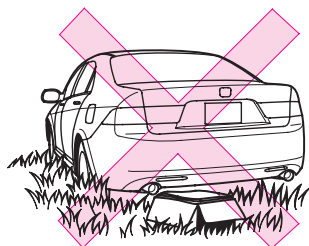


5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

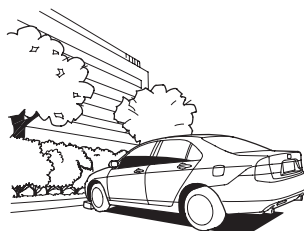
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



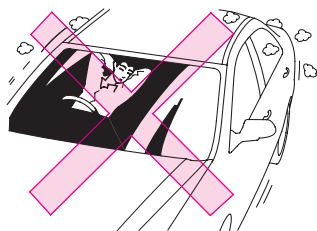
仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

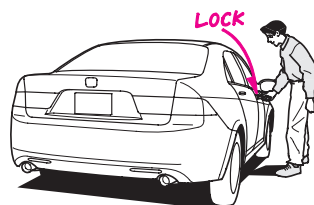
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	P
下り坂	R	
平地		

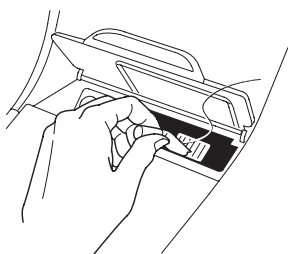
さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

安全ドライブのための必読6ポイント

こんなことにも 注意をしよう

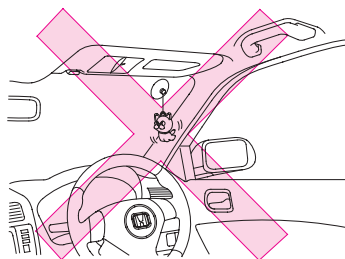
タバコの吸いからは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすい物を入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

- 運転視界の中にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・視界の妨げにより思わぬ事故のもとになります。
 - ・アクセサリーなどの揺れる動きが、車外の状況認識を遅らせることがあります。
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・吸盤がレンズのはたらきをして火災につながるおそれがあります。



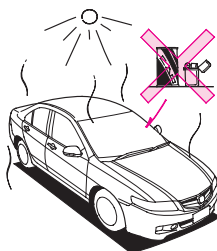
飲み物などを電装品にこぼさないように注意して。

オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

- ・運転者が運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- ・運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

- ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになることがあります。
- ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、ACCORD専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

Honda販売店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずHonda販売店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

安全ドライブのための必読6ポイント

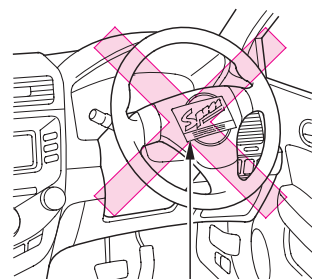
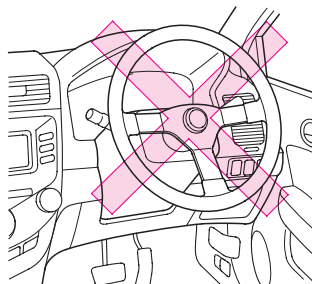
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

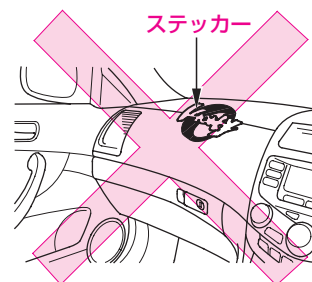
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります危険です。
- ・次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。

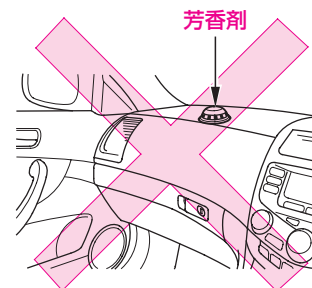
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



ステッカー



芳香剤

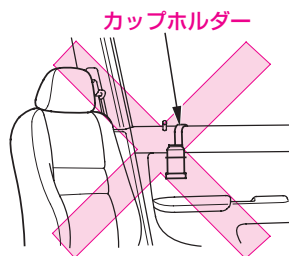
- 運転席および助手席用サイドエアバッグシステム装備車は、フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けたりしないでください。

フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。

フロントシートにシートカバーを取り付けしないでください。

また、新車時についているビニールのシートカバーは、必ず外してください。

- ・サイドエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。
 - ①フロントシートまわりの修理
 - ②センターコンソール付近の修理
 - ③カーステレオ等用品の取り付け
 - ④センターピラーまわりの修理



安全ドライブのための必読6ポイント

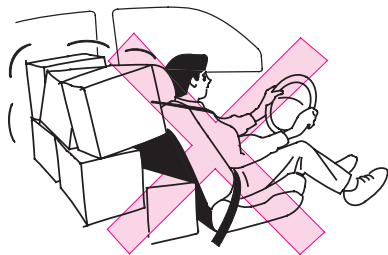
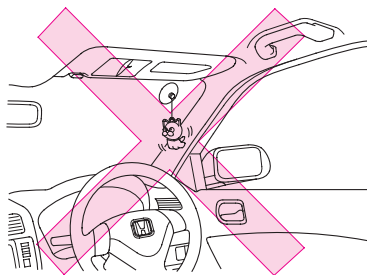
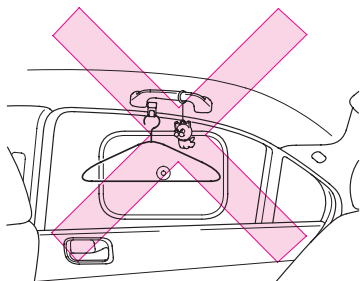
- サイドカーテンエアバッグシステム
装備車は、グラブレールに物をかけ
ないでください。

コートフックには、ハンガーや重い
物、とがった物をかけたりしないで
ください。

フロントガラス、ドアガラス、フロ
ント、センター、リアの各ピラーま
わりにアクセサリーなどを取り付け
ないでください。

また、座席に荷物を載せるときは、
ドアガラス下端部の高さを越えない
ようにしてください。

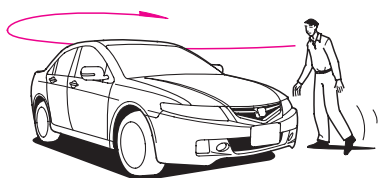
- ・ サイドカーテンエアバッグが正常
に機能しないことがあります。
- ・ 作動時にこれらの物が飛ぶことが
あり危険です。
- ・ 次の場合は、必ず、Honda販売
店にご相談ください。
 - ① フロント、センター、リアの各
ピラーまわりの修理
 - ② ルーフサイドまわりの修理
 - ③ センターコンソール付近の修理
 - ④ カーステレオ等用品の取り付け



発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

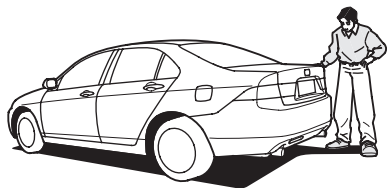
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

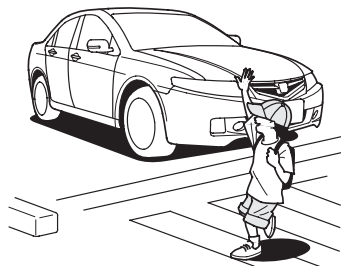


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。

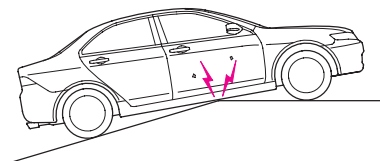
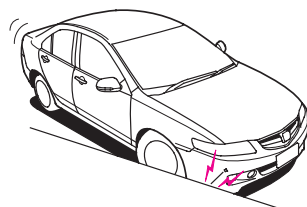
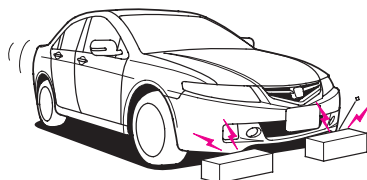


安全ドライブのための必読6ポイント

車止めなどに注意して。

●次のような場合には、フロントアンダースポイラー、マフラーおよび床下を損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- ・ 車止めのある場所への駐車
- ・ 路肩に沿っての駐車
- ・ 平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- ・ 路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・ 凹凸やわだちのある道路の走行
- ・ くぼみ(穴)のある個所の通過



車を運転する前に

●各部の開閉

キーの種類	34
ドアの施錠・解錠	39
トランク	47
ボンネット	51
燃料補給口	53
パワーウィンドー	55
サンルーフ	58

●セキュリティシステム

イモビライザーシステムに ついて	60
セキュリティアラーム システムについて	61

●シートの調節

正しい運転姿勢	64
フロントパワーシート (運転席のみ)	66
フロントマニュアルシート	68
フロントシート(RECARO)	70
リヤシート	72

●ハンドル・バックミラーの 調節

チルト／テレスコピック ステアリング	74
ルームミラー	75
ドアミラー	76

●シートベルト

シートベルト	80
着用のしかた	86

●チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構付き シートベルト(後席)	88
ISO FIXテザータイプ チャイルドシート固定装置 (後席外側2座席)	90

各部の開閉

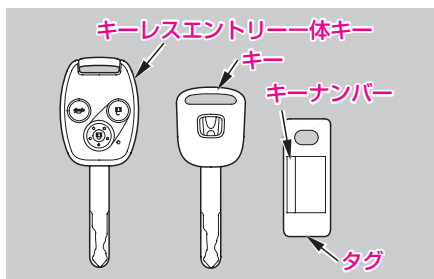
キーの種類

この車には、以下のキーが付いています。
すべてのキーには、イモビライザー機能
(車両盗難防止装置)が付いています。

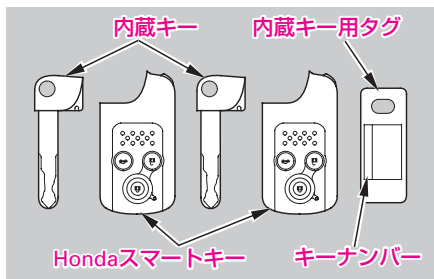
イモビライザーシステムについて

→60ページ

Hondaスマートキーシステム非装備車



Hondaスマートキーシステム装備車



知識

- タグにはキーナンバーが表示しています。キーを購入する際に必要となりますので、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
- キーを紛失したときや、追加したいときは、Honda販売店へご連絡ください。



●キー

Hondaスマートキーシステム非装備車

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアとトランク、グローブボックスの施錠・解錠に使えます。

ドアの施錠・解錠	→39ページ
エンジンのかけかた	→154ページ
グローブボックス	→315ページ

●キーレスエントリー一体キー

Hondaスマートキーシステム非装備車

キーはエンジンの始動、停止のほかに、ドアとトランク、グローブボックスの施錠・解錠に使えます。

キーレスエントリーでは、ドアとトランクの施錠・解錠およびトランクを開けることができます。

ドアの施錠・解錠	→39ページ
トランクボタン	→48ページ
エンジンのかけかた	→154ページ
グローブボックス	→315ページ

アドバイス

- キーおよびキーレスエントリー一体キーには、信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。
電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
 - ・火であぶったりしないでください。
- 電子部品が故障すると、エンジンの始動ができなくなったり、キーレスエントリーが正常に作動しなくなったりします。
そのようなときは、Honda販売店にご連絡ください。

知識

- キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

●Hondaスマートキー(キーレスエントリー機能付き)

Hondaスマートキーシステム装備車

Hondaスマートキーを携帯することで、ドアとトランクの施錠・解錠やエンジンの始動、停止およびトランクを開けることができます。

キーレスエントリーでは、ドアとトランクの施錠・解錠およびトランクを開けることができます。

ドアの施錠・解錠 →39ページ

トランク →48, 49ページ

エンジンのかけかた →154ページ

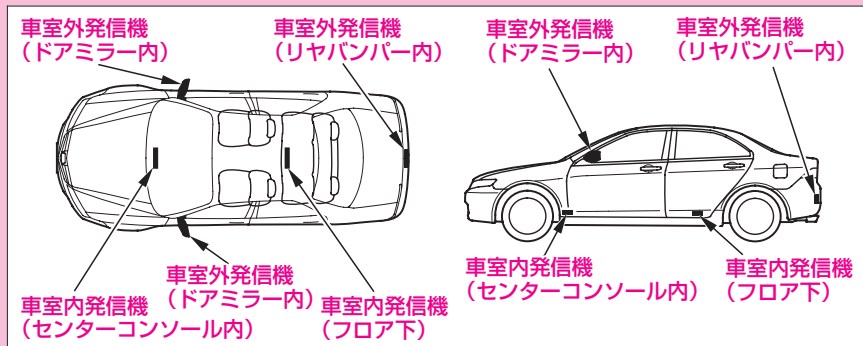
⚠ 注意

- ドアやトランクを施錠・解錠するときやエンジンスイッチを操作するとき、トランクを開けるときなどに車両からHondaスマートキーシステムの電波が発信されます。

その際、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える可能性があります。

車両に搭載されている発信機から22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が近づかないようにしてください。

その他の医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。





●内蔵キー

Hondaスマートキーシステム装備車

内蔵キーはエンジンの始動、停止のほかに、ドアとトランク、グローブボックスの施錠・解錠に使えます。

ドアの施錠・解錠 →38ページ

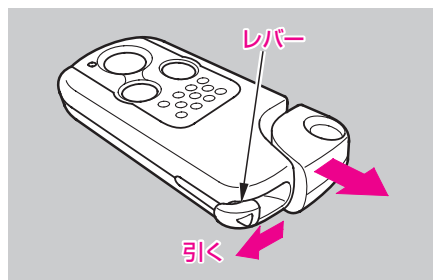
エンジンのかけかた →154ページ

グローブボックス →315ページ

Hondaスマートキーの電池が消耗したときや故障したときなどを考慮して、内蔵キーはHondaスマートキーに収納した状態で携帯してください。

取り出すとき

レバーを引きながら取り出します。



収納するとき

“カチッ”と音がするまで差し込みます。

アドバイス

- Honda スマートキーおよび内蔵キーには、信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
 - ・火であぶったりしないでください。
 - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けないでください。
 - ・テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置かないでください。
- 電子部品が故障すると、エンジンの始動ができなくなったり、Honda スマートキーシステムおよびキーレスエントリーが正常に作動しなくなったりします。そのようなときは、Honda 販売店にご連絡ください。

知 識

- Honda スマートキーシステムは、車両と Honda スマートキーとの電子照合を行うときに微弱な電波を使用しています。
次のような場合、正常に作動しなかったり、不安定な動作となることがあります。
 - ・近くに強い電波を発する設備があるとき。
 - ・Honda スマートキーを携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンなどと一緒に携帯しているとき。
 - ・Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われているとき。
- Honda スマートキーは常に電波を受信しているため、強い電波を受信し続けた場合は、電池を著しく消耗することがあります。
テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。
- Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況によりますが約 2 年です。

電池消耗警告 → 139 ページ

キーの電池が消耗したとき → 374 ページ



ドアの施錠・解錠

- キーで施錠・解錠するとき40
- キーレスエントリーで施錠・解錠するとき40
- Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき42
- 車内から施錠・解錠するとき45
- キーを使わないで施錠するとき45
- チャイルドブルーフ46

注意

- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止め、ドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

室内灯 →306ページ

●キーで施錠・解錠するとき

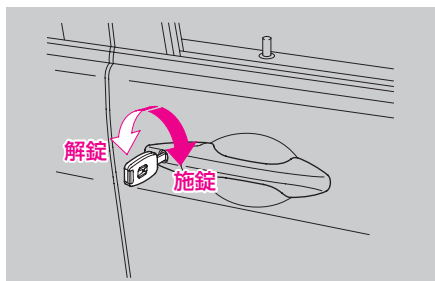
Hondaスマートキーシステム非装備車

キーを確実に差し込んで回します。
運転席ドアを解錠(施錠)すると、他のすべてのドアとトランクも同時に解錠(施錠)します。

Hondaスマートキーシステム装備車

内蔵キーを確実に差し込んで回します。
運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアとトランクも同時に施錠(解錠)します。

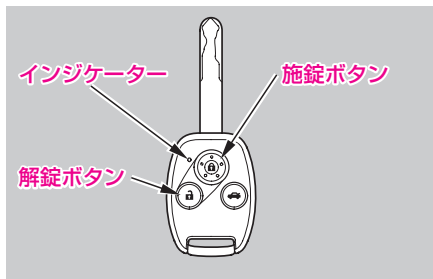
内蔵キー →37ページ



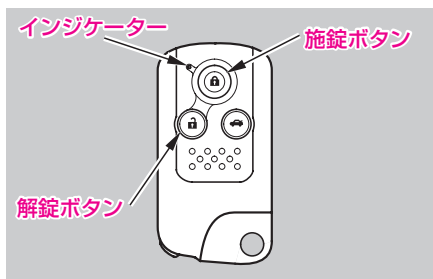
●キーレスエントリーで施錠・解錠するとき

施錠ボタンを押すとすべてのドアとトランクが施錠され、解錠ボタンを押すとすべてのドアとトランクが解錠されます。

Hondaスマートキーシステム非装備車

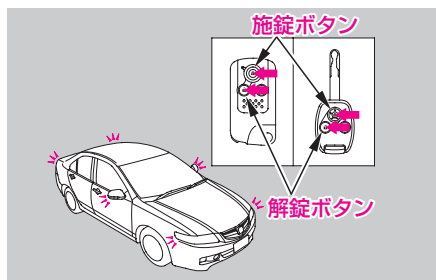


Hondaスマートキーシステム装備車





キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。



知識

- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。ボタンを押したときにインジケータが点灯しない場合は電池切れです。

キーの電池が消耗したとき

→374ページ

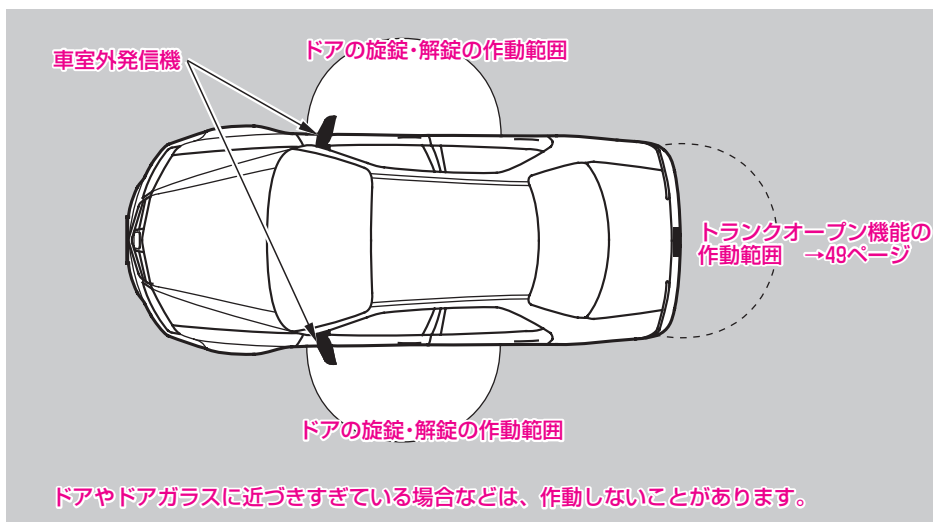
- キーレスエントリーで解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- 次の場合、キーレスエントリーは作動しません。
 - ・ エンジンスイッチが“0”以外のとき。
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき。
 - ・ ドアが開いているとき(施錠時のみ)

●Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき

Hondaスマートキーシステム装備車

ドアの施錠・解錠の作動範囲

ドアの施錠・解錠が作動する範囲は、運転席または助手席ドアハンドルから周囲約80cmの範囲です。



Hondaスマートキーは運転者が携帯してください。車内にHondaスマートキーを残したまま降車しないでください。

知 識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。そのようなときは、内蔵キーを使用してください。

キーで施錠・解錠するとき →40ページ

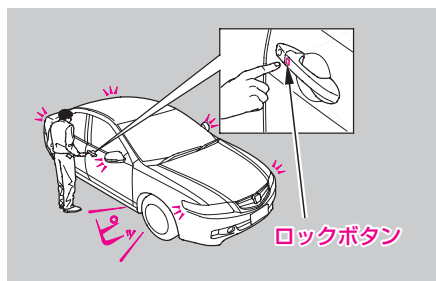
- ドアハンドルより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にある場合は、作動しないことがあります。
- 運転席ドアが施錠されているときに、トランクを閉めると、トランクも施錠されます。Hondaスマートキーをトランク内に置き忘れないでください。

トランクオープン機能の作動範囲 →49ページ



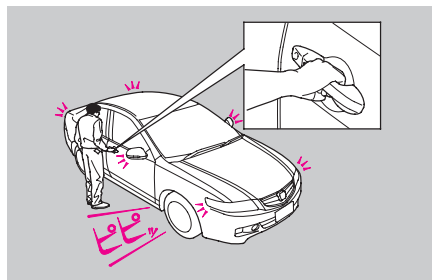
ドアの施錠

すべてのドアが閉まっているのを確認します。運転席または助手席ドアハンドルのロックボタンを押すと、すべてのドアとトランクが施錠されます。このとき、アンサーバックブザーが“ピッ”と鳴り、非常点滅表示灯が1回点滅します。



ドアの解錠

運転席または助手席ドアハンドルを握ると、すべてのドアとトランクが解錠されます。このとき、アンサーバックブザーが“ピピッ”と鳴り、非常点滅表示灯が2回点滅します。



知 識

- Hondaスマートキーで解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- Hondaスマートキーを携帯している人が同じ側の作動範囲内にいるときは、Hondaスマートキーを携帯していない人がロックボタンを押しても施錠され、ドアハンドルを握っても解錠されます。
- 革製やスキー用の手袋などをつけてドアハンドルを握った場合、解錠が遅れたり、解錠されないことがあります。
- ドアハンドルを握った直後に引くと、ドアが開かないことがあります。ドアハンドルをもう一度握り直し、解錠されていることを確認してから引いてください。
- Hondaスマートキーが、ドアの施錠・解錠の作動範囲内にある場合、大雨や洗車などでドアハンドルに多量の水がかかると、ドアとトランクが解錠されることがあります。解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- ドアを施錠後約2秒間は、ドアハンドルを握ってもドアは解錠しないようになっています。
- 施錠・解錠時のブザー(アンサーバックブザー)の音量を変えることや、ブザーが鳴らないようにすることができます。

カスタマイズ機能

Hondaスマートキーシステムでは、以下の機能の設定を変更することができます。

機能	工場出荷時の設定	変更できる設定内容
アンサーバックブザー音量 (→43・50ページ)	大	小
アンサーバックブザー作動 (→43・50ページ)	作動	非作動

カスタマイズ機能の詳細については、Honda販売店にご相談ください。

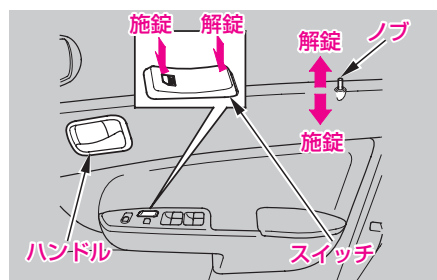


●車内から施錠・解錠するとき

運転席ドア

運転席ドア部のスイッチを操作すると、すべてのドアとトランクの施錠(解錠)ができます。

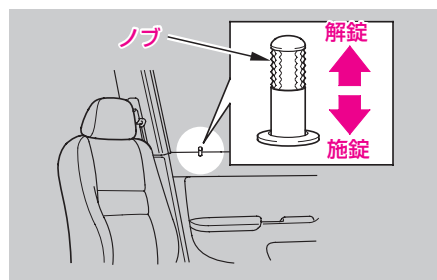
ノブの操作では、ドアは施錠のみ連動し、トランクは、施錠・解錠が連動します。



運転席ドアは、内側のハンドルを引くと施錠していても開けることができます。

その他のドア

ノブを施錠(解錠)の方向に動かします。



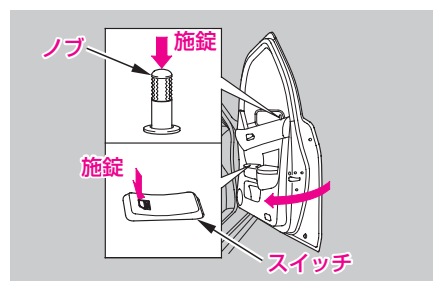
●キーを使わないで施錠するとき

知 識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠すると、他のすべてのドアとトランクも同時に施錠されます。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと、施錠できません。

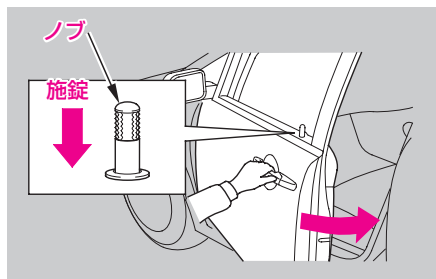
Hondaスマートキーシステム装備車

Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

エンジン始動の作動範囲 →133ページ

その他のドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

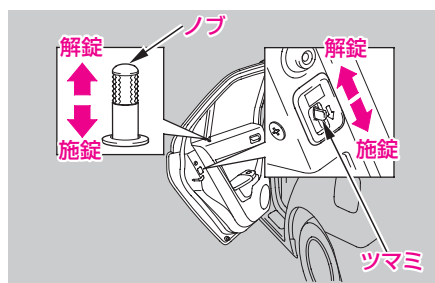


●チャイルドブローフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。



ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

知 識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。



トランク

⚠ 注意

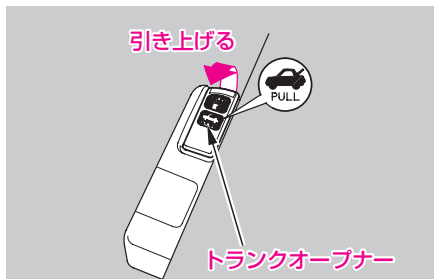
- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンのかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

🎓 知識

- トランクを開けたまま走行しないでください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
 - ・ Hondaスマートキーまたはキーをトランク内に置き忘れないでください。
 - ・ トランク上面を強く押さえないでください。
- トランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- トランクを開けるときは、トランクを静かに引き上げてください。
- **4WD車**
ワイパーアームを起こした状態でトランクを開けないでください。トランクがワイパーに当たり、トランクやワイパーが損傷します。

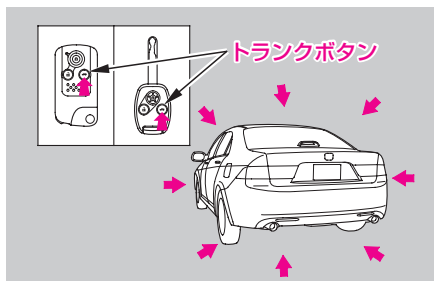
●トランクオープナーで開けるとき

運転席右下にあるトランクオープナーを引き上げると、トランクが解錠され浮き上がります。



●キーレスエントリーで開けるとき

トランクボタンを約1秒押すと、トランクが解錠され浮き上がります。



知 識

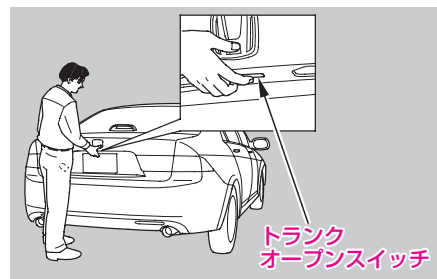
- エンジンスイッチが“0”以外のときは、キーレスエントリーのトランクボタンでは開けられません。

●トランクオープンスイッチで開けるとき

運転席ドアを解錠(施錠)すると、他のすべてのドアとトランクも同時に解錠(施錠)します。

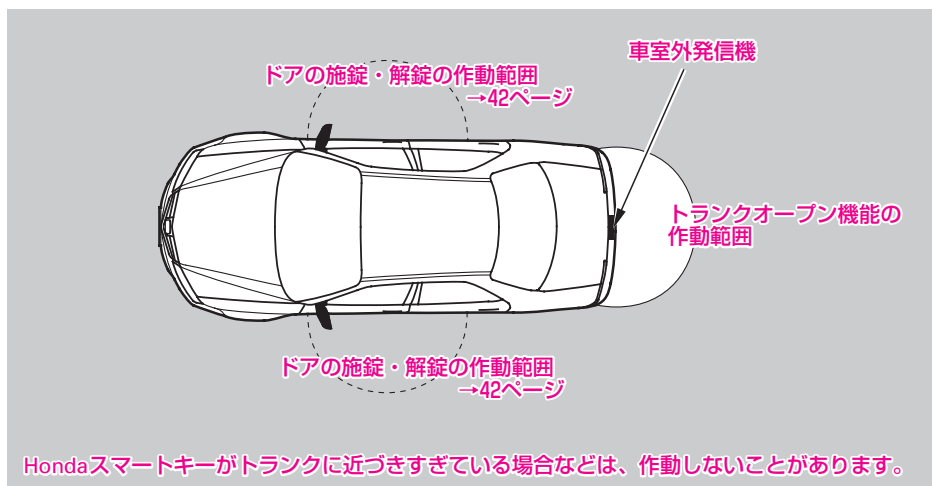
ドアの施錠・解錠 →39ページ

トランクが解錠されているときにトランクオープンスイッチを押すと、トランクが浮き上がります。



**●Hondaスマートキーを携帯して開けるとき** **Hondaスマートキーシステム装備車**

トランクオープン機能の作動範囲は、トランクオープンスイッチから周囲約80cmの範囲です。



Hondaスマートキーは必ず携帯してください。トランク内にHondaスマートキーを置かないでください。

知 識

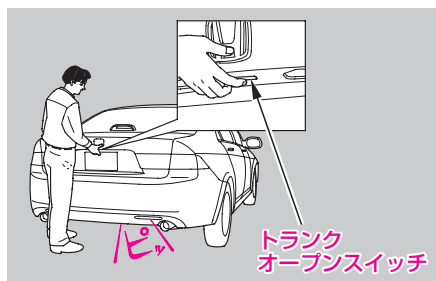
- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。そのようなときは、内蔵キーを使用してください。

キーで施錠・解錠するとき →40ページ

- Hondaスマートキーが作動範囲内にあると、Hondaスマートキーを携帯していない人でも、トランクオープンスイッチを押すと、トランクを開けることができます。
- トランクオープンスイッチより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にある場合は、作動しないことがあります。
- 解錠時のブザー(アンサーバックブザー)の音量を変えることや、ブザーを鳴らないようにすることができます。

カスタマイズ機能 →44ページ

Hondaスマートキーを携帯してトランクオープンスイッチを押すと、トランクが解錠され浮き上がります。このとき、アンサーバックブザーが“ピッ”と鳴ります。

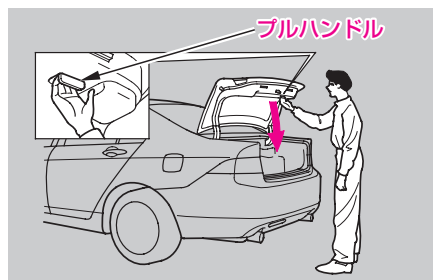


知識

- 運転席ドアが解錠されているときは、アンサーバックブザーは鳴りません。

● 閉めるとき

トランクを確実に閉めます。閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。



知識

- 運転席ドアが施錠されているときに、トランクを閉めると、トランクも施錠されます。
- 運転席ドアが解錠されているときは、トランクを閉めても、トランクは施錠されません。

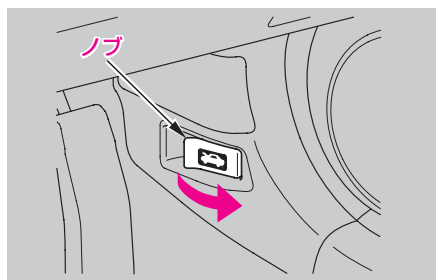
ドアの施錠・解錠 →39ページ



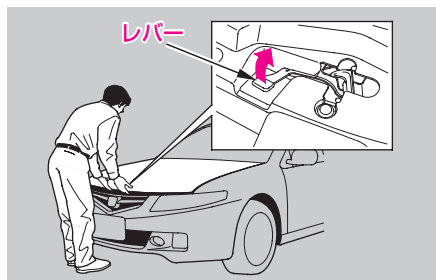
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



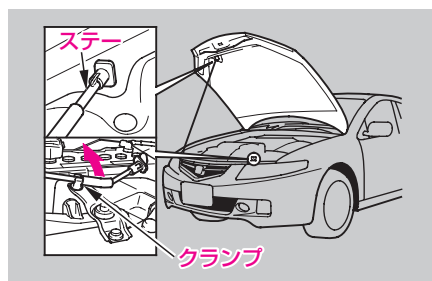
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



知 識

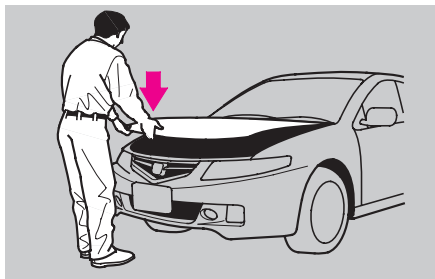
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。
ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。

⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。



燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

指定燃料：

Euro R、 Type S、 24TL	無鉛プレミアム ガソリン (無鉛ハイオク)
20A、20EL	無鉛レギュラー ガソリン (無鉛ハイオクも 使用可能)

タンク容量：

二輪駆動車(2WD車)65 ℓ

四輪駆動車(4WD車)60 ℓ

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- ・有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- ・高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- ・軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

知識

●Euro R、Type S、24TL

無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。
また、エンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだときに、異音が聞こえることがあります。

●燃料補給のしかた

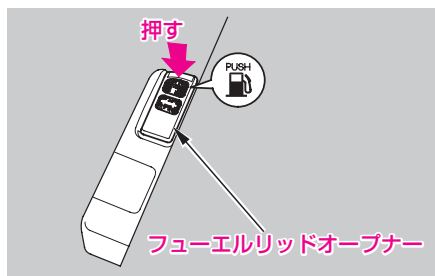
警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・エンジンは必ず止めてください。
 - ・タバコなどの火気を近づけないでください。
 - ・こぼれた燃料はすみやかに拭き取ってください。
 - ・燃料の取り扱いは、屋外で行ってください。
- 燃料補給作業は身体の静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

知 識

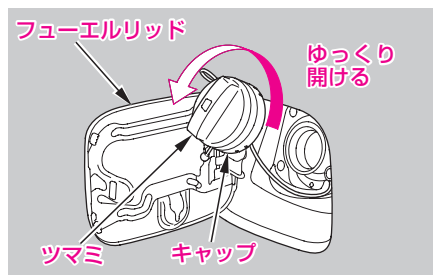
- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。再度、静電気を除去してください。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

- ① 運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを押してリッドを開けます。



- ② フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。

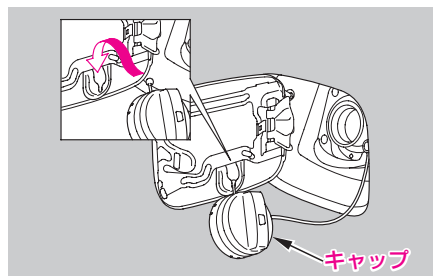
- ③ ツマミを持ってキャップをゆっくり回して開けます。



⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

- ④ 外したキャップはフューエルリッドの裏側に引っかけることができます。





- ⑤給油ノズルを奥まで差し込んで補給します。

燃料タンクが満タンになると給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

⚠ 注意

- 給油ノズルの自動停止後は、追加補給しないでください。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

🎓 知識

- 気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

- ⑥キャップを“カチッ”という音が1回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠ 注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

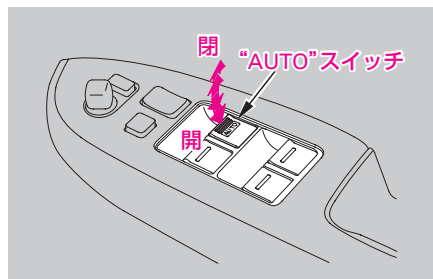
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

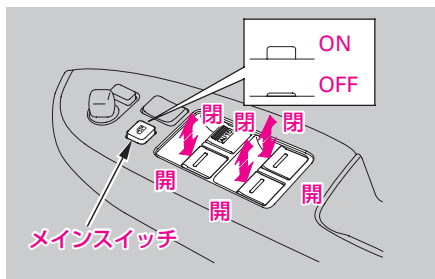
●運転席以外のウィンドーの開閉

メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。
メインスイッチを押すごとに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

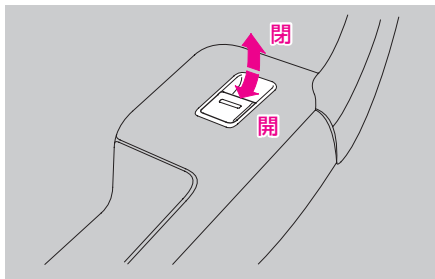
スイッチを操作している間、作動します。

開けるとき…スイッチを押します。
閉めるとき…スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・その他のドアスイッチ



運転席以外のウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、
運転席以外のウィンドーは作動しません。

⚠警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

- 車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。
- 後席(左、右)のウィンドーは、全開しません。



●キーオフオペレーション(運転席のみ)

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にしてから、約45秒間は、運転席パワーウィンドーの操作ができます。

ただし、エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にしてから約45秒以内に、前席ドアを開けてから閉めると、パワーウィンドーの操作はできなくなります。

●はさみ込み防止機構(運転席のみ)

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

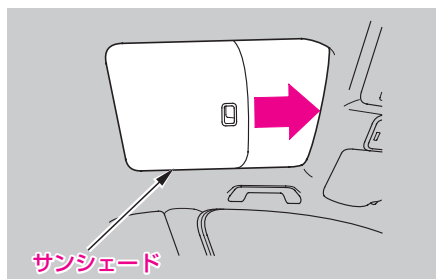
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

サンルーフ

タイプ別注文装備

●サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。
サンルーフを開けると同時に開きます。
サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全開できません。



知 識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出る場合があります。

●開閉

エンジンスイッチが“II”のときサンルーフの開閉ができます。



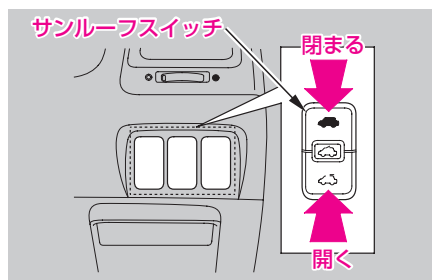
チルトアップ操作

チルトアップスイッチを押すと、サンルーフ後部が上がります(チルトアップ状態)。サンルーフスイッチの上部を押すと閉まります。



開閉操作

サンルーフスイッチを押している間、サンルーフが作動します。





⚠ 警告

- サンルーフを開閉するときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。
サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。
- サンルーフが作動しないとき

→372ページ

🎓 知識

- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

セキュリティシステム

セキュリティ(盗難防止)システムは、イモビライザーシステムとセキュリティアラームシステム(タイプ別装備)により、お車を盗難から守るための装置です。

イモビライザーシステムについて

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。



アドバイス

- システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

イモビライザーシステムは、車両とキーとの電子照合を行うとき、微弱な電波を使用しています。次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。

イモビライザーシステム表示灯

→115ページ

- ・近くに強い電波を発する設備があるとき。
- ・キーが金属物に触れたり覆われているとき。



- ・他の車両のイモビライザーシステム用のキーが近くにあるとき。





セキュリティアラームシステムについて

タイプ別装備

このシステムは、キー、キーレスエントリーあるいはHondaスマートキーを使わずにドア、トランクを開けたり、ボンネットを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

●警報装置について

警報装置は、セキュリティアラームシステムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ドアまたはトランクをキー、キーレスエントリーあるいはHondaスマートキーを使わずに開けようとしたとき。
- トランクやボンネットをこじ開けようとしたとき。
- エンジンスイッチを“II”にしたとき。

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

警報装置は、セキュリティアラームシステムを止めるまで最大5分間作動します。（ホーンおよび非常点滅表示灯は1回の警報作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。）

警報装置の止めかた

キー、キーレスエントリーあるいはHondaスマートキーで解錠すれば、その時点で警報装置は止まります。

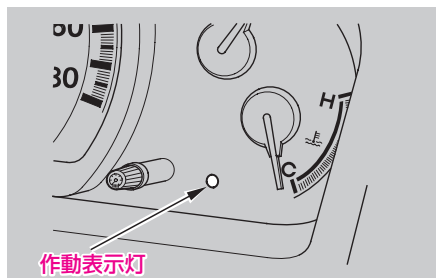
●セットのしかた

次の操作がすべて行われると自動的にセキュリティアラームシステムがセットされます。

- エンジンスイッチを“0”にしてキーを抜く。
- Hondaスマートキー(タイプ別装備)を使っているときは、エンジンスイッチを“0”(プッシュオフ)にする。
- ボンネットを閉める。
- すべてのドアとトランクを閉め、施錠する。

上記がすべて行われると、メーター内にある作動表示灯が点滅を始めます。約15秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティアラームシステムがセットされたことを知らせます。

作動表示灯は、セキュリティアラームシステムがセットされている間は、点滅を続けます。



セットを解除するときは、キー、キーレスエントリーあるいはHondaスマートキーで解錠します。作動表示灯が消灯し、セットが解除されたことを知らせます。

🎓 知識

- 車から離れるときは、セキュリティアラームシステムがセットされ、作動していることを作動表示灯で確認してください。
- ボンネット、ドア、トランクのすべてが完全に閉まっていないと、セキュリティアラームシステムはセットされません。
- 車内に人が乗っている状態またはウィンドーやサンルーフが開いた状態でもセキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐため、人が乗っている状態またはウィンドーやサンルーフが開いた状態ではセキュリティアラームシステムをセットしないでください。
- セキュリティアラームシステムをセットしたあとに、バッテリーあがりなどでバッテリーの充電・交換をする際は、警報装置が作動する場合がありますので、キー、キーレスエントリーあるいはHondaスマートキーでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

1.車を運転する前に

セキュリティーシステム



シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。
助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。
また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

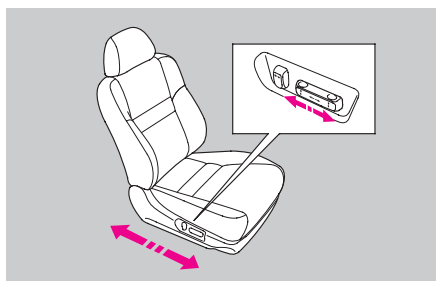
⚠ 注意

- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。
物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

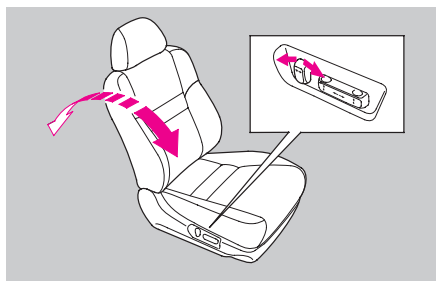
フロントパワーシート (運転席のみ)

タイプ別装備

●前後位置の調節

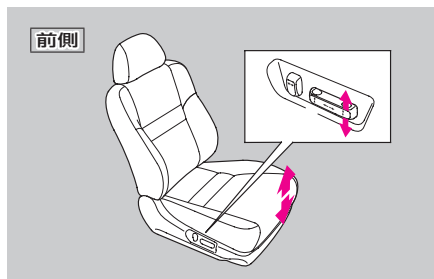


●背もたれの調節

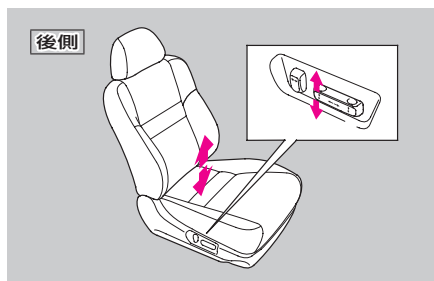


●高さの調節

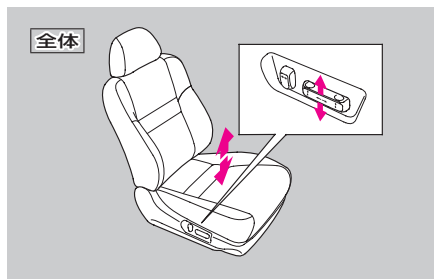
前側



後側



全体



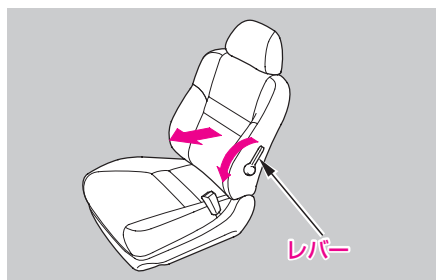


●ランバーサポート

背もたれ腰部の硬さを調節できます。



レバーを前に動かすと硬さが変わります。



●ヘッドレストの調節

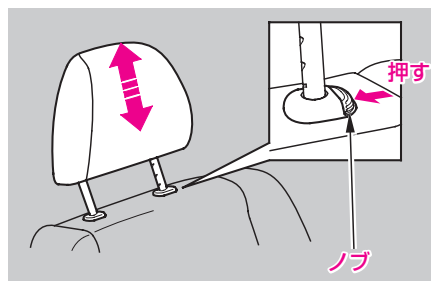
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



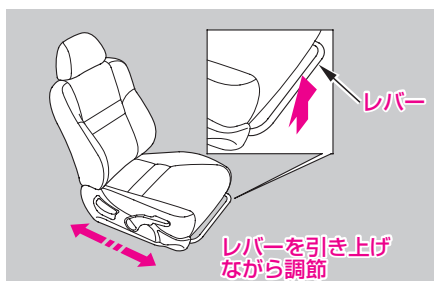
⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

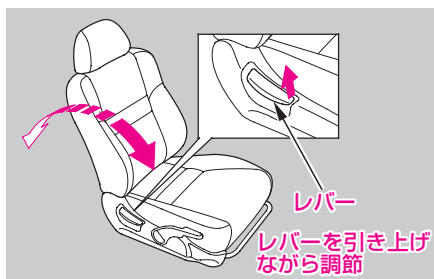
フロントマニュアルシート

運転席：タイプ別装備
助手席：標準装備

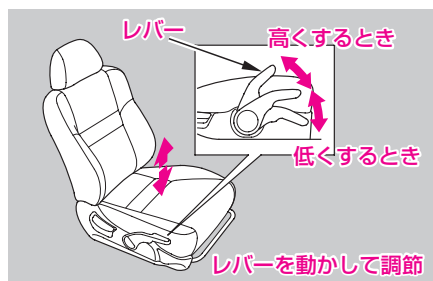
●前後位置の調節



●背もたれの調節



●高さの調節(運転席のみ)



上へ動かす…

中間位置より上にレバーを動かします。

下へ動かす…

中間位置より下にレバーを動かします。

レバーを動かすたびに高さを調節できます。

レバーを動かしたら一旦中間の位置に戻して、もう一度動かすようにして調節します。

🎓 知識

- レバーを最上段または最下段にすると、レバーが動かなくなります。



●ヘッドレストの調節

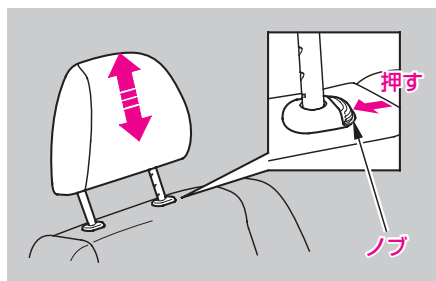
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

フロントシート (RECARO)

タイプ別装備

●前後位置の調節



●背もたれの調節



🎓 知 識

- シートを前に移動すると背もたれの調節がしやすくなります。

●座面の長さの調節



1.車を運転する前に

シートの調節



リヤシート

●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

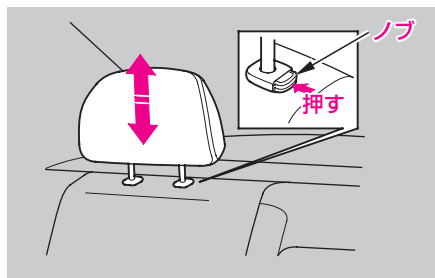
背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

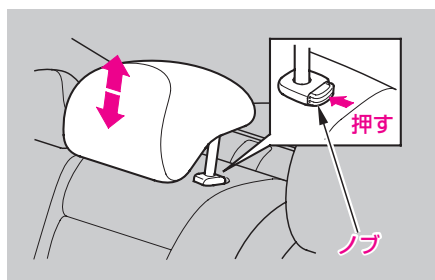
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

左右座席



中央座席

サイドエアバッグシステム&サイドカーテンエアバッグシステム装備車



⚠ 警告

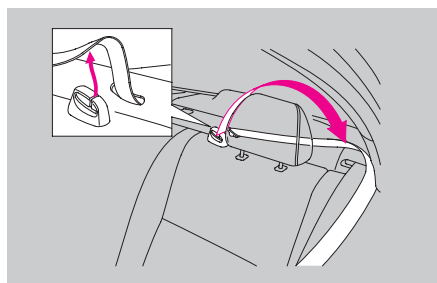
- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。



●背もたれの倒しかた

片側ずつ独立して行えます。

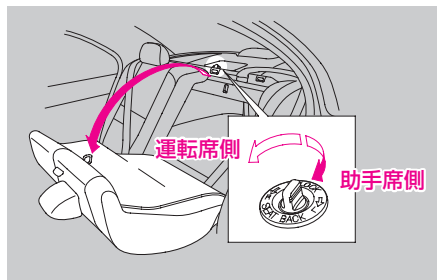
ヘッドレストがフロントシートにあたる
ときは、ヘッドレストを外してください。
左側の背もたれを倒すときは、中央席シ
ートベルトをガイドから外し、左側によ
けます。



室内から行うとき

リヤシェルフにあるノブを回します。

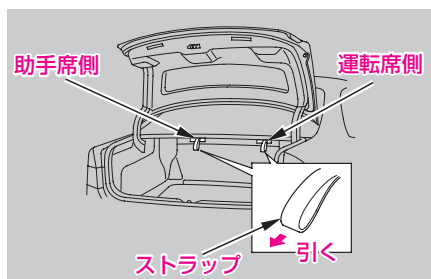
左に回すと運転席側の背もたれが、右に
回すと助手席側の背もたれが倒れます。



トランクから行うとき

ストラップを引いて倒します。

トランク →46ページ



●起こしかた

後ろへ押しつけて固定します。

中央席シートベルトをガイドから外して
いた場合は、元に戻します。

⚠ 注意

- 操作するときは、手などをはさまないように十分注意してください。

🎓 知識

- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれではさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

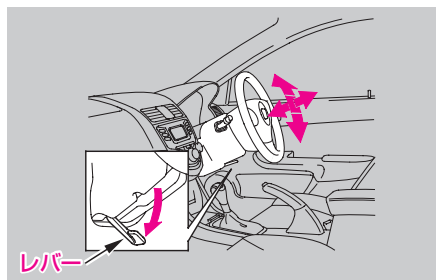
ハンドル・バックミラーの調節

チルト／テレスコピック ステアリング

ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下前後方向の力を加え固定されていることを確認してください。



ルームミラー

知 識

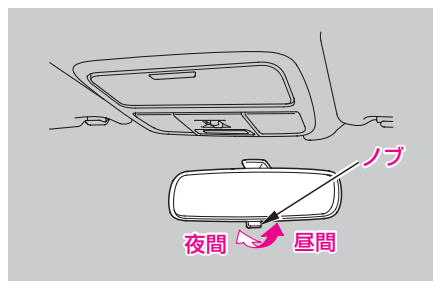
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

ドアミラー

知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

●格納のしかた

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。



格納スイッチを押すごとに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		



エンジンスイッチが“0”または“I”のときは手動で操作ができます。

知識

- 次の場合は手動で操作しても、ミラーは自動的に格納スイッチの状態に戻ります。
 - ・エンジンスイッチが“II”のとき。
 - ・手動で操作したあとにエンジンスイッチを“II”にしたとき。



●角度調節のしかた

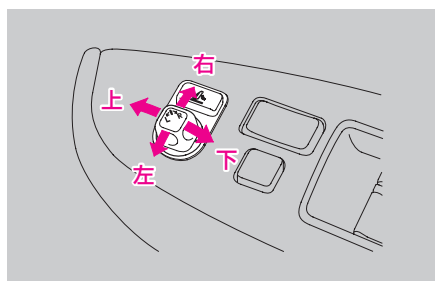
エンジンスイッチが“II”のとき調節ノブを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



- ①調節ノブを調節するミラーの方へ回します。



- ②調節ノブを動かして角度を調節します。



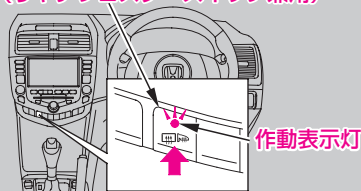
直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

●ヒータードアミラー

ヒータードアミラースイッチ(リヤデフロスタースイッチ兼用)を押すとミラーが暖められ曇りが取れます。

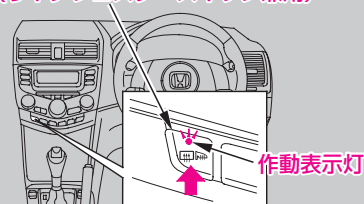
Hondaインターナビシステム装備車

ヒータードアミラースイッチ
(リヤデフロスタースイッチ兼用)



Hondaインターナビシステム非装備車

ヒータードアミラースイッチ
(リヤデフロスタースイッチ兼用)



エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。

知 識

- ヒートッドアミラースイッチを押すと、リヤガラスの曇り取りも同時に機能します。

リヤデフロスター →151ページ

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

●アクアクリーンミラー (親水ミラー)

ミラー表面には、付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングをほどこしており、雨天時などにおける後方視認性を向上させます。

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、水道水をかけて洗い流し、太陽光を当てることにより効果が回復します。

親水効果を早く回復させたいとき

→385ページ

 アドバイス

- フロントドアガラスに撥水剤やボディにワックスを塗布するときは、ミラー表面に撥水剤やワックスが付着しないようにドアミラーを布などで覆ってください。
ミラー表面にこれらの物が付着すると親水効果を失います。
- ミラー表面が凍結しているときは、ヒートッドアミラースイッチを“ON”にするか、温水や水道水を使って溶かしてください。解氷剤を使ったり、プラスチックの板を使って削り落とすと、ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらないでください。
ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。

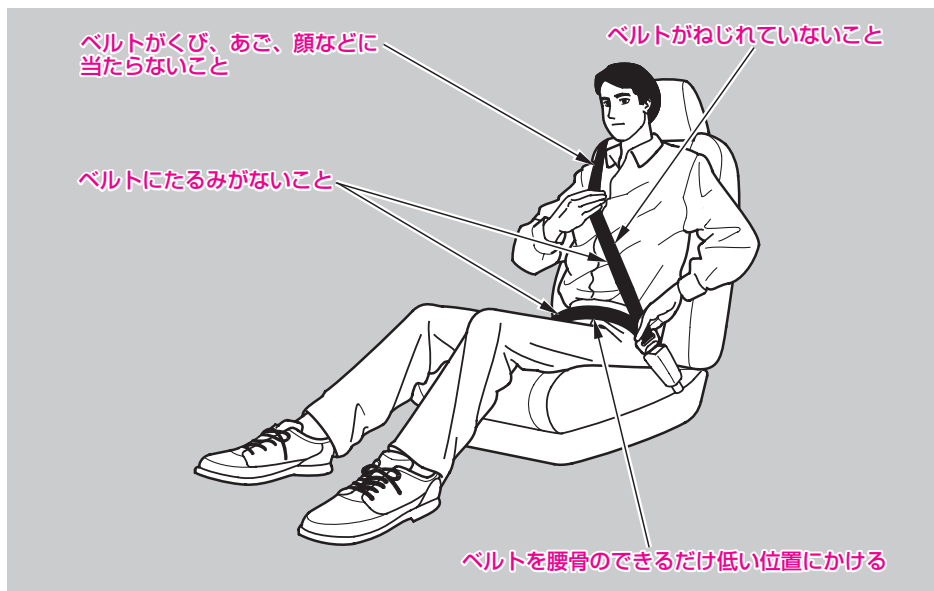
 知識

- 汚れや水滴を拭き取るときは、きれいな布で拭き取ってください。
- 水洗いでミラーの汚れが落ちない場合は、家庭用中性洗剤を使って柔らかい布でミラー表面を拭き取ること回復できます。
- 次のようなときは、一時的に親水効果が低下しますが異常ではありません。親水効果は数日間の日射で回復します。
 - ・素手でミラーに触れたり油のついた布などでミラー表面を拭き取ったとき。
 - ・自動洗車機のワックスがミラー表面に付着したとき。
 - ・長期間、地下駐車場など日の当たらないところに駐車したとき。
親水効果を早く回復
させたいとき →385ページ
- 自動洗車機で洗車するときは、ミラー表面に洗剤やワックスが付着しないようドアミラーを格納してください。
格納のしかた →76ページ

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



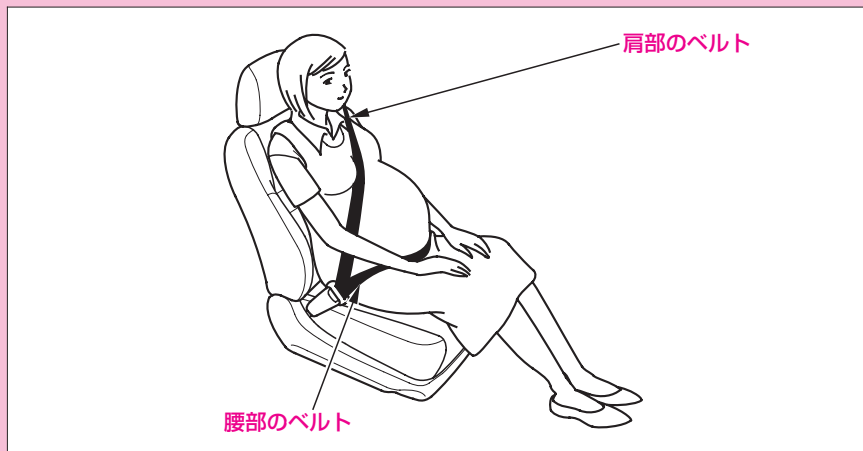
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。
ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。
また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

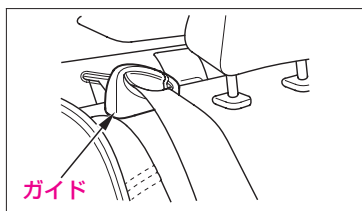
チャイルドシート固定機構付きシートベルト →88ページ



●三点式シートベルト

知 識

- リヤシートの中央座席用のシートベルトを使うときは、ガイドから取り外さないでください。



テンションリデューサー(前席のみ)

ベルト着用時の圧迫感を軽減する装置です。エンジンスイッチが“II”でシートベルトを着用したときに、はたらきます。

シートベルトリマインダー(非着用警報装置)

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知 識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも、一定回数を超えるとブザーは止まります。

●オートマチック車

セレクトレバーをⅡに入れたときは、後退位置警報装置のチャイムが鳴り、シートベルト警告ブザーは鳴りません。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

→88ページ

知 識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた →89ページ

シートベルトプリテンショナー(前席のみ)

→210ページ

●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびりやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

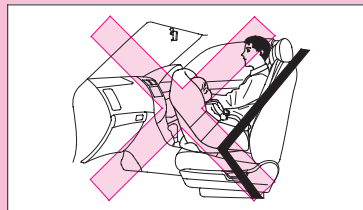
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。**SRS**エアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、**SRS**エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知 識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。
- ISO FIX対応以外のチャイルドシートは、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- ISO FIXテザータイプのチャイルドシートは、固定専用バーとテザーアンカーを用いて固定します。テザーアンカーにテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。
チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。
後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。
- ISO FIXテザータイプのチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

ISO FIX テザータイプチャイルドシート固定装置 →90ページ

Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISO FIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長 (cm)	参考年齢
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド) シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

ISO FIX テザータイプ

	体重(kg)	参考身長 (cm)	参考年齢
乳児用 (ベビー) シート	～9	～70	～9か月
幼児用 (チャイルド) シート	9～18	70～100	9か月～4才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- 次のような場合はベルト一式を交換してください。

- ・ベルトを着用した状態で事故にあったとき。
- ・シートベルトプリテンショナーが作動したとき。

シートベルトプリテンショナー

→210ページ

- ・ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたとき。
- シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートに座ります。
(→64ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

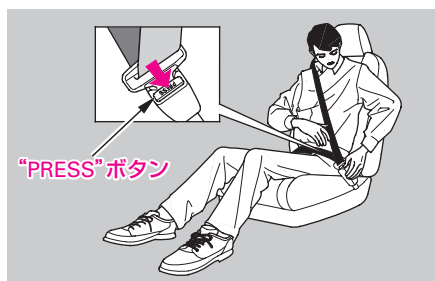


- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



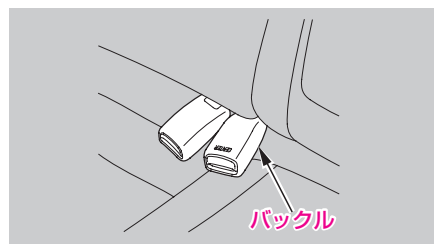
- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



後席中央

タングプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。バックルに“CENTER”(センター)の表示があります。

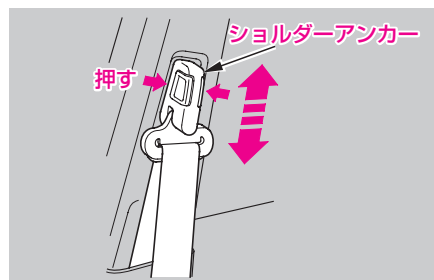


ショルダーアンカーの高さ調節 (前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。



通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。



⚠ 注意

- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

後席の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かさないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。

取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

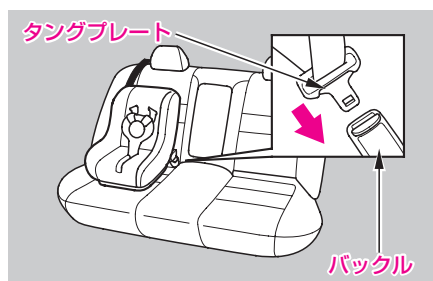
固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

🎓 知識

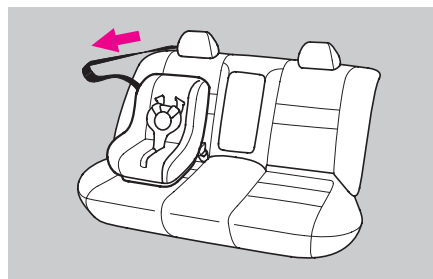
- ISO FIX テザータイプのチャイルドシートを取り付けるとき
ISO FIXテザータイプチャイルド
シート固定装置 →90ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。
- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせませす。その後、ベルトをゆっくりと引き、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出ししてください。

⚠ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

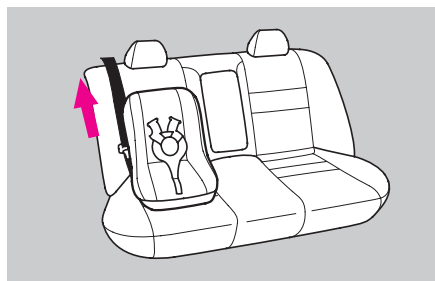


⚠ 注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



ISO FIX テザータイプ チャイルドシート固定装置 (後席外側 2 座席)

後席外側の 2 座席には、ISO FIX テザータイプのチャイルドシートを固定するための固定専用バーとテザーアンカーが装備されています。

この車用に認可を取得したチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、このバーとテザーアンカーを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、テザーアンカーは使用しません。

チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

Honda 純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。

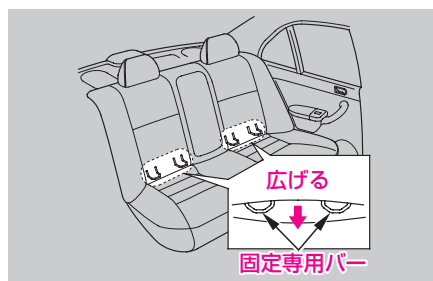
知 識

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

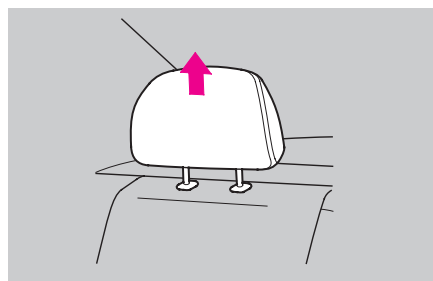
→88ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定専用バーの位置を確認します。

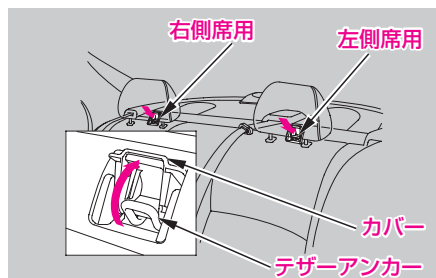


- ②リヤシートのヘッドレストを持ち上げて、最上段で固定します。

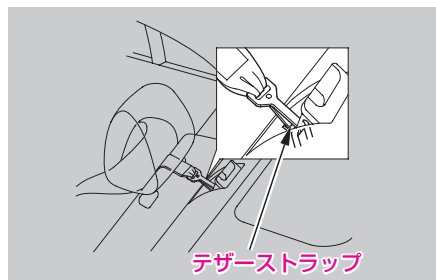




- ③チャイルドシートを取り付ける座席の真後ろ側のカバーを開けて、テザーアンカーの位置を確認します。



- ④チャイルドシートとテザーストラップをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。



⚠ 注意

- チャイルドシートを取り付けるときは、固定専用バー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。
異物やシートベルトなどのかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないとブレーキや衝突のときにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。

2

車を運転するときに

●メーター ……………94
イルミネーションコントロール……98

●マルチインフォメーション
ディスプレイ ……………100
表示について ……………101
警告表示について ……………105

●表示灯 ……………110

●警告灯 ……………118
セーフティインジケーター …127
警告灯の電球切れの点検 ……128

●スイッチの使いかた
エンジンスイッチ ……………130
ライトスイッチ ……………140
フォグライトスイッチ ………144
方向指示器(ウィンカー)
スイッチ ……………144
非常点滅表示灯(ハザード)
スイッチ ……………145
ワイパー/ウォッシャー
スイッチ ……………146

リヤデフロスタースイッチ …151
ホーンスイッチ ……………152

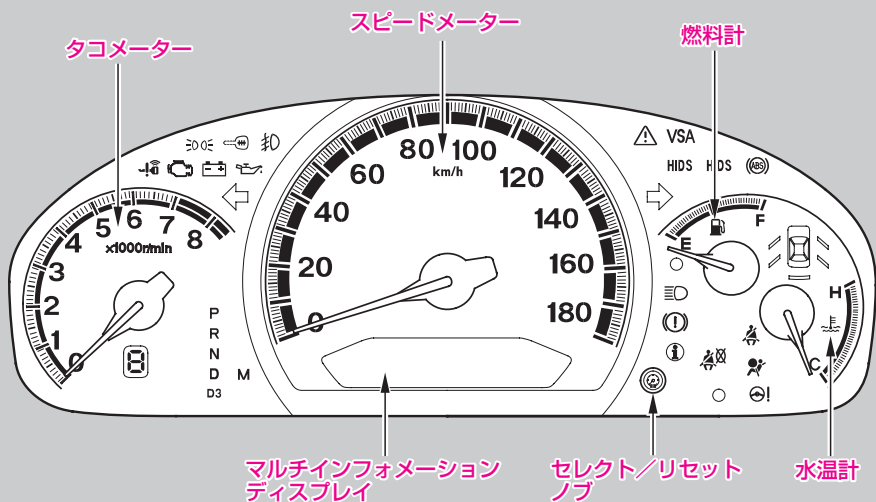
●運転のしかた
エンジンのかけかた ……………154
パーキングブレーキ ……………158
チェンジレバーの操作 ………160
セレクトレバーの操作 ………162
オートマチック車の運転の
しかた ……………168
クルーズコントロール ………178

●リミテッドスリップデフ(LSD)
LSDのしくみ ……………184
取り扱いについて ……………184

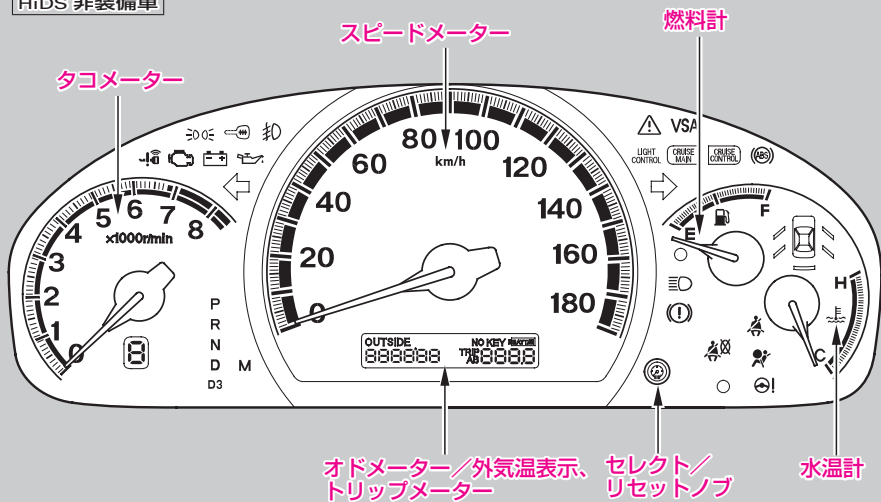
メーター

イラストは代表例を掲載しています。

HiDS 装備車



HiDS 非装備車





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数 (rpm)
Euro R	8,400
Type S、24TL	7,100
20A、20EL	6,800

- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が下表の回転数になると燃料供給が停止されます。

タイプ	回転数 (rpm)
20A、20EL、 Euro R	5,000
Type S、24TL	4,600

燃料計

エンジンスイッチが“II”のとき、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →53ページ

水温計

エンジンスイッチが“II”のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“H”の目盛りより下側をさすのが正常です。

アドバイス

- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき

→348ページ

オドメーター／外気温表示、トリップメーター

エンジンスイッチを“II”にするとオドメーターまたは外気温、トリップメーターが表示されます。



表示の切り換え

HiDS非装備車

セレクト／リセットノブを押すごとに「…“オドメーター／TRIP A”→“OUT SIDE” (外気温表示)／TRIP A”→“OUT SIDE” (外気温表示)／TRIP B”→“オドメーター／TRIP A”→…」の順に表示が切り換わります。

HiDS装備車

表示の切り換え →101ページ

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

HiDS非装備車

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

- ①セレクト／リセットノブを押して“TRIP A”または“TRIP B”を選びます。
- ②セレクト／リセットノブをメーター表示が“0”になるまで押して、リセットします。

知 識

- 走行距離が999.9kmを超えると0 kmに戻ります。

HiDS装備車

表示の切り換え →101ページ



外気温表示

走行中(約30km/h以上)の外気温を測定し表示します。また、エンジンスイッチを“II”にしたときはそのときの外気温を表示し、走行(約30km/h以上)するまでその表示を続けます。

走行中に外気温が下がってきて3℃以下になったとき、外気温を点滅表示します。このとき表示が外気温表示以外であれば、自動的に外気温を点滅表示し、約10秒後もとの表示に戻ります。

HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに“外気温低下注意”が表示されます。

警告表示について →105ページ

知 識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(約30km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。
- 外気温表示の自動切り換え点滅表示、マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)の割り込み表示は、エンジンスイッチを“II”にしてから最初に3℃以下に下がったときにのみ作動します。

外気温補正の設定

HiDS非装備車

外気温表示の表示温度に補正をかけることができます。

+3℃から-3℃の間で設定できます。

- ①セレクト/リセットノブを押して外気温を表示させます。
- ②セレクト/リセットノブを押し続けると(約10秒)、外気温の補正表示に切り換わります。数字は約1秒毎に“0→1→2→3→-3→-2→-1→0”の順に切り換わります。
- ③補正をかけたい温度の数字が表示されたらセレクト/リセットノブから手を離します。

知 識

- セレクト/リセットノブを押し、外気温の補正表示に切り換わる前にノブを放すとトリップメーターがリセットされます。

HiDS装備車

カスタマイズ機能 →320ページ

イルミネーション コントロール

セレクト／リセットノブを回すと、メーター表示の明るさが車幅灯点灯時と消灯時にそれぞれ別々に調節できます。



エンジンスイッチが「II」のときノブを回して明るさを調節します。

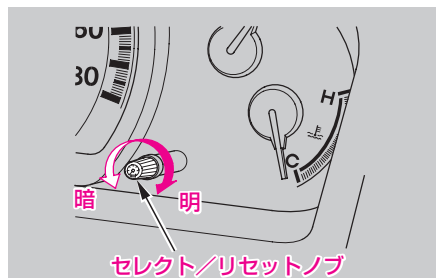
明るくするとき…

ノブを右に回します。明るさが最大になると「ピッ」という電子音になります。

暗くするとき…

ノブを左に回します。明るさが最小になると「ピッ」という電子音になります。

車外の明るさに応じてお好みで調節してください。



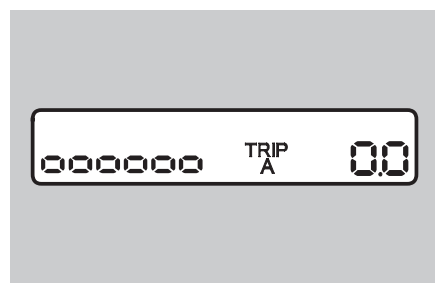
明るさ調節表示

ノブを回して明るさを調節すると、オドメーターまたは外気温表示が明るさ調節表示に切り換わります。

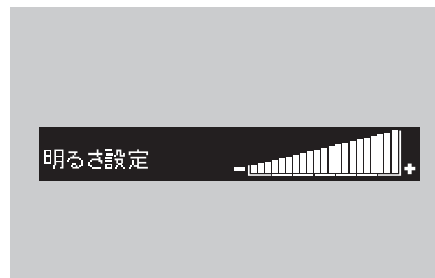
HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイの上段が明るさ表示に切り換わります。

☐ または ☐ が右に増えて行くほど、メーターが明るく表示されます。

HiDS非装備車



HiDS装備車





知 識

- 次の動作をしたときは、元の表示に切り換わります。
 - ・ 調節後約5秒すぎたとき。
 - ・ セレクト／リセットノブまたはインフォメーション(①)スイッチを押したとき。
- 車幅灯点灯時に、 または  がすべて表示されるまでノブを右に回すと、車幅灯点灯時の減光が解除されます。このときにも、“ピッ”という電子音が鳴ります。
- 運転席ドアを開けるとメーターの目盛りが点灯します。
(ウェルカムメーター照明)

知 識

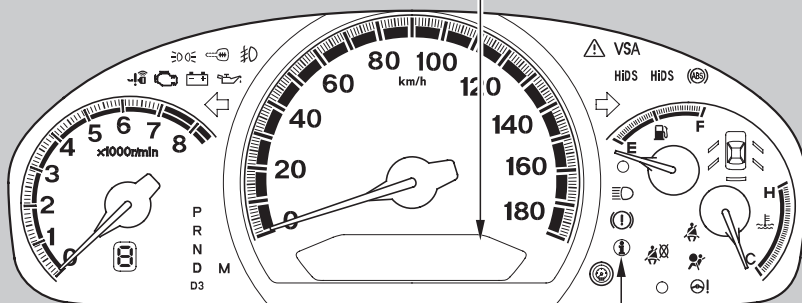
- 次のようなとき、メーターの照明は消灯します。
 - ・ 運転席ドアを開けてから、何もせずに約3分経過したとき。
 - ・ 運転席ドアを閉めてから、何もせずに約30秒経過したとき。
 - ・ エンジンスイッチにキーを差し込んだまま、約10秒経過したとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”に回してから、約10秒経過したとき。
- エンジンスイッチからキーを抜いたときは、メーターの照明はすぐに消灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ

HiDS装備車

イラストは代表例を掲載しています。

マルチインフォメーションディスプレイ



① マーク

知識

- 運転席ドアを開けるとメーターの目盛りが点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに“Welcome”のメッセージが表示されます。(ウェルカムメーター照明)
- エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にすると、マルチインフォメーションディスプレイに“Good bye”が表示されます。



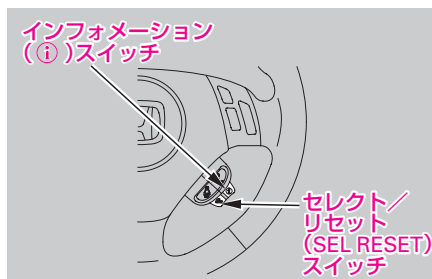
表示について

異常を検知すると、警告表示が割り込み表示され、約5秒後に通常表示に戻ります。また、ディスプレイの右部に ⓘ マークが点灯します。

警告表示について →105ページ

表示の切り換え

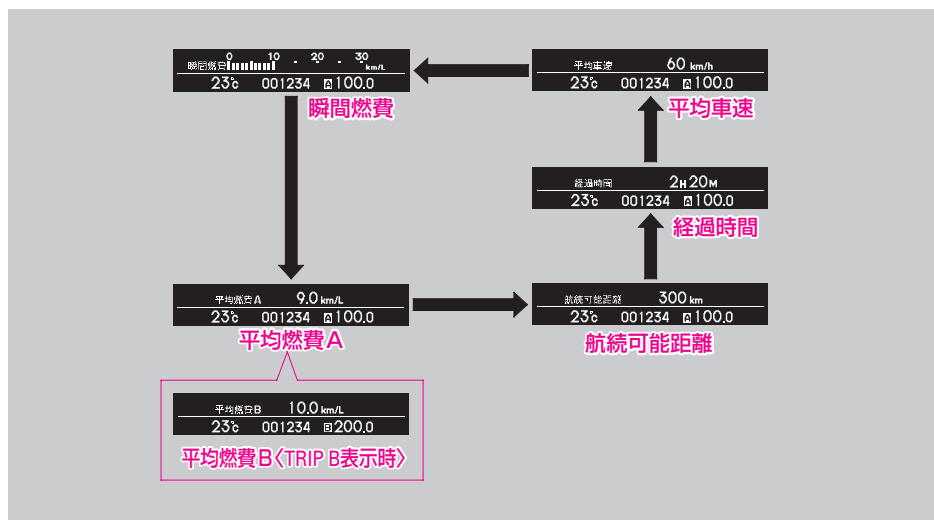
インフォメーション ⓘ スイッチまたはセレクト／リセット (SEL RESET) スイッチを押すごとに、マルチインフォメーションディスプレイの画面表示が切り換わります。



・インフォメーション ⓘ スイッチ

スイッチを押すごとに画面上段の表示が次のように切り換わります。

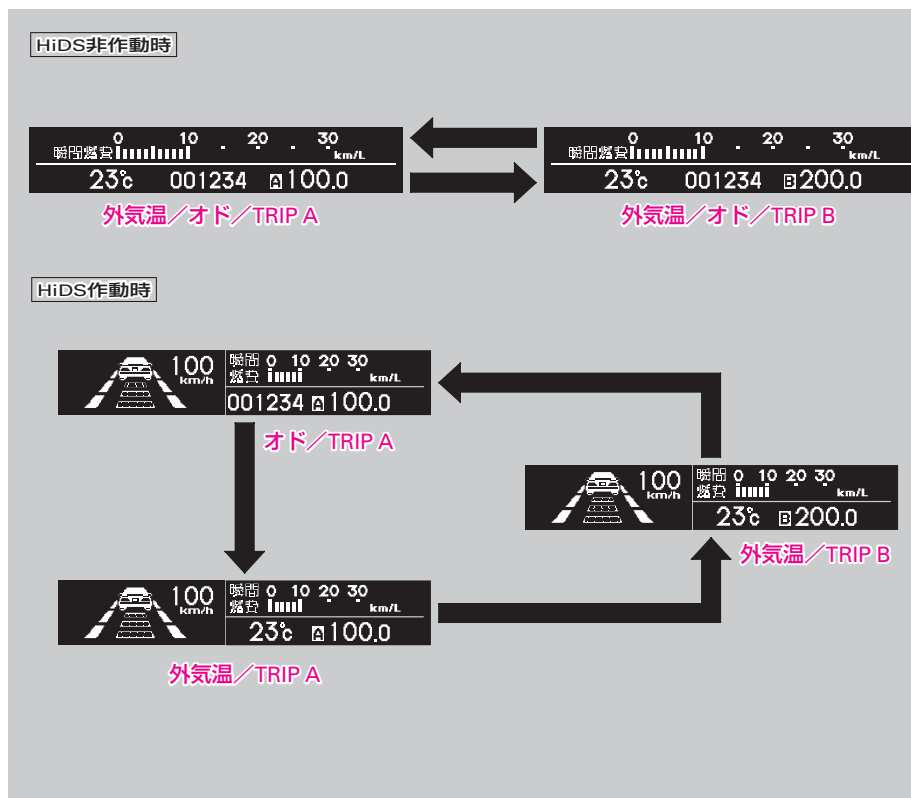
“平均燃費B”を表示させるには、セレクト／リセット (SEL RESET) スイッチで “TRIP B” を表示させてください。



・セレクト／リセット(SEL RESET)スイッチ

スイッチを押すごとに画面下段の表示が次のように切り換わります。

“TRIP A”または“TRIP B”を表示中にセレクト／リセット(SEL RESET)スイッチを約2秒以上押し続けると、トリップメーターとそれぞれの平均燃費がリセットされます。





●瞬間燃費表示

エンジンスイッチが“II”のとき、瞬間燃費をバーグラフにkm/lで表示します。

●航続可能距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離をkmで表示します。

🎓 知識

- 表示される航続可能距離は、実際の航続可能な距離とは異なる場合があります。

●経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

🎓 知識

- エンジンを停止すると経過時間表示はリセットされます。

🎓 知識

- 経過時間表示のリセット条件を“TRIP A”、“TRIP B”に変更することができます。

カスタマイズ機能 →320ページ

“TRIP A”または“TRIP B”設定時

- ・“TRIP A”または“TRIP B”がリセットされるまでの経過時間を表示します。
- ・エンジン停止中は計算されません。

トリップメーターのリセット

→102ページ

- 経過時間表示はリセット条件の設定を変更したときにはリセットされません。
そのときの経過時間は設定された条件でリセットが行われるまで引き続き計算されます。
- 経過時間表示は99時間59分まで表示できます。

●平均車速表示

“TRIP A”をリセットしてからの平均車速をkm/hで表示します。

トリップメーターのリセット

→102ページ

🎓 知識

- エンジン停止中は計算されていません。

●平均燃費表示

トリップメーター(“TRIP A”、“TRIP B”)と連動し、それぞれの平均燃費を約10秒間ごとに更新して、km/lで表示します。

・リセット

“TRIP A”または“TRIP B”がリセットされると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

知 識

- 停車時または低速走行中にリセットしたときは、走行を始めてから燃費の計算を開始します。
- 表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。
- “TRIP A”、“平均燃費 A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。

カスタマイズ機能 →320ページ

“TRIP A”、“平均燃費 A” 給油連動時

“TRIP A”、“平均燃費 A”は給油と連動して自動的にリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)は、平均燃費はリセットされます。

●トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

表示の切り換え →101ページ

リセット →102ページ

知 識

- 走行距離が999.9kmを超えると0 kmに戻ります。
- “TRIP A”、“平均燃費 A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。

カスタマイズ機能 →320ページ

“TRIP A”、“平均燃費 A” 給油連動時

“TRIP A”、“平均燃費 A”は給油と連動して自動的にリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

- “TRIP A”または“TRIP B”をリセットすると、それぞれの平均燃費もリセットされます。
- “TRIP A”をリセットすると平均車速もリセットされます。
- “TRIP A”または“TRIP B”のリセットと連動させて、経過時間表示をリセットさせることができます。

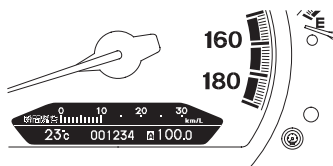
カスタマイズ機能 →320ページ



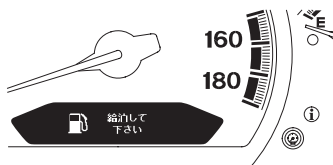
警告表示について

異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が割り込み、同時に警告音も鳴ります。約5秒後に通常表示に戻ります。

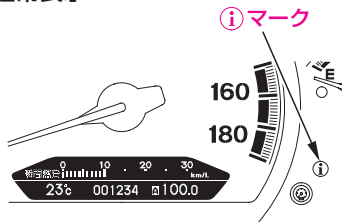
通常表示



割り込み表示



通常表示



警告表示がマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

① マークが点灯しているときにインフォメーション(①)スイッチを押すと、警告表示を再表示させる事ができます。

知識

- 警告表示によっては、警告が解除されるまで、通常表示に戻らないものもあります。

表示について →106ページ

●表示一覧

マルチインフォメーションディスプレイに表示される警告表示の一覧です。
表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

表示について

表示①は、車の異常を検知すると表示されます。HiDSスイッチがONのときはHiDS作動時の表示になります。

また、通常表示に戻ったあとも、インフォメーション(①)スイッチを押すと表示されます。表示②は停車中に、表示①を表示したあとに表示されます。

表示 ①	HiDS作動時※ 1	表示 ②	処置(参照先)
 ブレーキ減速低下	  ブレーキ減速低下	—	ブレーキ警告灯 →121ページ
 ブレーキシステム故障	  ブレーキシステム故障	 急ブレーキを避けてください	
※ 2  パーキングブレーキを解除してください	※ 2   パーキングブレーキを解除してください	—	
 エンジン圧縮異常	  エンジン圧縮異常	 エンジンオイル圧縮異常	油圧警告灯 →122ページ
 エンジンシステム故障	  エンジンシステム故障	 低速での走行を避けてください	PGM-FI警告灯 →122ページ
 充電システム故障	  充電システム故障	 充電ができません	充電警告灯 →123ページ
 トランスミッション故障	  トランスミッション故障	 急加速を避けてください	トランスミッション警告灯 →123ページ

※ 1：画面はHiDS作動時のものです。

※ 2：警告が解除されるまで、通常表示に戻りません。

2.車を運転するときに

マルチインフォメーション
ディスプレイ



表示 ①	HiDS作動時※ 1	表示 ②	処置(参照先)
		—	シートベルト非着用 警告灯 →123ページ
		—	燃料残量警告灯 →124ページ
		—	
		—	Hondaスマートキー システム警告灯 →124ページ
			Hondaスマートキーの 電池交換 →374ページ
		※ 2 	Hondaスマートキー 持ち取り警告 →136ページ
	—	—	Hondaインテリジェント ドライバーサポートシステム (HiDS)警告灯 →125ページ

※ 1 : 画面はHiDS作動時のものです。

※ 2 : 警告が解除されるまで、通常表示に戻りません。

表示 ①	HiDS作動時※ 1	表示 ②	処置(参照先)
 サイドエアバッグ 停止中	 100km/h  サイドエアバッグ 停止中	 正しい姿勢 座席を確保して 下さい	サイドエアバッグ自動停止 表示灯 →116ページ
 エアバッグ システム点検	 100km/h  エアバッグ システム点検	—	SRSエアバッグシステム 警告灯 →125ページ
 アンチロック ブレーキ点検	 100km/h  アンチロック ブレーキ点検	—	アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯 →125ページ
 VSA システム点検	 100km/h  VSA システム点検	—	ビークルスタビリティ アシスト(VSA : 車両挙動安定化制御 システム)警告灯 →125ページ
 オートライト システム点検	 100km/h  オートライト システム点検	—	オートライトコントロール →140ページ
 パワー ステアリング 点検	 100km/h  パワー ステアリング 点検	—	エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯 →126ページ
 外気温低下 注意	 100km/h  外気温低下 注意	—	外気温低下表示 →97ページ
※ 2 	※ 2  100km/h 	—	ドアやトランクが閉まってい ないときに表示されます。 ドアやトランクを完全に閉め てください。

※ 1 : 画面はHiDS作動時のものです。

※ 2 : 警告が解除されるまで、通常表示に戻りません。



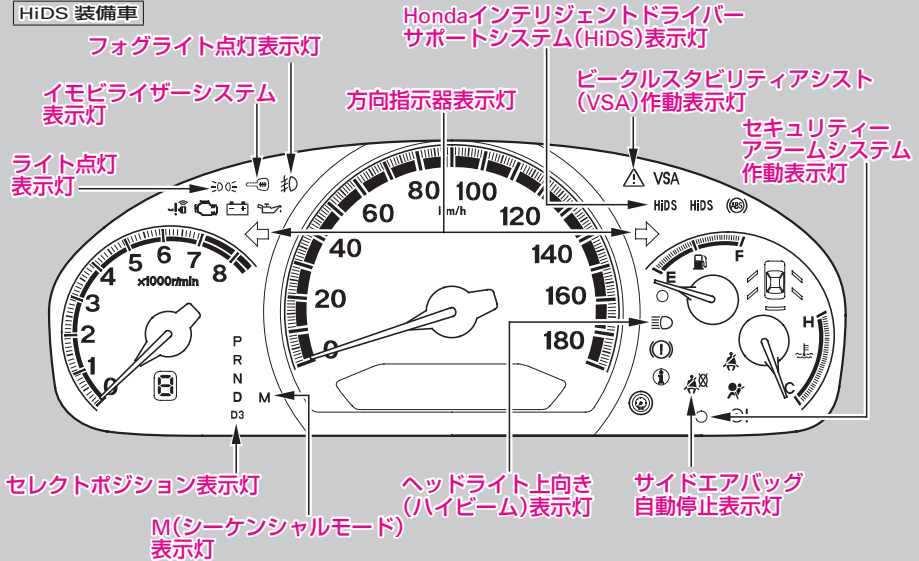
表示 ①	HiDS作動時※	表示 ②	処置(参照先)
 キーが差し込まれていません	—	—	キー抜き忘れ警告ブザー →131ページ
 エンジンスイッチノブを“0”にしてください	—	—	
 エンジンスイッチノブを“0”にしてください	—	—	エンジンスイッチ 警告ブザー →135ページ
 ライトが点灯しています	—	—	ライト消し忘れ 警告ブザー →141ページ

※：画面はHiDS作動時のものです。

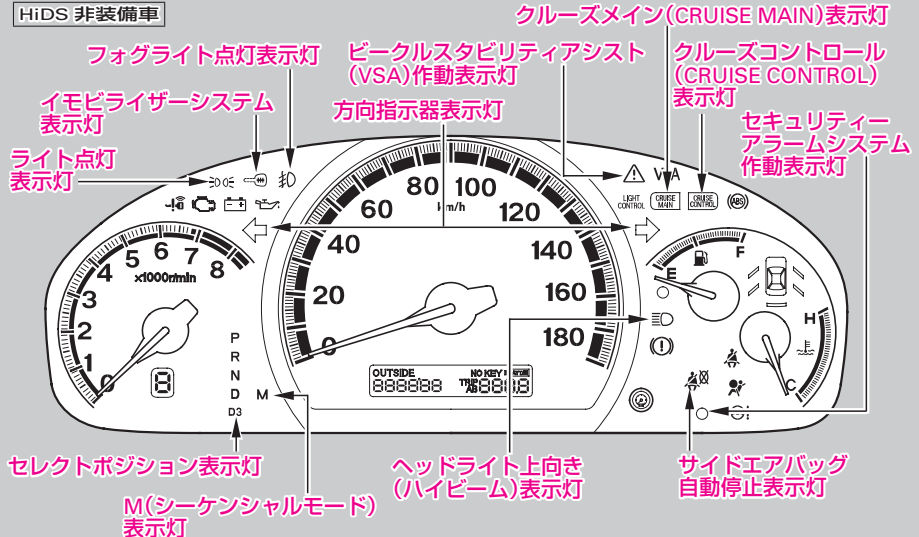
表示灯

イラストは代表例を掲載しています。

HiDS 装備車

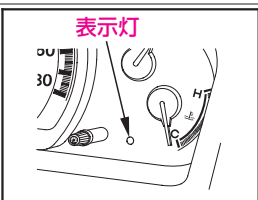
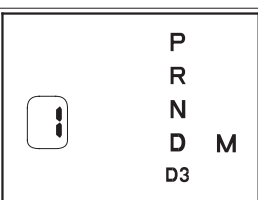


HiDS 非装備車





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ				
	20A	20EL	Euro R	Type S	24TL
 方向指示器表示灯	○	○	○	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○	○	○	○
 ライト点灯表示灯	○	○	○	○	○
 フォグライト点灯表示灯	△	○	○	○	○
 セキュリティー アラームシステム 作動表示灯	△	△	○	○	○
 セレクト ポジション 表示灯	○	○	—	○	○
 M(シーケンシャルモード) 表示灯	○	○	—	○	○
 イモビライザーシステム 表示灯	○	○	○	○	○
 サイドエアバッグ 自動停止表示灯	△	△	—	△	△

○：標準装備

△：注文装備

表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯		タイプ				
		20A	20EL	Euro R	Type S	24TL
	クルーズメイン (CRUISE MAIN)表示灯	—	—	—	△	○*
	クルーズコントロール (CRUISE CONTROL)表示灯	—	—	—	△	○*
	Hondaインテリジェント ドライバーサポート システム(HiDS)作動表示灯	—	—	—	△	△
	ビークルスタビリティ アシスト(VSA)作動表示灯	—	—	—	○	○

※：HiDS非装備時

○：標準装備

△：注文装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知 識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違った物を使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換 →365ページ

電球(バルブ)のワット数

→416ページ



ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



ライト点灯表示灯

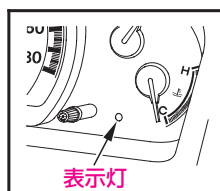
ライトスイッチが“OFF”以外のとき(ただし、“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



フォグライト点灯表示灯

タイプ別装備

フォグライトスイッチが“ON”で、ライトスイッチが“OFF”以外のとき(ただし“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



セキュリティーアラームシステム作動表示灯

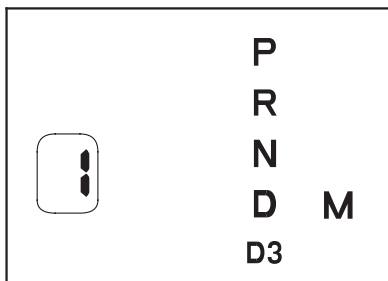
タイプ別装備

セキュリティーアラームシステムがセットされているときに点滅します。

セキュリティーアラーム

システムについて

→61ページ



セレクトポジション表示灯

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

トランスミッションが異常のときには、が点滅します。

トランスミッション警告灯 →123ページ

シーケンシャルモード時は、左側にギヤの位置が表示されます。また、表示灯が点灯します。

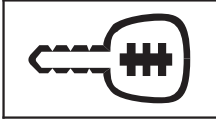


M(シーケンシャルモード)表示灯

オートマチック車

シーケンシャルモードのときに点灯します。

シーケンシャルモード →163ページ



イモビライザーシステム表示灯

エンジンスイッチを“II”にすると、数秒間点灯してから消灯します。点灯中は車両とキーとの電子照合を行っています。

点滅したときは

システムがキーの信号を認識していないので、エンジンを始動することはできません。

- キーを使っているときは、エンジンスイッチを“0”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“II”にしてください。
- Hondaスマートキーシステム装備車で、Hondaスマートキーを使っているときは、エンジンスイッチノブを“0”(プッシュオフ)にしてから、もう一度エンジンスイッチノブを押し込んで、エンジンスイッチノブを“II”にしてください。

エンジンスイッチを次のようにしたときも、数回点滅します。

- キーを使ってエンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にしたとき
- Hondaスマートキーシステム装備車で、Hondaスマートキーを使ってエンジンスイッチノブを“0”(プッシュオフ)にしたとき

イモビライザーシステムについて

→60ページ



アドバイス

- エンジンスイッチを“II”にしても表示灯が点灯しないときや、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。



サイドエアバッグ自動停止表示灯

サイドエアバッグシステム／サイドカーテンエアバッグシステム装備車

乗員姿勢検知システムにより、助手席用サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。



点灯したときは

上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に座ってください。

乗員姿勢検知システム →203ページ

CRUISE
MAIN

クルーズメイン(CRUISE MAIN)表示灯

クルーズコントロール装備車

CRUISEスイッチを押して“ON”にすると点灯します。

クルーズコントロール →178ページ

CRUISE
CONTROL

クルーズコントロール(CRUISE CONTROL)表示灯

クルーズコントロール装備車

自動定速走行しているときに点灯します。

クルーズコントロール →178ページ



HiDS

Hondaインテリジェントドライバーサポートシステム(HiDS)作動表示灯

HiDS 装備車

HiDSスイッチを押して“ON”にすると点灯します。

詳細については、別冊のHiDS取扱説明書をご覧ください。



ビークルスタビリティアシスト(VSA：車両挙動安定化制御システム)作動表示灯

VSA 装備車

VSAが作動中に点滅します。

VSAを“OFF”にしたときと、VSAに異常があるときに点灯します。

→214ページ

知 識

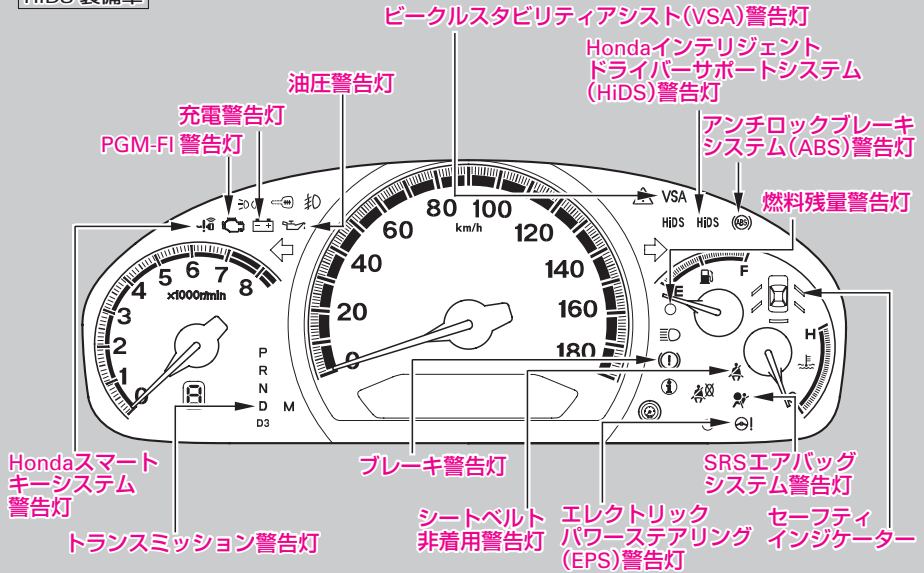
- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSA警告灯 →217ページ

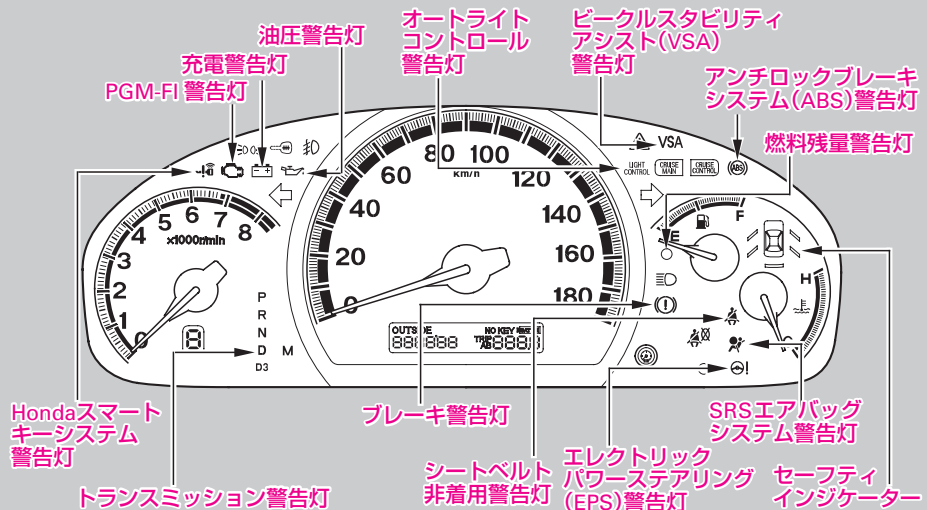
警告灯

イラストは代表例を掲載しています。

HiDS 装備車



HiDS 非装備車





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	20A	20EL	EuroR	Type S	24TL
 ブレーキ警告灯	○	○	○	○	○
 油圧警告灯	○	○	○	○	○
 PGM-FI 警告灯	○	○	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○	○	○
 トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)	○	○	—	○	○
 シートベルト非着用警告灯	○	○	○	○	○
 燃料残量警告灯 警告灯	○	○	○	○	○
 オートライトコントロール 警告灯	—	○	—	○	○
 Hondaスマートキー システム警告灯	—	△	△	△	○
 Hondaインテリジェント ドライバーサポート システム(HiDS)警告灯 (オレンジ)	—	—	—	△	△

○：標準装備

△：注文装備

警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	20A	20EL	Euro R	Type S	24TL
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	○	○	○	○
 アンチロックブレーキ (ABS)警告灯	○	○	○	○	○
 ビークルスタビリティ アシスト(VSA)警告灯	—	—	—	○	○
 エレクトリックパワー ステアリング(EPS)警告灯	○	○	○	○	○

○：標準装備
△：注文装備



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に解除されていないときに点灯します。この状態で走行するとブザーが鳴ります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー

→159ページ

ブレーキ液量がいちじるしく減少しているときにも点灯します。また、**ABS**が異常のとき**ABS**警告灯と同時に点灯することがあります。

また、マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)に“ブレーキ液量低下”、“ブレーキシステム点検”が表示されます。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにHonda販売店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、アンチロックブレーキシステム(**ABS**)警告灯と同時に点灯したときは、アンチロックブレーキシステム(**ABS**)の異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →125ページ



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ (HiDS装備車) にも警告が表示されます。



点灯したときは

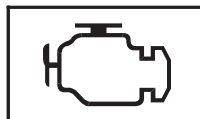
エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイ (HiDS装備車) にも警告が表示されます。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

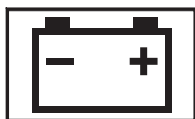
点滅したときは

- ①走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジン进行めて、冷えるまでお待ちください。
- ②エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。



アドバイス

- 警告灯が点滅した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。



充電警告灯

充電システムが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
(HiDS装備車)にも警告が表示されます。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車

トランスミッションが異常のときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイ
(HiDS装備車)にも警告が表示されます。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダー(非着用警報装置)が作動し、点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。

(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

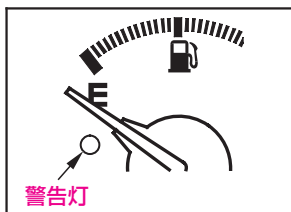
マルチインフォメーションディスプレイ
(HiDS装備車)にも警告が表示されます。

知 識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも一定回数を超えると、ブザーは止まります。

● オートマチック車

セレクトレバーをDに入れたときは、後退位置警報装置のチャイムが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が10ℓ前後になったときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ (HiDS装備車) にも警告が表示されます。

燃料の補給 →53ページ



オートライトコントロール警告灯

オートライトコントロール装備車

オートライトコントロールが異常のとき点灯します。

HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。

知 識

- 運転中に点灯した場合は、ライトの点灯や消灯は手動で行い、Honda販売店で点検を受けてください。

オートライトコントロール

→140ページ



Hondaスマートキーシステム警告灯

Hondaスマートキーシステム装備車

Hondaスマートキーシステムが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ (HiDS装備車) にも警告が表示されます。



警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

- ・運転中に点灯したとき。
- ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。
- ・エンジンスイッチが“0”のときに数秒間点灯したとき。

アドバイス

- 警告灯が点灯した場合は、Hondaスマートキーを使わずに、内蔵キーを使ってください。

内蔵キー →37ページ



HiDS

Hondaインテリジェントドライバーサポートシステム(HiDS)警告灯

HiDS 装備車

HiDSが異常のとき点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。
詳細については、別冊のHiDS取扱説明書をご覧ください。



SRSエアバッグシステム警告灯(エアバッグシステムとシートベルトプリテンショナー警告灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)にも警告が表示されます。

SRS エアバッグシステム →186ページ

サイドエアバッグシステム／

サイドカーテンエアバッグシステム

→194ページ

シートベルトプリテンショナー

→210ページ



アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)にも警告が表示されます。

→213ページ

VSA

ビークルスタビリティアシスト(VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯

VSA 装備車

VSAが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)にも警告が表示されます。

→217ページ

知 識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- ブレーキアシストの装置に異常があるとVSA警告灯が点灯します。
- VSA警告灯が点灯したときはブレーキアシストは作動しません。



エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯

EPSが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ
(HiDS装備車)にも警告が表示されます。



点灯したときは

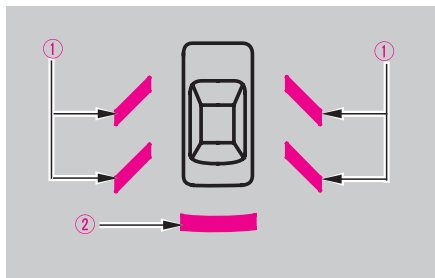
運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

知識

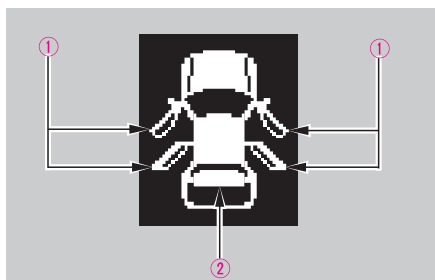
- 警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合もあります。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと、警告灯が点灯しハンドル操作が重くなる場合があります。このときは、エンジンを再始動すると警告灯が消灯します。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰します。
システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。



セーフティインジケター



マルチインフォメーションディスプレイ (HiDS装備車)にも警告が表示されます。



① ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。

② トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。



トランクを完全に閉めてください。

警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、Honda販売店へご連絡ください。

- **ブレーキ警告灯**
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- **油圧警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **PGM-FI警告灯**
(数秒後消灯)
- **充電警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **トランスミッション警告灯**
(数秒後消灯)
- **オートライトコントロール警告灯**
(数秒後消灯)
- **Hondaスマートキーシステム警告灯**
(数秒後消灯)
- **Hondaインテリジェント
ドライバーサポートシステム
(HiDS)警告灯**
(数秒後消灯)

- **SRSエアバッグシステム警告灯**
(約 6 秒後消灯)
- **アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯**
(数秒後消灯)
- **ビークルスタビリティアシスト
(VSA：車両挙動安定化制御
システム)警告灯**
(数秒後消灯)
- **エレクトリックパワーステアリング
(EPS)警告灯**
(エンジン始動後消灯)
- **セーフティインジケーター内の警告灯**
(数秒後消灯)

2.車を運転するときに

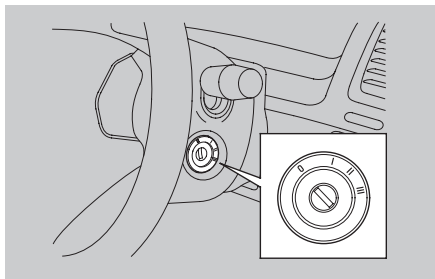
警告灯



スイッチの使いかた

エンジンスイッチ

●キーを使った操作



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

エンジンスイッチを“0”から“I”へ回すとき

Hondaスマートキーシステム装備車

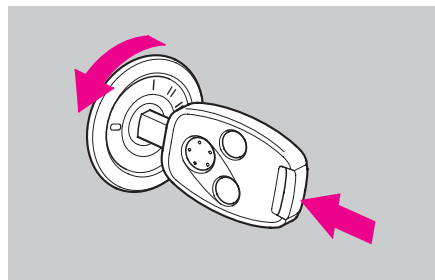
内蔵キーを押し込んで、ゆっくり回します。

内蔵キーの差し込みかた →376ページ



キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを回に入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。





知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- オートマチック車**
セレクトレバーがD以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。
- Hondaスマートキーシステム装備車**

Hondaスマートキーを使った操作
→132ページ

“0”から“1”にキーが回らないとき (ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。

警告

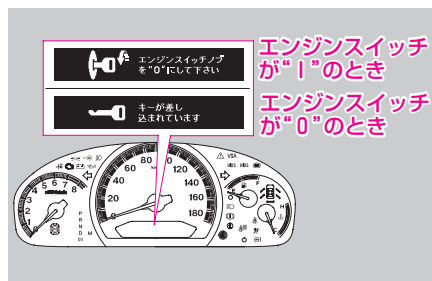
- 走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

知 識

- エンジンスイッチを“0”にするときは、途中の位置で止めずに“0”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“1”または“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

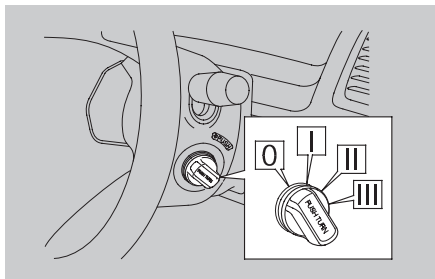
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。
HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。



●Hondaスマートキーを使った操作

Hondaスマートキーシステム装備車



0

(プッシュオフ)
エンジンスイッチがロック
される位置です。

0

(プッシュオン)
エンジンスイッチノブを押
すと、ロックが解除されエ
ンジンスイッチを回すこと
ができます。

I

エンジンをかけずにラジオ
などのアクセサリを使用
するときの位置です。

II

運転するときの位置です。

III

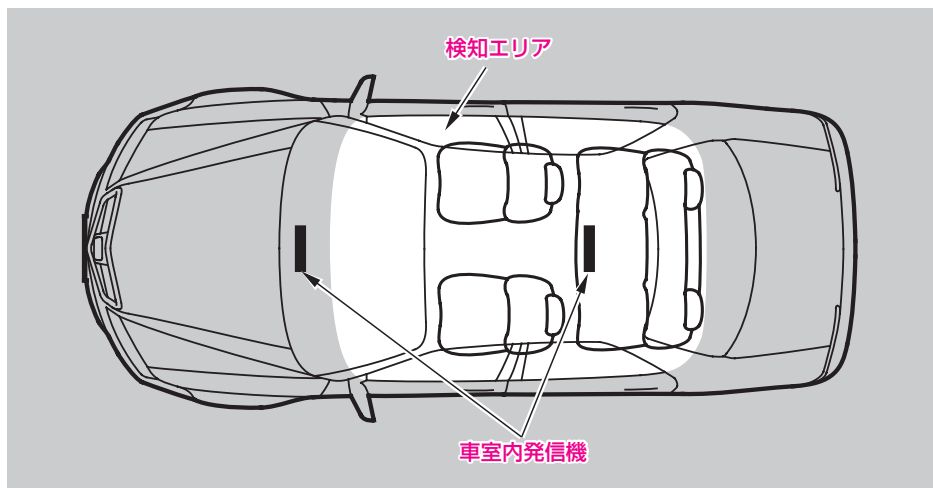
エンジン始動位置です。
始動したら、エンジンスイ
ッチノブから手を離してく
ださい。自動的に“II”に戻
ります。



●エンジン始動の作動範囲

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上やリヤシェルフ、グローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れやトランク内を除く車内です。

エンジンのかけかた →154ページ



知 識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
- 次のような場合、システムがHondaスマートキーを認識できないため、エンジンスイッチの操作ができず、エンジンの始動ができないことがあります。
 - ・インストルメントパネル上やリヤシェルフ、グローブボックスや各種小物入れなどにHondaスマートキーを置いたとき。
 - ・Hondaスマートキーを入れている物(バッグやポケット)の中に、携帯端末などの電波を発する物やノイズを発する物があるとき。
- 車外にHondaスマートキーがあっても、ドアやドアガラスに近づき過ぎている場合は、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチを“0”から“1”へ回すとき

エンジンスイッチノブを押し込みます。エンジンスイッチのロックが解除されると、“ピッ”とブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったら、エンジンスイッチをゆっくりと回します。



エンジンスイッチが“0”から“1”に回らないとき

(ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチを回せば容易に回ります。

もし、エンジンスイッチが回らない場合は、もう一度エンジンスイッチノブを押し直してゆっくりと回してください。

Hondaスマートキーの作動不良などにより、エンジンスイッチが回せない場合は、エンジンスイッチをいったん戻し、内蔵キーを挿入してエンジンスイッチを回してください。

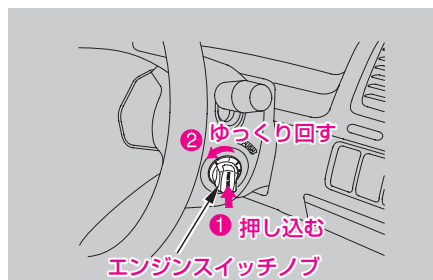
内蔵キーの差し込みかた →376ページ

エンジンスイッチを“0”に回すとき

・オートマチック車

セレクトレバーを回にします。

- ・“1”でエンジンスイッチノブを押し込んで“0”まで回します。



車から離れるときは、エンジンスイッチを“0”にしてから離れるようにしてください。

⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。

マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。



知 識

- エンジンスイッチを“0”にするときは、途中の位置で止めずに“0”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“1”または“II”のまま、長時間放置しないでください。

バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。

- エンジンスイッチが“0”以外では、Hondaスマートキーで施錠できません。

車から降りてドアを閉めたときに警告ブザー(ピピピピピピ)が鳴ったときは、車の状態を確認してください。

Hondaスマートキー持ち去り警告
→136ページ

- エンジンスイッチを“0”にするとハンドルがロックされます。

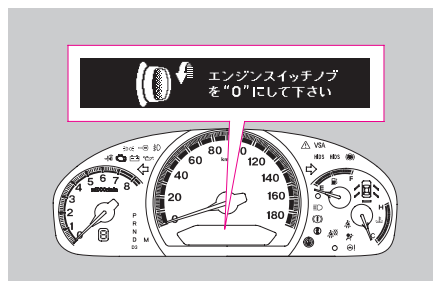
オートマチック車

セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回りません。

●エンジンスイッチ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”で、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りエンジンスイッチを“0”にしていないことを知らせます。

HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。



知 識

- エンジンスイッチが“0”の位置で、エンジンスイッチノブを押し込んでいるときに、運転席ドアを開けた場合にもブザーが鳴ります。

●Hondaスマートキー持ち去り警告

誤操作や車両盗難防止のために、警告音を鳴らしたり、メーター内に警告を表示します。警告音が鳴ったり、警告表示が出た場合は、必ず車両およびHondaスマートキーの確認を行ってください。



Hondaスマートキーをエンジン始動の作動範囲外に持ち出してドアを閉めると、Hondaスマートキー持ち去り警告が作動します。

エンジン始動の作動範囲 →133ページ

警告ブザーの種類

警告ブザーは、車内警告ブザーと車外警告ブザーの2種類があります。

・車内警告ブザー

“ピーッピーッピーッピーッピーッ”と6回鳴ります。

・車外警告ブザー

“ピピピピピピ”と6回鳴ります。

知識

- Hondaスマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチを“0”(プッシュオフ)にすると、エンジンスイッチの操作ができなくなります。

エンジンスイッチを操作するときには、Hondaスマートキーを持っていることを確認してください。

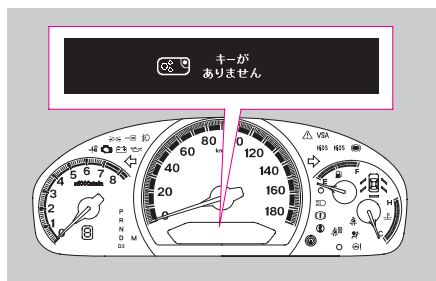
- 窓からの受け渡しでは、Hondaスマートキーの持ち去りを検知せず、警告は作動しません。
- エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーがあってもHondaスマートキーの携帯状態や周囲の環境、電波状態などにより、Hondaスマートキーの位置を認識できないときも、警告が行われます。
故障ではありませんが、Hondaスマートキーを携帯していることを確認してください。



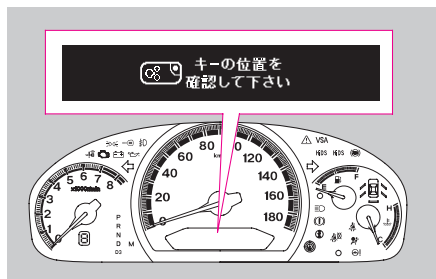
エンジンスイッチが“II”のとき

HiDS 装備車

- ①マルチインフォメーションディスプレイに“キーがありません”と表示され、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

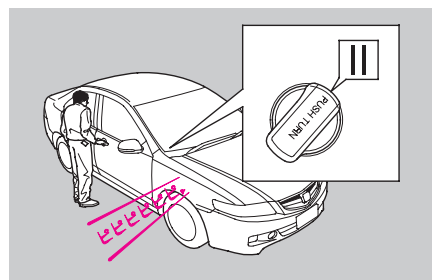
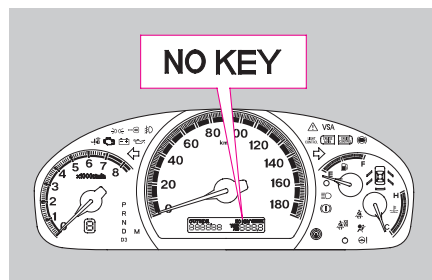


- ②その後、ディスプレイ内に“キーの位置を確認してください”が表示されます。



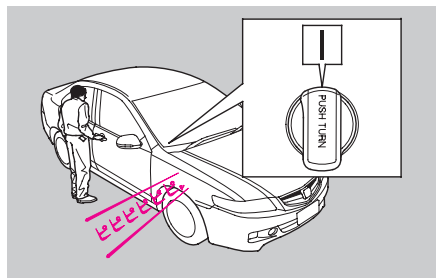
HiDS 非装備車

メーター内の“NO KEY”表示が点滅し、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。



エンジンスイッチが“1”または“0”(ブッシュオン)のとき

車外警告ブザーが鳴ります。



Hondaスマートキー持ち去り警告が出たときは

エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーを戻して、ドアを閉めると警告が解除されます。

エンジン始動の作動範囲内であってもHondaスマートキーの位置や状態、周囲の環境や電波状態などにより、警告が解除されず、再度Hondaスマートキー持ち去り警告が行われることがあります。故障ではありませんが、Hondaスマートキーを携帯していることを確認してください。

警告状態が続く場合は、Hondaスマートキーの携帯位置を変更することをお勧めします。



●Hondaスマートキー電池消耗警告

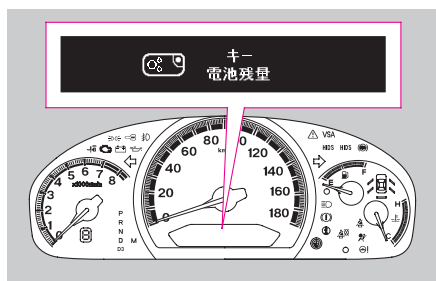
電池の残量が少なくなったときに、メーター内に警告を表示します。

警告音が鳴ったり、警告表示が出た場合は、早めに電池を交換してください。

キーの電池が消耗したとき →374ページ

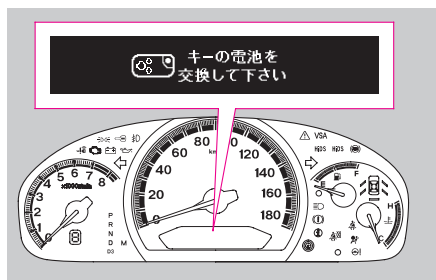
HiDS 装備車

- ①エンジンスイッチを“II”にしたときに、マルチインフォメーションディスプレイに“キー電池残量”と表示され、警告音が鳴ります。



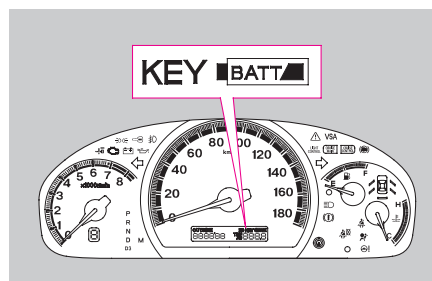
- ②その後、ディスプレイ内に“キーの電池を交換してください”が表示されます。

警告表示について →105ページ



HiDS 非装備車

エンジンスイッチを“II”にしたときに、メーター内に“KEY BATT” (“BATT”は点滅)が表示され、車内警告ブザーが鳴ります。



ライトスイッチ

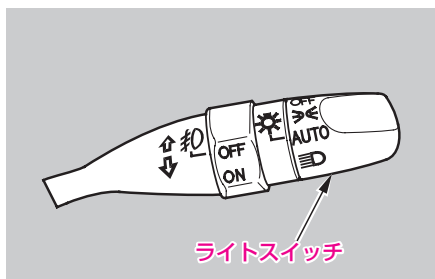
●ライトの点灯・消灯

自動で使うとき

(オートライトコントロール)

オートライトコントロール装備車

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ライトスイッチを“AUTO”の位置にすると、車外の明るさによってヘッドライトや車幅灯などが自動的に点灯・消灯します。



車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドライトが点灯します。車外が明るくなると、逆の順に消灯します。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 →113ページ

知識

- 昼間、濃い霧などにより視界が悪いときには、自動では点灯しません。手動で点灯してください。

● HiDS 非装備車

オートライトコントロール警告灯が点灯したときには、手動位置に切り換えてお使いください。

オートライトコントロール

警告灯

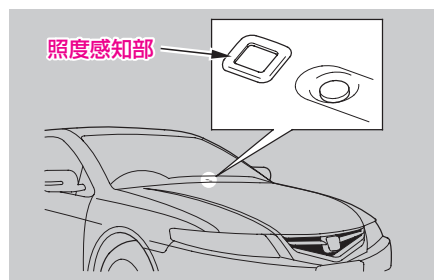
→124ページ

● HiDS 装備車

マルチインフォメーションディスプレイに“オートライトシステム点検”と表示されたときには、手動位置に切り換えてお使いください。

警告表示について →105ページ

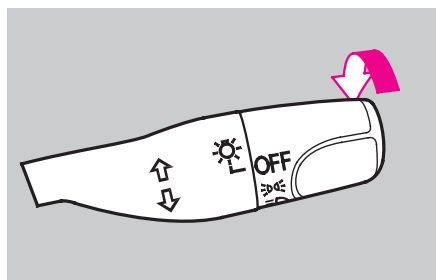
照度感知部は図の位置にあります。感知部の上に物を置かないでください。





手で使うとき

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	消灯
ヘッドライト	—	点灯
車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 →113ページ

知 識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

次の場合に、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに“ライトが点灯しています”が表示されます。

- ・ライトを点灯したままエンジンスイッチからキーを抜いて、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)。
- ・**Hondaスマートキーシステム装備車**

ライトを点灯したままエンジンスイッチを“0”(プッシュオフ)にして、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)。

●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

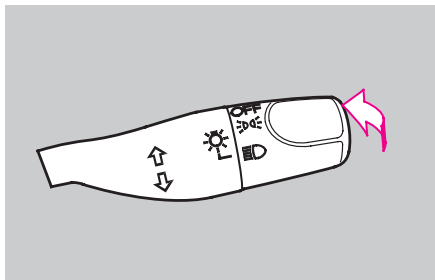
レバーを前方へ押すと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライト上向き(ハイビーム)

表示灯

→113ページ

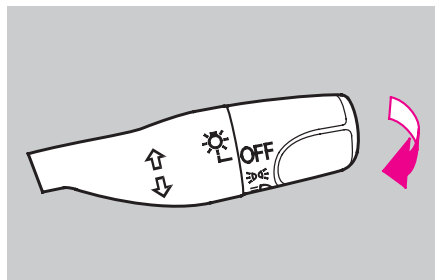


知 識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。



●オートレベリング機能

ディスタージヘッドライト装備車

ヘッドライトには、積載時などの車両の姿勢の変化に応じて光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が装備されています。

アドバイス

- ヘッドライト光軸の上下方向に異常を感じたときはHonda販売店で点検を受けてください。



●ヘッドライトレベリングダイヤル

ハロゲンヘッドライト装備車

エンジンスイッチが“II”のとき、ヘッドライトの照らす方向(光軸)を下向きに調節することができます。

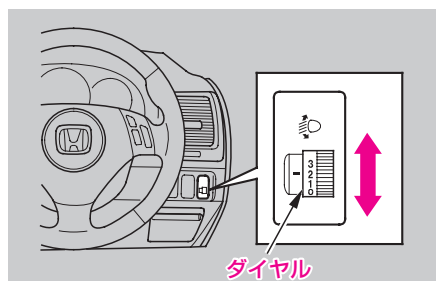
乗員や荷物が多いときなど、ヘッドライトが通常より上を向いているときは、ヘッドライトの光軸を下向きにしてください。



光軸の調節はダイヤルを回して行います。

下方向へ回すとヘッドライトの光軸は下向きに変わります。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。



乗員の人数や荷物の量に応じて、下記の表を目安にダイヤル位置を調節してください。

《ダイヤル位置の目安》

乗員やトランクの 積載状況	ダイヤル 位置
運転席のみ乗車時	0
運転席と助手席に乗車時	
5名乗車時	1
5名乗車で トランク満載時	2
運転席のみ乗車で トランク満載時	3

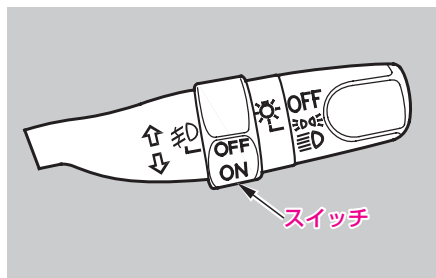
🎓 知 識

- 車検などで光軸調整をするときは、ダイヤルを“0”の位置に戻してから行ってください。

フォグライトスイッチ

タイプ別装備

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを“ON”にするとフォグライトが点灯します。



フォグライトが点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

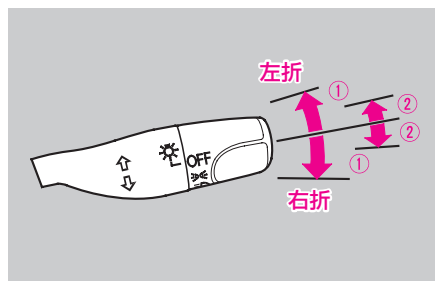
フォグライト点灯表示灯 →113ページ

知 識

- オートライトコントロール装備車は、車幅灯やヘッドライト点灯時にフォグライトが点灯します。

方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。

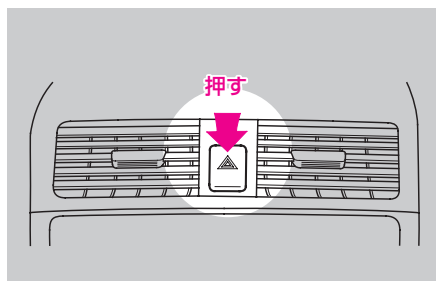




非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するときに使います。



知識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも
約2時間以上使うとバッテリー容
量が低下し、エンジンの始動がで
きなくなります。

ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード（ゴム部）を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード（ゴム部）がガラス面に張りつくことがありますのでデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード（ゴム部）を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。
デフロスター →232、244ページ

🎓 知識

- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。
- ワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてください。また、倒すときは、助手席側を先に倒してください。

ワイパーアームの起こしかた

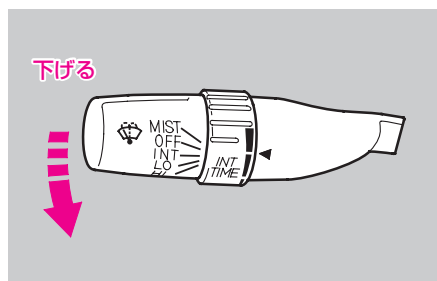
→407ページ



エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ

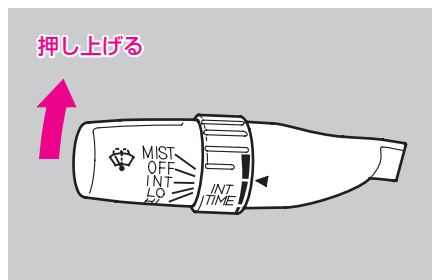


オートワイパー装備車

OFF	停止
AUTO(自動)	雨量に応じて自動で制御するとき
LO(低速)	普通雨量のとき
HI(高速)	雨量の多いとき

オートワイパー非装備車

OFF 停止
INT(間欠) 雨量の少ないとき
LO(低速) 普通雨量のとき
HI(高速) 雨量の多いとき



MIST

レバーを押し上げている間、高速で作動します。

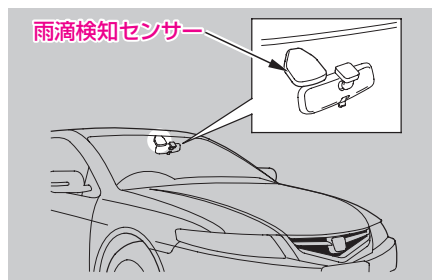
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

自動で使うとき

オートワイパー装備車

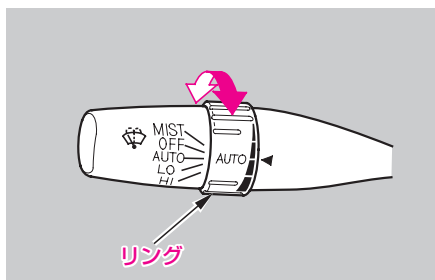
レバーを“**AUTO**”にすると、ワイパーが1回作動し、その後は自動作動に切り換わります。

フロントガラス上部にある雨滴検知センサーが検出した雨滴量に応じて、停止、間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。



・センサー感度の調節

リングを回すとセンサー感度の調節ができます。



位置	感度
↑	鈍感
↓	敏感

鈍感……雨滴に対して、より鈍感に反応してワイパーを作動します。

敏感……雨滴に対して、より敏感に反応してワイパーを作動します。

⚠ 注意

- エンジンスイッチが“II”でレバーが“AUTO”のとき、雨滴検知センサー上部のガラス面に手で触れたり、布で拭き取ったりすると、ワイパーが作動することがあり、手をけがしたりワイパーが損傷することがあります。
フロントガラスの手入れをするときは、レバーを必ず“OFF”にしてください。

🎓 知識

- 降雨、降雪時でも、雨や雪が雨滴検知センサーに当たらないと、ワイパーが作動しないことがあります。
- また、雪が雨滴検知センサーに当たっても雪の種類によっては正しく検出できないことがあります。
この場合には、レバーを“LO”または“HI”に切り換えてください。
- センサー上部のガラス面が汚れていたり氷結すると、ワイパーが正常に作動しないことがあります。
この場合は、ガラス上の異物を取り除いてください。
- 雨滴検知センサーに、泥、指紋、油膜、虫などが付着すると、ワイパーが作動することがあります。
- 車内側から雨滴検知センサーに触れるなどして振動をあたえるとワイパーが作動することがあります。
- レバーが“AUTO”の位置でエンジンを始動した場合、すでにガラスに付いている雨滴を雨滴検知センサーが検知しないことがあります。
この場合は、レバーを“MIST”にして一度雨滴を拭き取ってください。



知識

- 雨滴量が変化しているのにワイパーが一定間隔で作動しているときなどは、雨滴検知センサーが故障しているおそれがあります。このようなときは、ワイパースイッチの切り換えは手動で行い、Honda販売店で点検を受けてください。

なお、雨滴検知センサーが故障しているときは、レバーが“**AUTO**”の位置でもオート作動を中断して、間欠作動に切り換わります。

間欠作動の間隔のセットは、リングを回して行います。

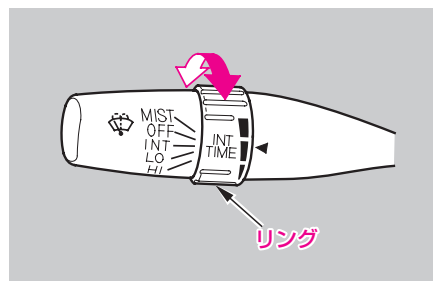
間欠時間の調節

オートワイパー非装備車

ワイパーの間欠作動の間隔を調節できます。



間隔のセットはリングを回して行います。



位置	間隔
	長い ↑ ↓ 短い

知識

- 間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約4秒短くなります。
また、発進時にワイパーが1回作動します。
- リングを間欠時間の短い方へいっぱい回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。

ウォッシャースイッチ

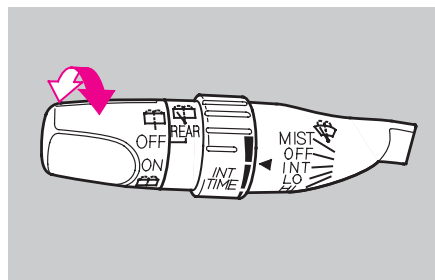
レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離した後さらに2～3回作動します。

手前に引く



●リヤガラス

4WD車



OFF 停止

ON ワイパーが作動します。
スイッチを“ON”にすると、数回ワイパーが作動し、その後間欠作動に切り換わります。

 スwitchを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

リバース連動モード

フロントワイパーが作動しているときに、セレクトレバーを④に入れると、リヤワイパーが作動します。



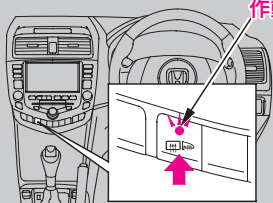
リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

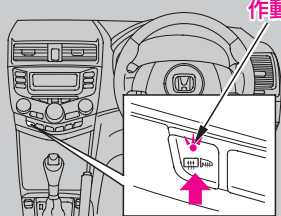


エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。

Hondaインターナビシステム装備車



Hondaインターナビシステム非装備車



知識

- リヤデフロスタースイッチを押すと、ドアミラーの曇り取りも同時に機能します。

ヒータッドアミラー

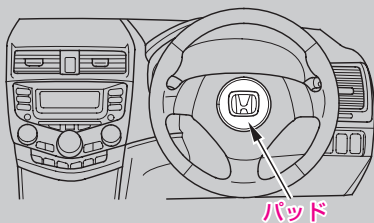
→77ページ

- この装置は消費電力が大きいため、曇りが取れたら“OFF”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

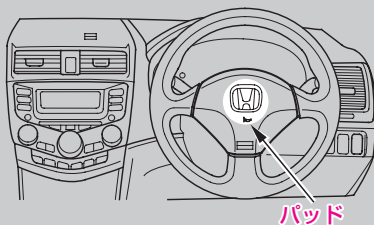
ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。

MOMOステアリング非装備車



MOMOステアリング装備車



2.車を運転するときに

スイッチの使いかた



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。



アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

Hondaスマートキーシステム装備車は、Hondaスマートキーを運転者が携帯し、車内にHondaスマートキーを残したまま降車しないでください。

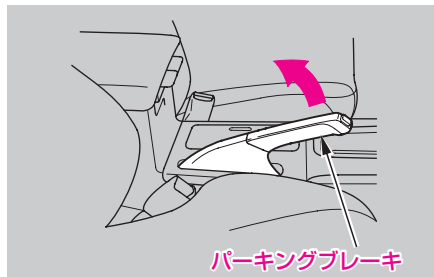
また、電池の消耗などでHondaスマートキーが正常に作動しないときは、内蔵キーを使ってエンジンを始動してください。

内蔵キーの差し込みかた →376ページ

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作

→158ページ

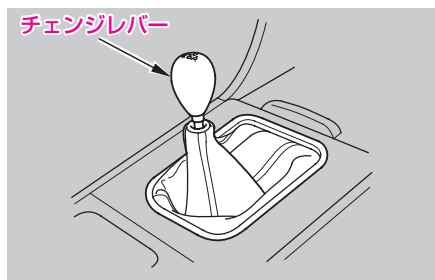




② マニュアル車

チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

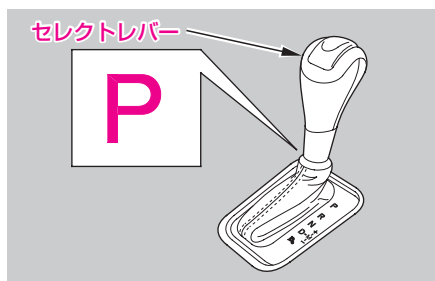
チェンジレバーの操作 →160ページ



オートマチック車

セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →162ページ



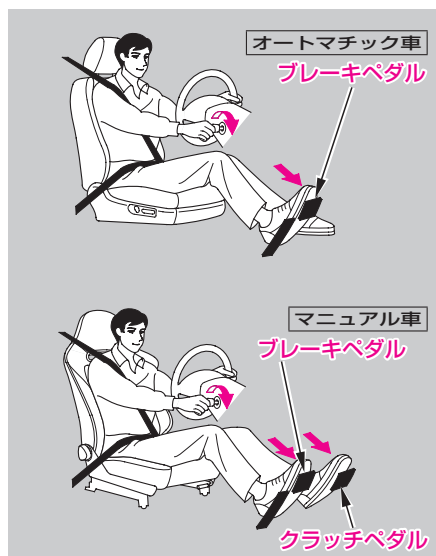
③ ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
マニュアル車は、クラッチペダルもいっばいに踏み込みます。

④ Hondaスマートキーシステム装備車

エンジンスイッチノブを押し込みます。
“ピッ”というブザーが鳴ってから、ゆっくりと回してください。



- ⑤アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチをゆっくりと“III”まで回し、エンジンが始動したら手を離してください。自動的に“II”に戻ります。



・クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らないようになっています。



知 識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度エンジンスイッチを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。
- 周囲の電波状態などによりエンジンが始動できないことがあります。
イモビライザーシステムについて

→60ページ

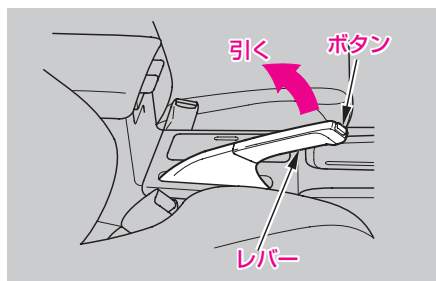
知 識

- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

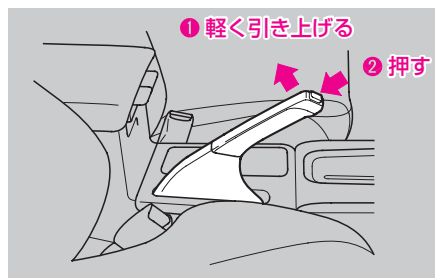
ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



後輪ブレーキが効きます。

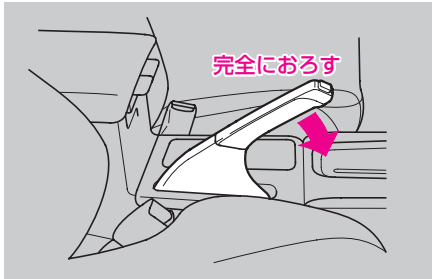
解除するとき

①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。





- ②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。



⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

🎓 知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの

取り扱い

→403ページ

パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行(車速約 7 km/h以上)するとブザーが鳴り、パーキングブレーキの戻し忘れを知らせます。パーキングブレーキを完全に解除するとブザーは止まります。

ブレーキ警告灯 →121ページ

HiDS装備車は、マルチインフォメーションディスプレイに“パーキングブレーキを解除してください”が表示されます。

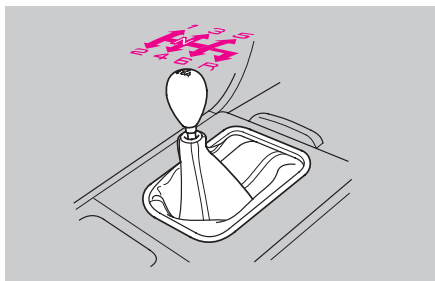
🎓 知識

- 停車(車速約 3 km/h以下)するとブザーによる警告は一旦止まります。

チェンジレバーの操作

Euro R

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

知 識

- この車のシフトノブはアルミ製です。
 - ・炎天下に長時間駐車すると、シフトノブが熱くなることがあります。
 - ・外気温が低いときは、シフトノブが冷たくなることがあります。

Rに入れるとき

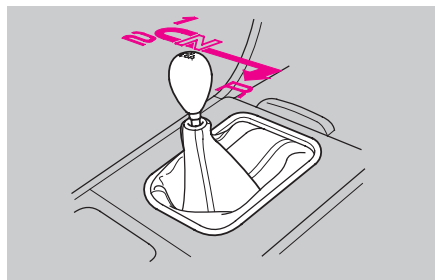
停車してからRに入れて下さい。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

・Rに入らないとき

誤操作を防ぐため、Rへは一定車速以上では入らないようになっています。停車してもRに入らないときは、チェンジレバーを一度Nへ戻し、1、2側に倒してからRに入れてください。



上記の操作をしてもRに入らないときは

- ①パーキングブレーキをかけてエンジンスイッチを“1”または“0”にします。
- ②クラッチペダルを踏んで、チェンジレバーをRに入れます。
- ③クラッチペダルを踏んだまま、エンジンを始動します。

アドバイス

- 停車してもRに入らない場合は、故障が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～60km/h
2	15～90km/h
3	25～125km/h
4	35km/h～
5	40km/h～
6	50km/h～

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の车速には十分注意してください。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数 …………… 8,400rpm

知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。
- 外気温が氷点下時の暖機中など、エンジンが冷えているときには、エンジン保護のため、エンジン回転数を制限しています。

セレクトレバーの操作

オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知 識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)

D

ドライブ

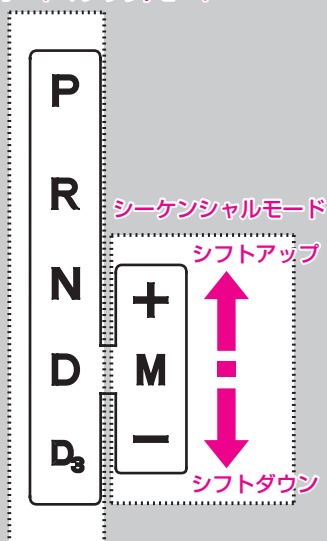
通常の走行をする位置。
(1速から5速まで自動的に変速されます。)
シークエンシャルモードにすることができます。

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)



AT(オートマチック)モード



シーケンシャルモード

停車中や走行中に、セレクトレバーを回から運転席側に動かすと、シーケンシャルモードがセットされ $\square$ 表示灯が点灯します。マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

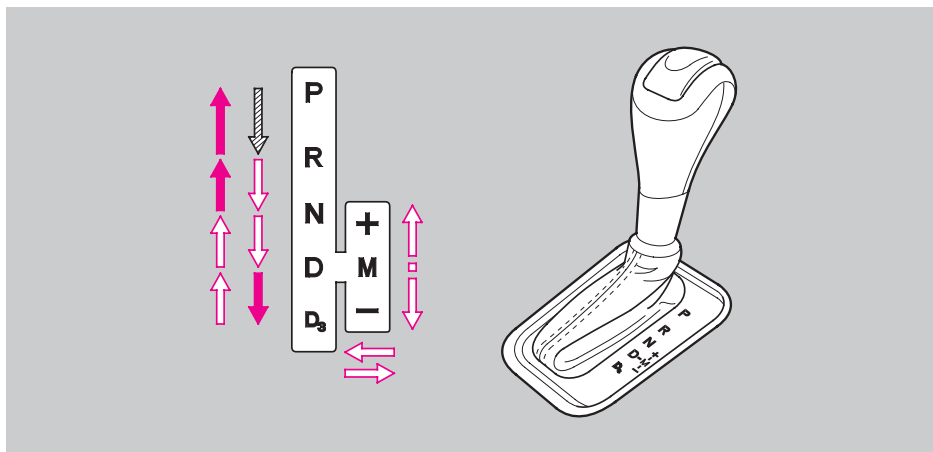
10km/h以下になると、自動的に1速にシフトダウンします。車速が上がっても、自動的にシフトアップしません。発進は1速または2速でのみ行なうことができます。2速で発進すると、雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。

シーケンシャルモードの使いかた

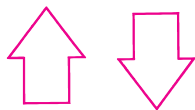
→166ページ



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

🎓 知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでもから他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反してに入れてしまうおそれがあります。
 の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速 度 範 囲	変 速 範 囲
D	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 速(自動)
シーケンシャルモード	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 速(手動)
Ds	0～140km/h	1 ↔ 2 ↔ 3 速(自動)

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🚗 アドバイス

- シーケンシャルモードでは自動的にシフトアップしません。
エンジン故障などの原因となりますので、右表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。

タイプ	限界回転数(rpm)
Type S、24TL	7,100
20A、20EL	6,800

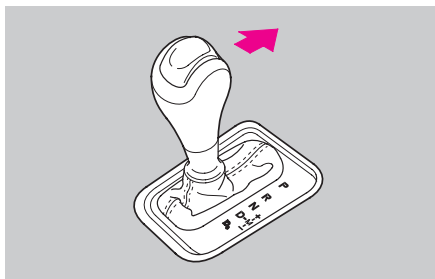
🎓 知 識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避けめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

●シーケンシャルモードの使いかた

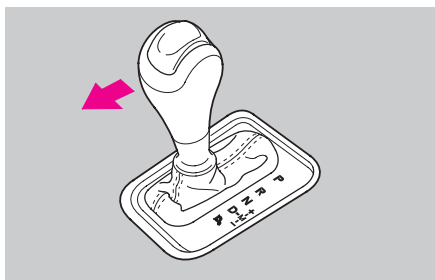
シフトアップするとき

レバーを+側に動かすとシフトアップ(高速ギヤに変速)します。



シフトダウンするとき

レバーを-側に動かすとシフトダウン(低速ギヤに変速)します。

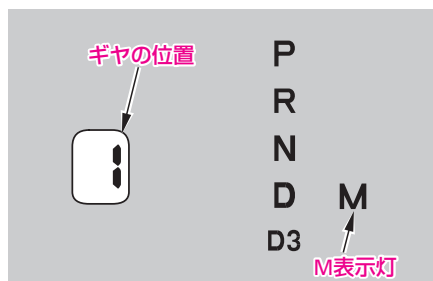


知 識

- レバーの操作1回で、ギヤが1段ずつ変速します。連続して操作したときは、ギヤを連続して変速します。レバーを+または-に倒したままでは、連続変速しません。続けて変速するときは、一旦レバーを戻してから操作してください。

シーケンシャルモード表示灯

シーケンシャルモードにするとM表示灯が点灯します。また、メーター内にあるセレクトポジション表示灯の横にギヤの位置を表示します。



M(シーケンシャルモード)表示灯

→114ページ

シーケンシャルモードを解除するとき

レバーを助手席側に動かすと、シーケンシャルモードは解除されM表示灯は消灯し、通常の回(ATモード)に戻ります。



M(シーケンシャルモード)表示灯

→114ページ



2 速固定モードの使いかた

停止または10km/h以下でレバーを+側に1回動かすと、2速固定モードになり2速に固定されます。雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。

2速固定モードのときに、レバーを+または-に動かすと、2速固定モードは解除されます。

●操作受けつけ車速

シーケンシャルモードでは、以下の条件のときにレバーを操作すると変速します。

	20A、20EL		Type S、24TL	
	シフトアップ	シフトダウン	シフトアップ	シフトダウン
1 速↔ 2 速	0 km/h以上	50km/h以下	0 km/h以上	50km/h以下
2 速↔ 3 速	10km/h以上	100km/h以下	10km/h以上	110km/h以下
3 速↔ 4 速	32km/h以上	140km/h以下	32km/h以上	140km/h以下
4 速↔ 5 速	52km/h以上	————	52km/h以上	————

また、シフトダウン時(5速→4速、4速→3速および3速→2速)に速度範囲を超えているときは、表示灯が点滅(最大約1秒間)します。点滅している間に車速が速度範囲内に下がったときはシフトダウンを行います。

🏠 知 識

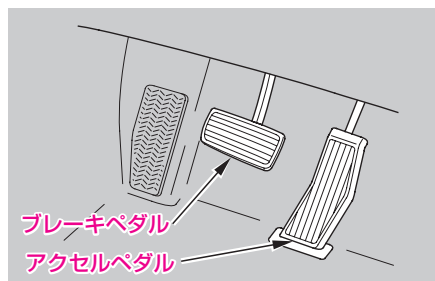
- シーケンシャルモードでは、発進は1速または2速(2速固定モードのとき)で行えます。
- 以下の場合、自動的にシフトダウンすることがあります。
 - ・10km/h以下になると、1速になります。
 - ・2速固定モードのときは10km/h以下になっても2速のまま変速されません。
 - ・5速で52km/h以下になると、4速になります。
 - ・5速で52～72km/hのときに、登坂時に車速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは4速になることがあります。
 - ・4速で32km/h以下になると、3速になります。
 - ・4速で32～52km/hのときに、登坂時に車速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは3速になることがあります。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知 識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーがPに入っていることを確認。

知 識

- Pでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるRで行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

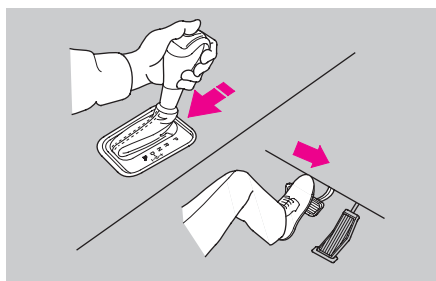


知 識

- イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときはエンジンを始動することができません。
イモビライザーシステムについて →60ページ
イモビライザーシステム表示灯 →115ページ
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は回(または図)、後退は図に入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ②レバーの位置を目で再確認。
③パーキングブレーキを解除する。
④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→121ページ)
⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

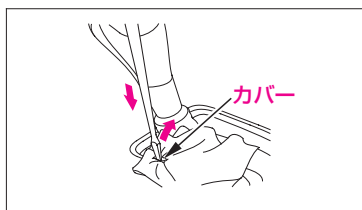
🎓 知識

- セレクトレバーを図以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- オートマチック車は、発進時の速度を、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。



知 識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられないときは、
 - ① ドライバーの先端に布等をまいてシフトロック解除穴のカバーを外します。



- ② シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・ パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルから足を離し、
- ・ アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・ 車が動き出す感触を確認しながら、
- ・ パーキングブレーキを解除して発進。

走行

走行中はセレクトレバーをNにしないでください。

知識

- Nにするとエンジンブレーキが全く効かなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またNにしても燃費の差はほとんどありません。



注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ → 18ページ



通常走行

セレクトレバーを回にして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から5速まで自動的に変速されます。

・シーケンシャルモード走行

停車中や走行中に、セレクトレバーを回からシーケンシャルゲートに入れると、シーケンシャルモードがセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

シーケンシャルモード →163ページ

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーを回にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

下り坂走行

下り坂を回のまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーを回にします。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、シーケンシャルモードにして、走行速度に合わせ、2速または1速にします。

シーケンシャルモードのときには、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落としてエンジンブレーキを併用してください。

停車

- ① ④のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で④⑤以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが④⑤以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを④に入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが④⑤以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。



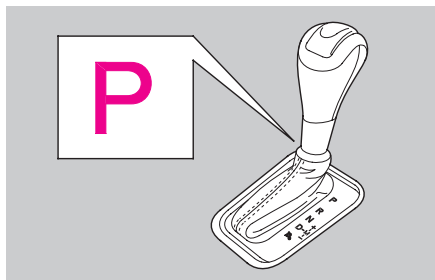
知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが④にあることを確認してください。
- セレクトレバーが④でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

⚠ 注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(D、D_s、M)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(R)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

2.車を運転するときに

運転のしかた



クルーズコントロール

タイプ別装備[※]

高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車道などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。

車速は、、またはシークエンシャルモードでは2速以上のとき約30～100km/hの範囲で希望値に設定できます。

また、アクセルペダルを踏まずに車速を上げ下げしたり、一時的な減速後、もとの車速に自動的に戻すことができます。

※：HiDS装備車については、別冊のHiDS取扱説明書をご覧ください。

警告

- クルーズコントロールはつぎのような道路では使用しないでください。
道路状況によっては、思わぬ事故につながります。
 - ・ 混んでいて車間距離が十分とれない道路、急カーブのある道路（道路状況にあった速度で走行できません。）
 - ・ 急な下り坂のある道路（エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。）
 - ・ 凍結や積雪などで滑りやすい道路（タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。）

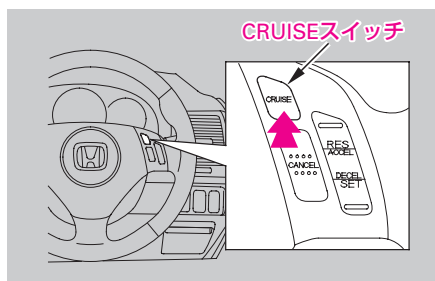
知識

- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速を保てない場合があります。

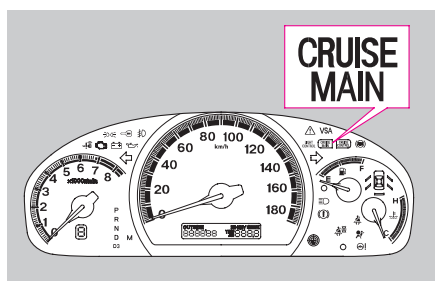


●希望車速をセットし、定速走行をしたいときの操作

- ①CRUISE(クルーズ)スイッチを押して、クルーズコントロールを“ON”にします。



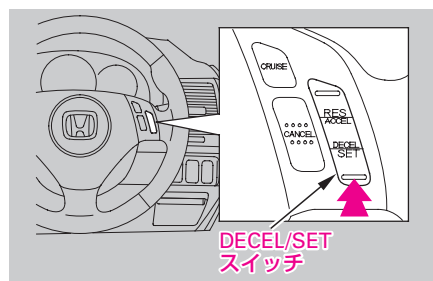
“ON”のとき、メーター内のCRUISE MAIN表示灯が点灯します。



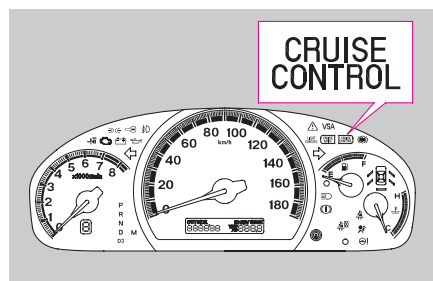
🎓 知識

- エンジンスイッチを“1”または“0”にするとCRUISEスイッチは自動的に“OFF”になります。

- ②アクセルペダルを加減して希望の車速になったらDECEL/SETスイッチを押して離します。
(スイッチを離したときの車速にセットされます。)



車速がセットされ自動定速走行になると、メーター内のCRUISE CONTROL表示灯が点灯します。



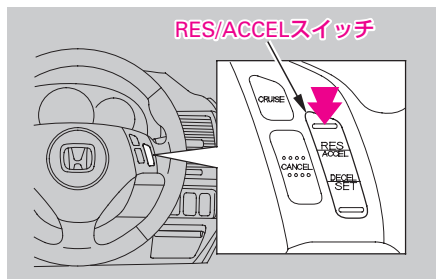
🎓 知識

- 自動定速走行をしないときは、安全のためCRUISEスイッチを押して“OFF”にしておいてください。

●設定車速を上げたいとき

RES/ACCELスイッチで車速を上げる場合

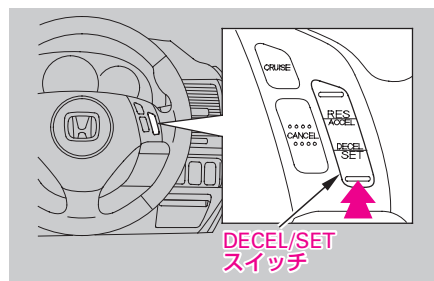
- スイッチを1回ずつ押す
…1回押すごとに1.5km/hずつ車速が上がります。
- スイッチを押し続ける
…押し続けた分だけ車速が上がります。
(スイッチを離したときの車速にセットされます。)



アクセルペダルで車速を上げる場合

アクセルペダルを踏んで加速し、希望車速になったときDECEL/SETスイッチを一度押して離します。

(スイッチを離したときの車速がセットされます。)

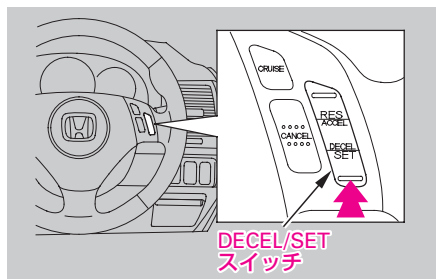




●設定車速を下げたいとき

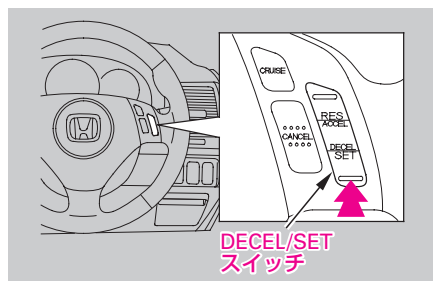
DECEL/SETスイッチで車速を下げる場合

- スイッチを1回ずつ押す
…1回押すごとに1.5km/hずつ車速が下がります。
- スイッチを押し続ける
…押し続けた分だけエンジンブレーキで減速をし、車速が下がります。
(スイッチを離したときの車速にセットされます。)



ブレーキペダルで車速を下げる場合

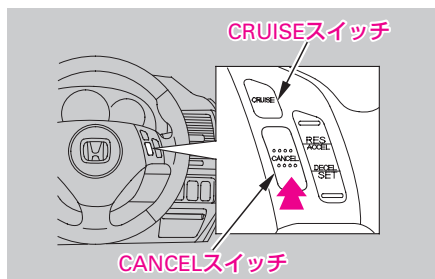
ブレーキペダルを踏んで減速し、希望の車速になったときに、ブレーキペダルから足を離し、DECEL/SETスイッチを押して離します。
(スイッチを離したときの車速がセットされます。)



●解除するとき

次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。

- CANCEL (キャンセル) スイッチを押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- CRUISE スイッチを押したとき
- セレクトレバーをRにしたとき



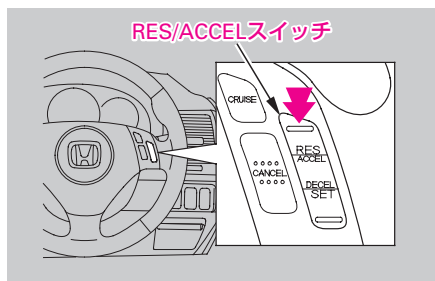
🎓 知識

- 自動定速走行が解除されると、メーター内のCRUISE CONTROL表示灯が消灯します。
- 走行速度が30km/h以下になると、自動定速走行が自動で解除されます。



●解除前の設定車速に戻したいとき

自動定速走行を解除した後、車速が30 km/h以上になっている場合は、RES/ACCELスイッチを押すと、解除前に設定した車速まで戻り、再び自動定速走行ができます。



知識

- 次の操作をして自動定速走行を解除したときは、RES/ACCELスイッチを押しても車速の復帰はできません。
もう一度、車速を設定し直してください。
- ・ CRUISEスイッチを押したとき
- ・ 車速が30km/h以下になったとき

リミテッドスリップデフ(LSD)

Euro R

LSDのしくみ

LSDは駆動力を左右輪に最適配分し、有効に伝達するための装置です。

このLSDは、ヘリカルギヤを使ったトルク感応型となっています。

トルク感応型LSDの特性として、加速時にハンドルが重くなったり、振動を感じることがあります。

取り扱いについて



アドバイス

- 前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響をあたえます。



知識

- 前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した標準タイヤを前輪に取り付けてください。

3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムのしくみ …… 186

作動するとき …… 188

作動しないとき …… 189

SRSエアバッグシステムの効果を

十分に発揮させるために …… 190

お子さまを乗せるときは …… 191

取り扱いについて …… 192

●サイドエアバッグシステム／ サイドカーテンエアバッグ システム

サイドエアバッグシステムおよび

サイドカーテンエアバッグ

システムのしくみ …… 194

作動するとき …… 198

作動しないとき …… 200

サイドエアバッグシステムおよび

サイドカーテンエアバッグ

システムの効果を十分に

発揮させるために …… 201

乗員姿勢検知システム

(助手席のみ) …… 203

お子さまを乗せるときは …… 205

取り扱いについて …… 206

●シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーの

しくみ …… 210

取り扱いについて …… 211

●アンチロックブレーキシステム(ABS)

ABSのしくみ …… 212

運転のしかた …… 212

取り扱いについて …… 213

●ビークルスタビリティ アシスト(VSA)

VSAのしくみ …… 214

運転のしかた …… 215

取り扱いについて …… 216

●四輪駆動機構(4WD)

運転するときは …… 218

取り扱いについて …… 218

●ブレーキアシスト …… 219

ブレーキアシストのしくみ …… 219

取り扱いについて …… 219

●その他の安全装備 …… 220

SRSエアバッグシステム

(運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。

⚠警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知 識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界を妨げません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱い人などは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



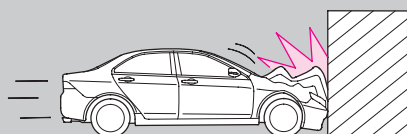
作動後



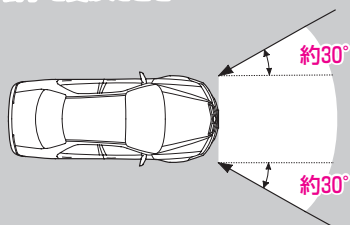
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

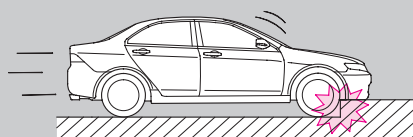


知 識

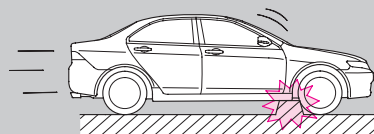
- 衝撃を吸収できる物(車やガードレールのように変形する物)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

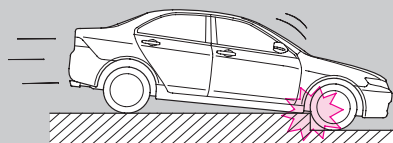
縁石などに衝突したとき



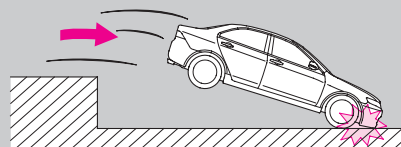
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



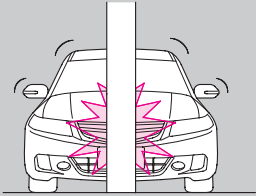
高いところから落ちたとき



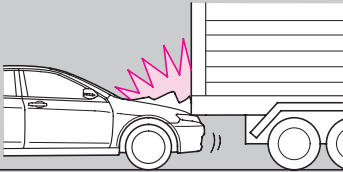


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

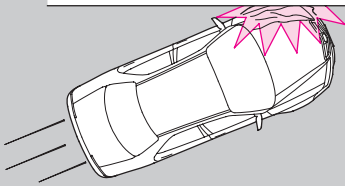
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



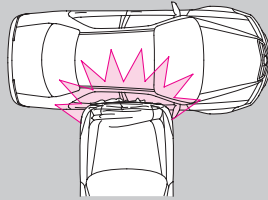
知 識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

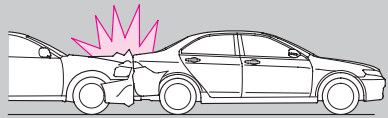
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

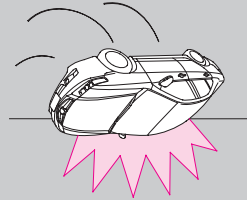
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



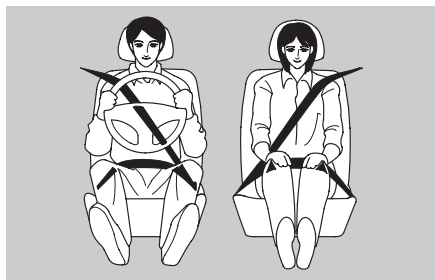
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

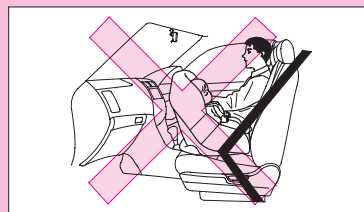
正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

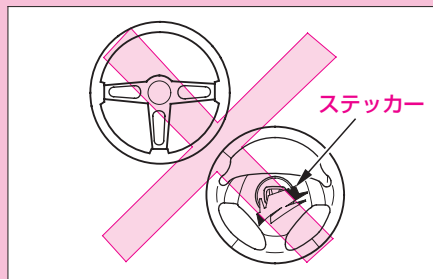
また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



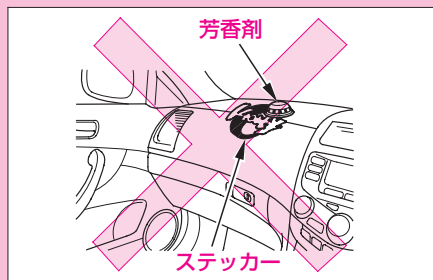
取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。





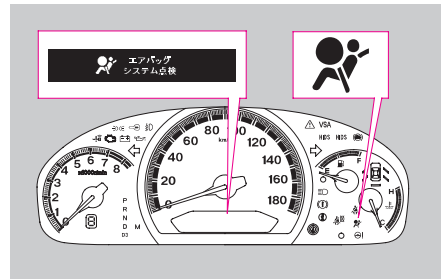
知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイ(HiIDS装備車)に“エアバッグシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。
 必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

サイドエアバッグシステム／ サイドカーテンエアバッグシステム

タイプ別注文装備

サイドエアバッグシステムおよび サイドカーテンエアバッグシステムのしくみ

●サイドエアバッグシステムおよび サイドカーテンエアバッグシステムとは

側面からの衝突により、サイドエアバッグ(運転者または助手席同乗者)およびサイドカーテンエアバッグが膨らんで乗員とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の頭部や胸部などが衝突するときの衝撃を緩和する装置です。

サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、側面からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(頭部や胸部に重傷を及ぼすような場合)を検知するとシステムが作動し、衝撃を受けた側のサイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らんで乗員とドアの間に入り込むことにより、ドアと乗員の頭部や胸部などが衝突するときの衝撃を緩和します。

助手席側は乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →203ページ

⚠ 注意

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らんだ直後は、エアバッグ構成部品に触れないでください。構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知 識

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは膨らんだあとにしぼみます。
- サイドエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグ収納部



作動時



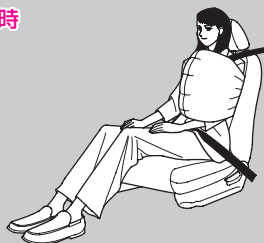
助手席サイドエアバッグシステム

助手席用サイドエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

サイドエアバッグ収納部



作動時





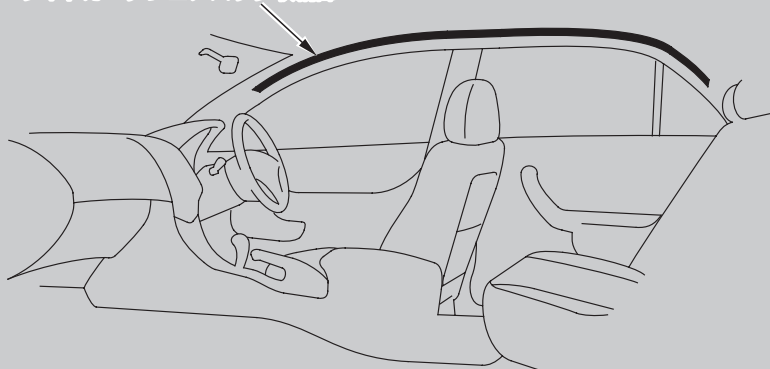
サイドカーテンエアバッグシステム

助手席側にもサイドカーテンエアバッグが収納されています。

助手席側サイドカーテンエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

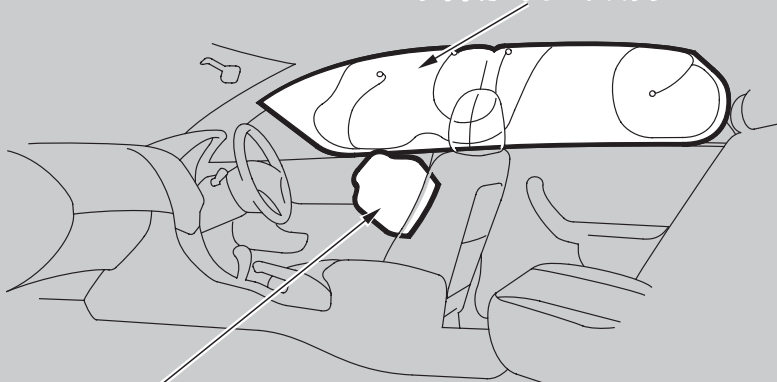
イラストは運転席側を示します。

サイドカーテンエアバッグ収納部



作動時

サイドカーテンエアバッグ

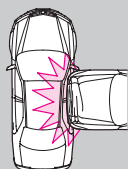


サイドエアバッグ

作動するとき

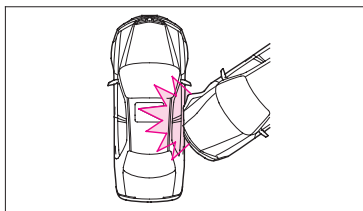
次のような場合に作動します。

約25km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から側面衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



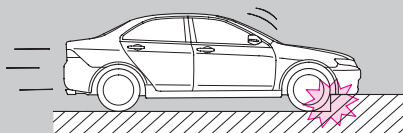
知識

- 側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

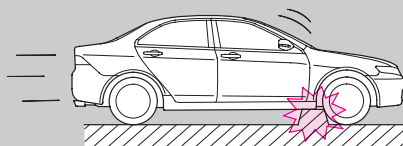


次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

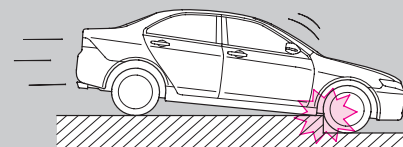
縁石などに衝突したとき



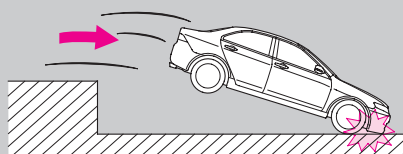
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



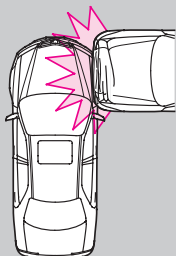
高いところから落ちたとき



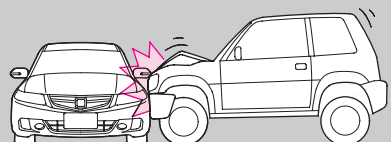


次のような場合、作動しないことがあります。

乗員付近以外の側面に衝突されたとき



車高の高い車に側面衝突されたとき



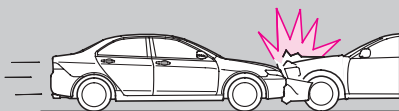
知識

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

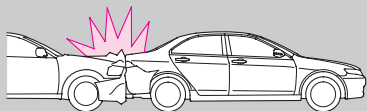
作動しないとき

低い速度での衝突や次のような場合、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないので作動しません。ただし、状況によっては、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが作動することがあります。

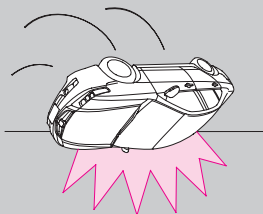
正面衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況と、形態によっては、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが作動することがあります。

助手席側は、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム →203ページ



サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



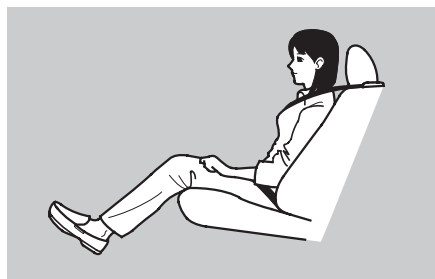
助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



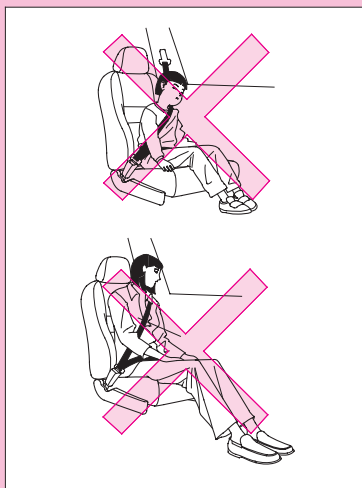
後席(外側)

シートに深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



⚠ 注意

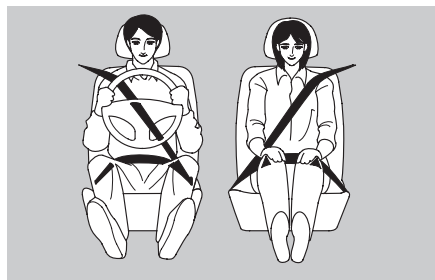
- ドアに寄りかからないようにしてください。サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。



- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグの各格納部に手や顔などを必要以上に近づけないでください。また、後席同乗者は前席の背もたれを抱えないでください。
サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。
必ず、シートベルトを着用してください。





乗員姿勢検知システム(助手席のみ)

●乗員姿勢検知システムとは

乗車時の姿勢が不適切な場合、サイドエアバッグが膨らむことにより重大な傷害を受けるおそれがあるため、助手席乗員の姿勢を検知し、サイドエアバッグの作動を自動的に停止する装置です。



知 識

- シート表皮の裏にセンサーが取り付けられているため、次のような場合には、乗員姿勢検知システムが正常に機能しないおそれがあります。
 - ・ シートの背もたれがぬれているとき。
 - ・ 金属など電気を通す物が接しているとき。
 - ・ シートにクッションなどを装着しているとき。
 - ・ ダウンジャケット等の厚い上着を着ているとき。
 - ・ 水分を含んだ物を助手席に置いているとき。

●サイドエアバッグの作動を自動停止するとき

次のような場合、サイドエアバッグの作動を自動停止します。このときメーター内のサイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

サイドエアバック自動停止表示灯

→116ページ

また、マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)に“助手席サイドエアバッグ停止中”“正しい乗車姿勢を取って下さい”が表示されます。

小さなお子さまがドアに寄りかかって、サイドエアバッグがとび出す付近に頭があるようなとき



知 識

●次のような場合でも、サイドエアバッグの作動を自動停止することがあります。

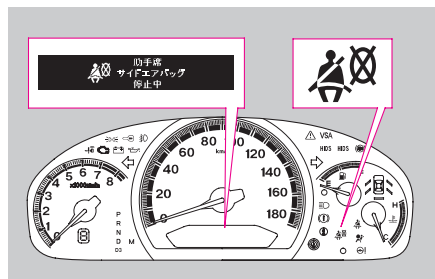
- ・小柄な大人の方が上のイラストと同じような姿勢をとったとき。
- ・大人の方が前かがみになるまたは、寝そべっていて、ドア側に寄りかかっているとき。

●サイドエアバッグ自動停止表示灯

メーター内に組み込まれており、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断し、サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)に“助手席サイドエアバッグ停止中”“正しい乗車姿勢を取って下さい”が表示されます。

表示灯が点灯したときは、上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約5秒間点灯して消えるのが正常です。



アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・正しい乗車姿勢をとっても消灯しないとき、あるいは助手席に乗員がいないのに消灯しないとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約5秒経過しても消灯しないとき。



知 識

- 次のような場合は、表示灯が点灯することがあります。表示灯が点灯しているときは、サイドエアバッグの作動を自動停止します。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき。
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき。
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき。

お子さまを乗せるときは

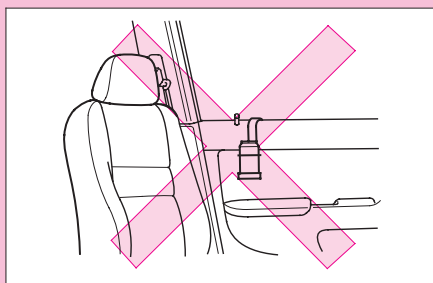
お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

取り扱いについて

⚠ 注意

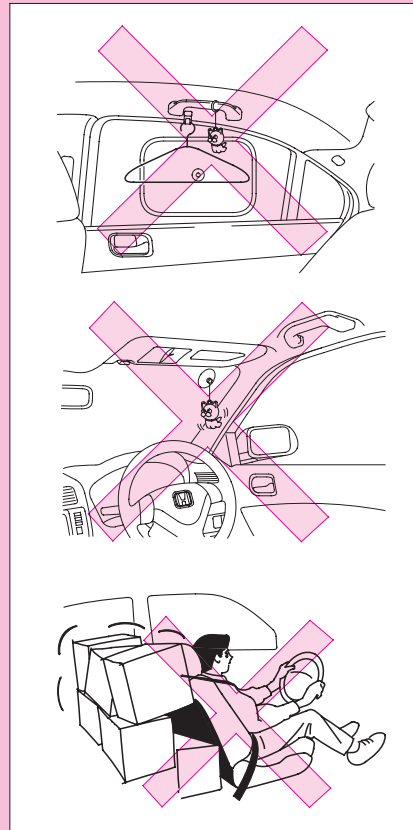
- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ドアやその周辺にカップホルダーなどを取り付けないでください。
また、シートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。
サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグはドアに沿って膨らむため、正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- フロントシートにシートカバーを取り付けないでください。サイドエアバッグはシートの背もたれ外側に収納されていて、シート表皮のぬい目を破って膨らむため、正常に機能しなくなるおそれがあります。
- フロントシートの背もたれを倒した状態でとびはねるなど、サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。





⚠ 注意

- グラブレルに物をかけないでください。
コートフックには、ハンガーや重い物、とがった物をかけないでください。
フロントガラス、ドアガラスに物やアクセサリーなどを取り付けないでください。フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにこの車専用のHonda純正用品(ハンズフリー通信キットなど)以外を取り付けないでください。
サイドカーテンエアバッグが正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- フロント、センター、リヤの各ピラーやルーフなど、サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えたりしないでください。
- エアバッグが収納されているルーフサイド、フロント、センター、リヤの各ピラーやルーフに傷がついていたり、ひび割れがある時は、そのまま使用せずにHonda販売店で交換してください。
- 座席に荷物を載せるときは、ドアガラス下端部の高さを越えないようにしてください。サイドカーテンエアバッグが正常に機能しなくなったり、作動時に荷物が飛ぶことがあります。



知 識

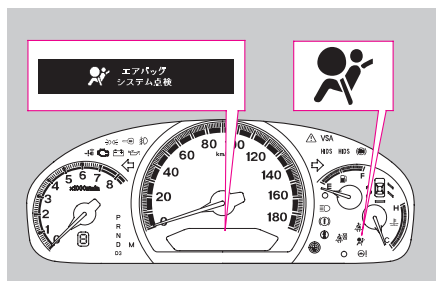
- フロントシートまわり、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品を取り付ける場合は、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとサイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。



●SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステムとシートベルト プリテンショナー警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、サイドエアバッグユニットまたはサイドカーテンエアバッグユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)に“エアバッグシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、サイドエアバッグシステム、サイドカーテンエアバッグシステムまたは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。
- 必要なときにサイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠ 注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。

- ・シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト →80ページ

- ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 →64ページ

🎓 知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。Honda販売店で交換してください。

なお、シートベルトを着用していなくても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

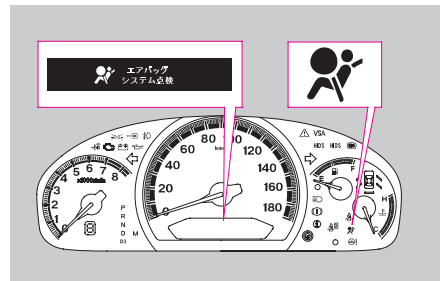
🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステムとシートベルトプリテンショナー警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイ (HiIDS装備車) に“エアバッグシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- 低速(車速約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

🎓 知 識

- エンジン始動後、最初の発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

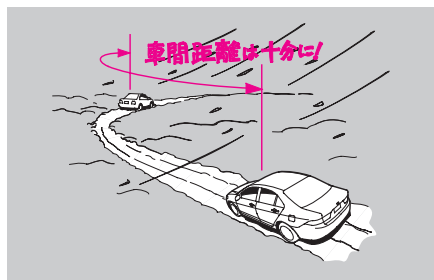
運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





取り扱いについて

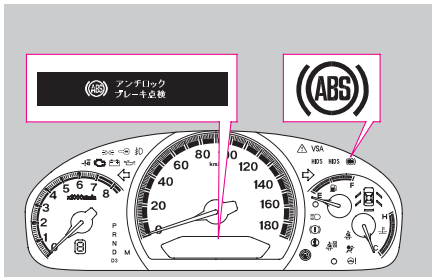
知 識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなる場合があります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイ(HiDS装備車)に“アンチロックブレーキ点検”が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過後にも消灯しないとき。
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ビークルスタビリティアシスト(VSA) (車両挙動安定化制御システム)

タイプ別装備

VSAのしくみ

●VSAとは

ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

機能

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする機能です。

TCS(トラクションコントロールシステム)機能

機能

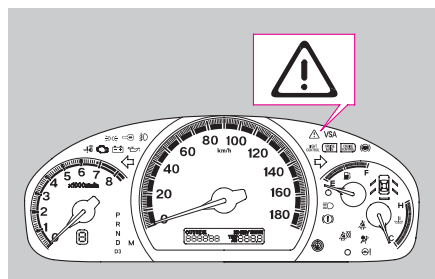
滑りやすい路面などでの駆動輪(前輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする機能です。

横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

●作動について

TCS機能と横滑り抑制機能は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。TCS機能または横滑り抑制機能が作動中は、メーター内のVSA作動表示灯が点滅します。



VSA作動表示灯は、エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

 アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中にVSA警告灯と同時に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

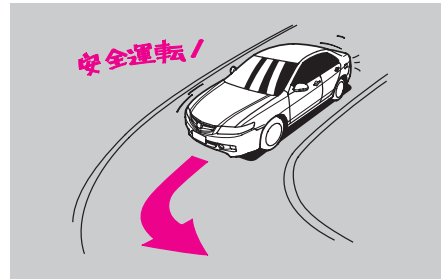
 知 識

- 発進時等にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

運転のしかた

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- ・カーブの手前では十分に速度を落としてください。
- ・雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。



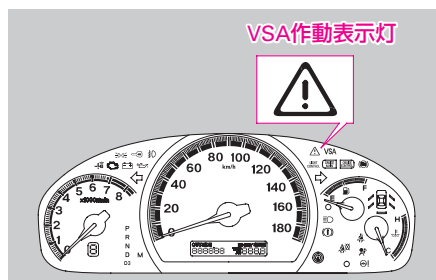
取り扱いについて

アドバイス

- VSA装備車は四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなることがあります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

TCS機能と横滑り抑制機能を作動させたくないとき

VSA OFFスイッチを押すとTCS機能と横滑り抑制機能が“OFF”になりメーター内のVSA作動表示灯が点灯します。



スイッチを押すごとに“OFF”と“ON”をくり返します。

知 識

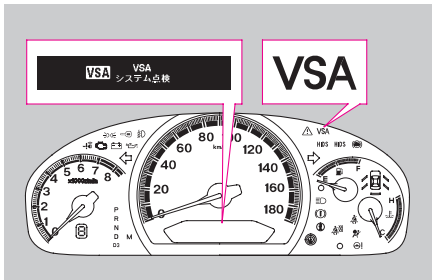
- TCS機能または横滑り抑制機能が作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。
- エンジンスイッチを“Ⅰ”または“0”にするとVSAは“ON”の状態に戻ります。



●ビークルスタビリティアシスト (VSA)警告灯

メーター内に組み込まれており、VSAが異常のときに点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイ (HiDS装備車)に“VSAシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

🎓 知識

- けん引されたときやけん引したときは、警告灯が点灯することがあります。この場合はエンジンを再始動させて警告灯が消灯すればVSAは正常です。
- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- ブレーキアシストの装置に異常があると、VSA警告灯が点灯します。

ブレーキアシスト →219ページ

四輪駆動機構(4WD)

4WD車

運転するときは

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

知 識

- 4WDの状態で行進中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。
しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

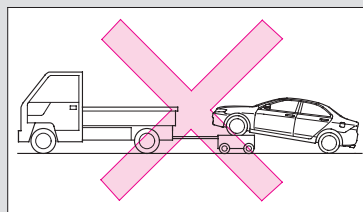
取り扱いについて

アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。

駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

けん引 → 334ページ





ブレーキアシスト

ブレーキアシスト のしくみ

●ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きい制動力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。
- VSA装備車は、ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり作動音が聞こえることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

VSAについて →214ページ

取り扱いについて

知 識

- VSA装備車は、VSA警告灯が点灯しているときは、ブレーキアシストは作動しません。なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。

その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→23ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。
(→83ページ)

●シートベルトリマインダー (非着用警報装置)

シートベルトの未着用をランプとブザーで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→83ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

4WD車

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→150ページ)

4

ドライブを快適にする装備

●インフォメーションディスプレイ
表示について ……223

●エアコン
吹き出し風の調節 ……225
エアコンインデックス ……226
オートエアコン
（Hondaインターナビシステム
装備車） ……228
オートエアコン
（Hondaインターナビシステム
非装備車） ……240
エアクリーンフィルター ……249
シートヒーター ……252

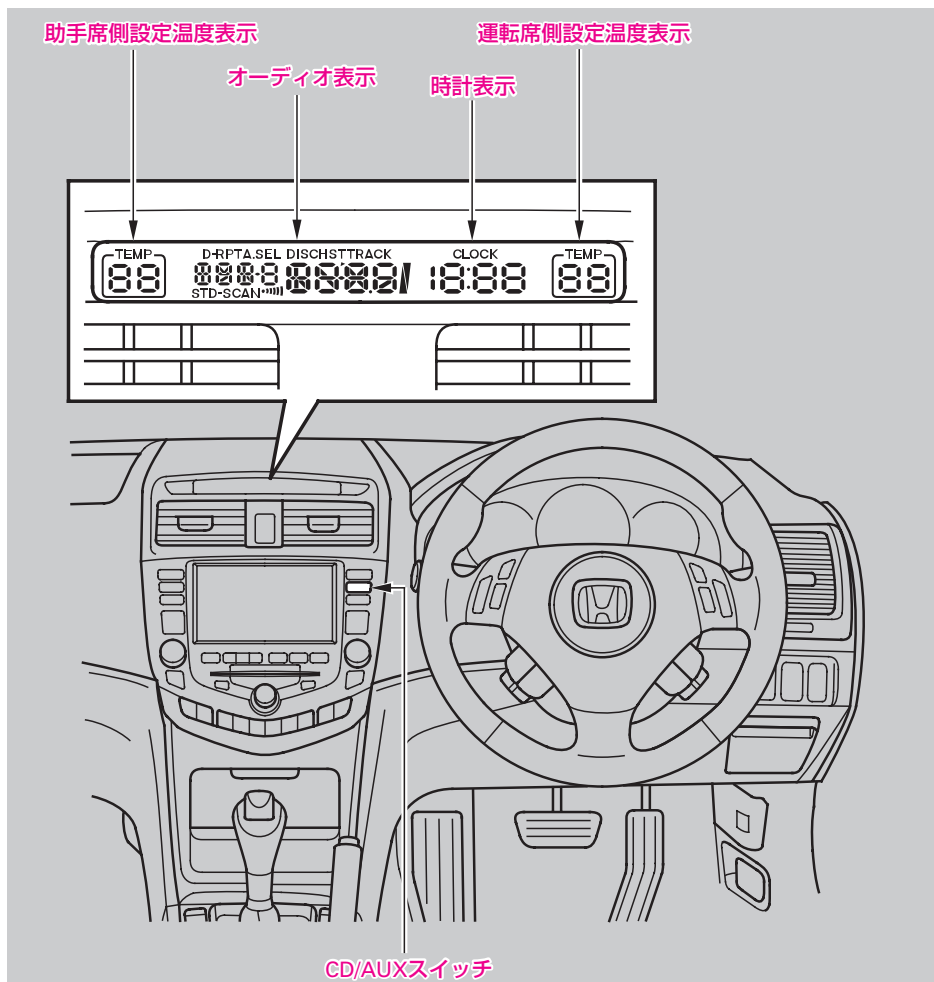
●オーディオ
上手な使いかた ……254
アンテナ ……256
オーディオインデックス ……258
AM/FMラジオ体式
CDチェンジャーステレオ ……260
AM/FMラジオ体式
CDステレオ ……284
オーディオリモートコントロール
スイッチ ……304

●室内装備品
室内灯 ……306
マップランプ ……307
ドア開閉灯（フロントドア） ……308
エンジンスイッチ照明灯 ……309
シガレットライター ……310
灰皿 ……311
サンバイザー ……312
チケットホルダー ……312
サングラスホルダー ……313
アームレスト ……314
携帯電話接続端子 ……314
小物入れ ……315
カップホルダー ……317
カーゴフック ……318
グラブレール ……318
コートフック ……318

●カスタマイズ機能
カスタマイズ機能について ……320
設定をリセットする ……326

インフォメーションディスプレイ

Hondaインターナビシステム装備車



知 識

- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の減光を解除すると、インフォメーションディスプレイの減光も解除されます。

イルミネーションコントロール →98ページ



表示について

インフォメーションディスプレイは、次のような表示を行います。

1 オーディオ表示

オーディオが“ON”のとき、作動について表示します。

オーディオの操作については、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

2 時計表示

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のとき、時刻を表示します。



知 識

- 時計は、人工衛星(GPS)からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

3 温度表示

エアコンが作動しているとき、運転席側および助手席側の温度を表示します。

エアコンの操作について →228ページ

●表示の消しかた

CD/AUXスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押すと表示が消えます。

CD/AUX

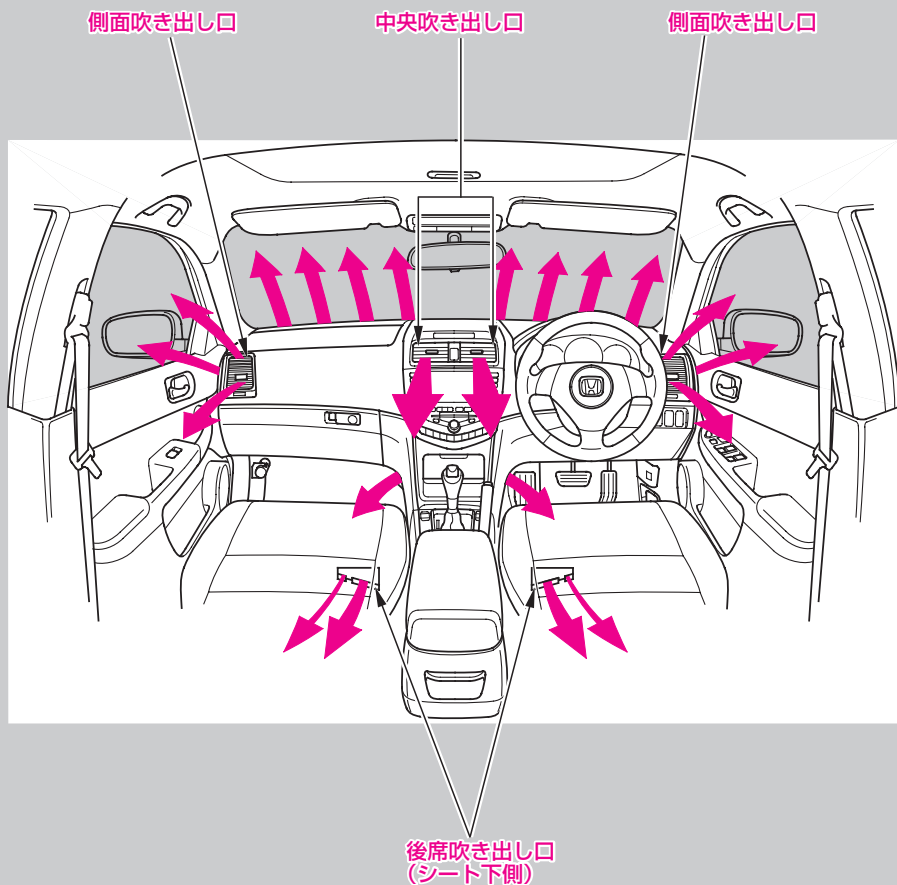
再び表示するときは、CD/AUXスイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。



知 識

- 表示を消しているときに、エンジンスイッチを“0”にしてから、“Ⅰ”または“Ⅱ”にすると、再び表示します。

エアコン

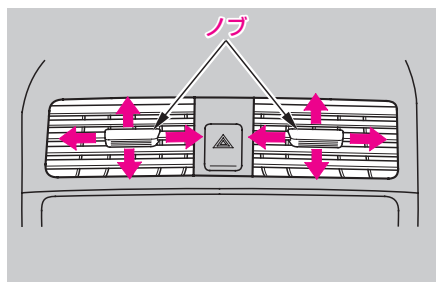




吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

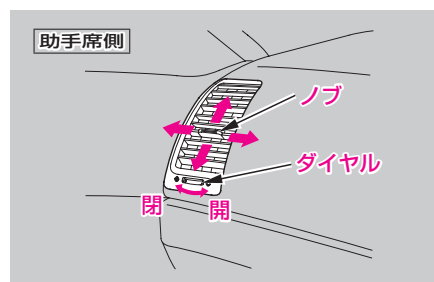
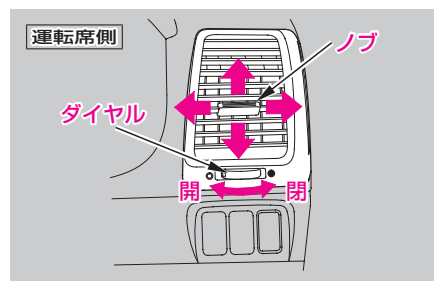
中央吹き出し口



側面吹き出し口

ダイヤルで開閉できます。

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。



◎……………吹き出し口が開きます。

○……………吹き出し口が閉じます。

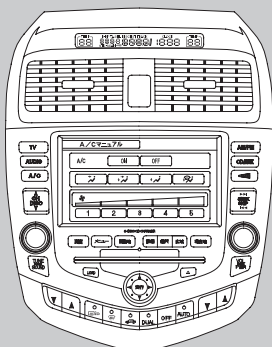
知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

エアコンインデックス

オートエアコン (Hondaインターナビシステム装備車)

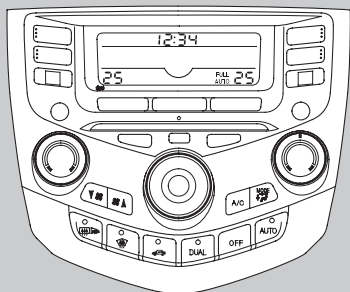
注文装備



- オートエアコンを使うとき ……………228
- マニュアルセレクトで使うとき ……………230
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) ……………232
- 設定温度を運転席側と助手席側で
別々に調節するとき ……………234
- 音声でエアコンを調節するとき ……………236
- エアコンを常用しないとき ……………238
- 温度感知装置 ……………238



オートエアコン
(Hondaインターナビシステム非装備車)



- オートエアコンを使うとき ……240
- マニュアルで使うとき ……242
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) ……244
- 設定温度を運転席側と助手席側で
別々に調節するとき ……246
- エアコンを常用しないとき ……248
- 温度感知装置 ……248

オートエアコン(Hondaインターナビシステム装備車)

注文装備

●オートエアコンを使うとき

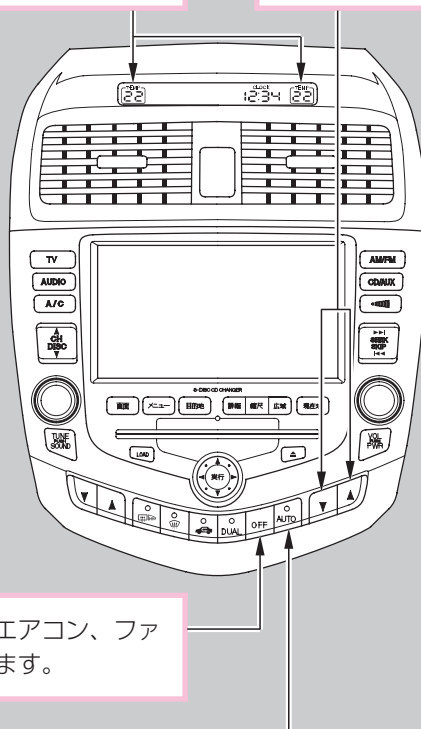
エンジンをかけた状態で使います。

温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。表示温度は室温設定時の目安となります。

温度調節スイッチ

スイッチを押して温度を調節します。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示灯点灯)
風量、吹き出し口や内外気の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。



通常の使いかた

①AUTOスイッチを押します。

②運転席側温度調節スイッチで室内の温度を設定します。

停止するときはOFFスイッチを押します。

知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節スイッチをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 助手席側温度調節スイッチを押すと独立調節モードになり、設定温度を運転席側と助手席側で別々に調節することができます。(DUALスイッチの表示灯が点灯します)

別々に調節するとき →234ページ

- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。
- 設定温度表示で“Lo”は最大冷房を“Hi”は最大暖房を示します。

●マニュアルセレクトで使うとき

A/Cスイッチを押して、ナビゲーション画面にマニュアルセレクト画面を表示させます。

エアコンスイッチ

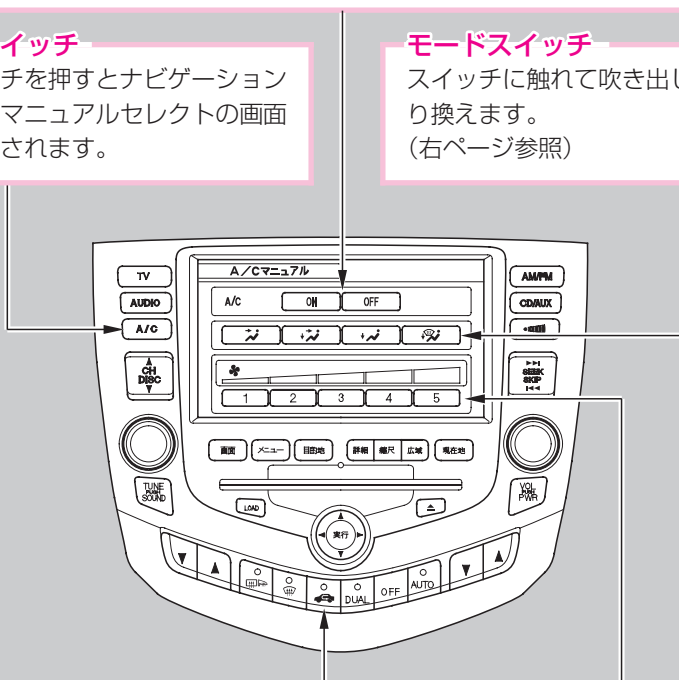
ONに触れるとエアコンが“ON”になり、
OFFに触れるとエアコンが“OFF”になります。
冷房や除湿運転をするときは、“ON”にします。

A/Cスイッチ

スイッチを押すとナビゲーション画面にマニュアルセレクトの画面が表示されます。

モードスイッチ

スイッチに触れて吹き出し口を切り換えます。
(右ページ参照)



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

ファンスピード切り換えスイッチ

スイッチに触れてファンスピードを切り換えます。

位置					
	1	2	3	4	5
風量	微	弱	中	強	最強



各スイッチを組み合わせる使することができます。

“AUTO”（自動）で使用中でも触れたスイッチの機能が優先されます。このとき“AUTO”の作動表示灯は消えますが、触れたスイッチの機能以外は自動制御されます。

“AUTO”（自動）に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

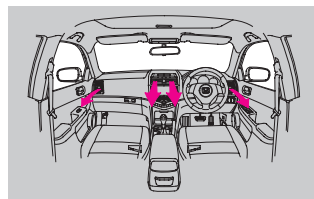


知識

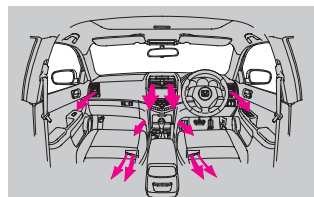
- 元の画面に戻すときは、A/Cスイッチをもう一度押します。

モードスイッチ

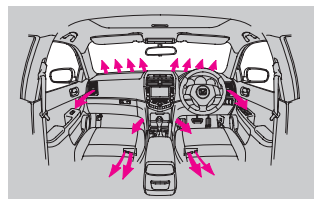
上半身に送風したいとき



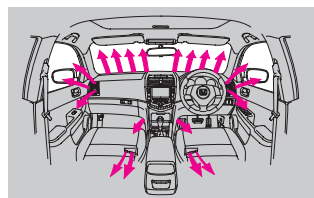
上半身、足元に送風したいとき



足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき

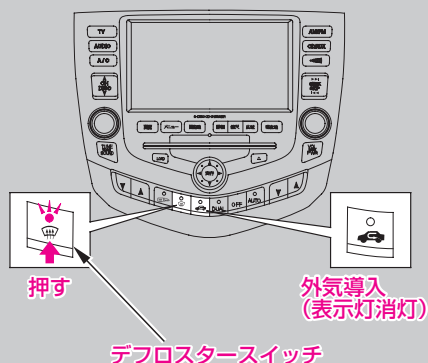
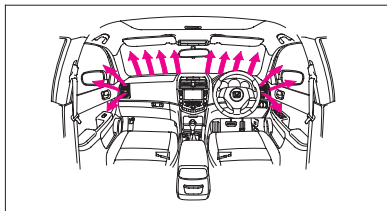


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。

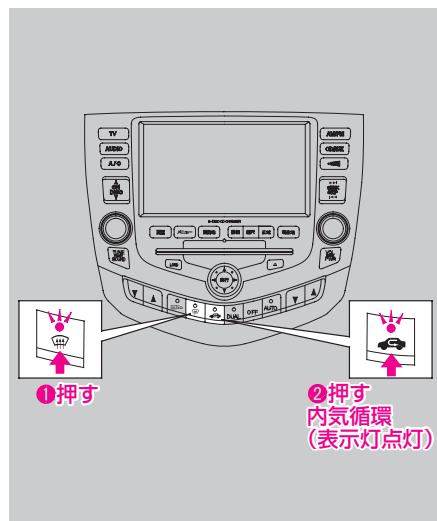


知 識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。
- デフロスター作動中は**DUAL**スイッチまたは助手席側温度調節スイッチを押しても独立作動モードにはなりません。



急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

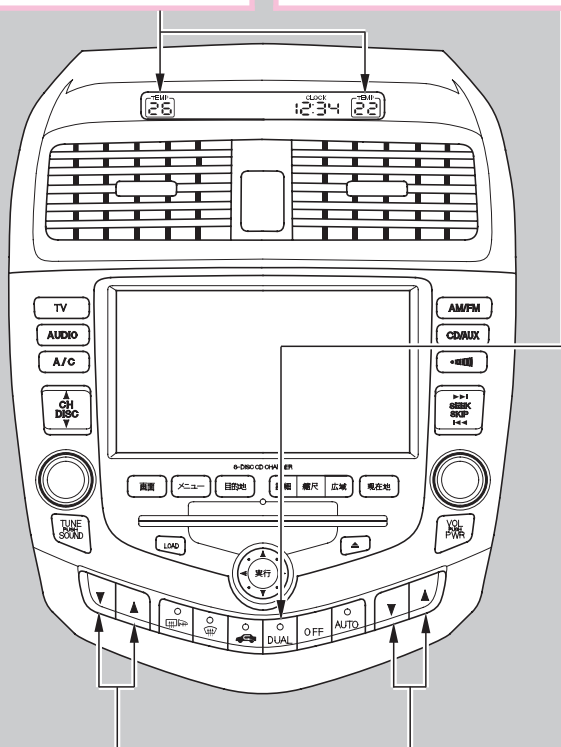
●設定温度を運転席側と助手席側で別々に調節するとき

設定温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。表示温度は室温設定時の目安となります。

DUALスイッチ

スイッチを押すと独立作動モードになります。(表示灯点灯)
運転席側と助手席側の設定温度を別々に調節できます。



温度調節スイッチ(助手席側)

スイッチを押して助手席側の温度を調節します。また、両側が連動で動作しているときにスイッチを押すと、独立作動モードに切り換わります。

温度調節スイッチ(運転席側)

独立作動モード時に、スイッチを押して運転席側の温度を調節します。



使いかた

- ① DUALスイッチまたは助手席側の温度調節スイッチを押して、独立作動モードに切り換えます。(DUALスイッチの表示灯点灯)
- ② 運転席側または助手席側の温度調節スイッチを押して温度を設定します。

連動モードに戻すときは、DUALスイッチをもう一度押します。(DUALスイッチの表示灯消灯)

知 識

- デフロスターを作動させると、連動モードに切り換わります。(DUALスイッチの表示灯が消灯します。)
- 助手席側の設定温度が運転席側と異なる状態で連動モードに戻すと、運転席側の設定温度に切り換わります。

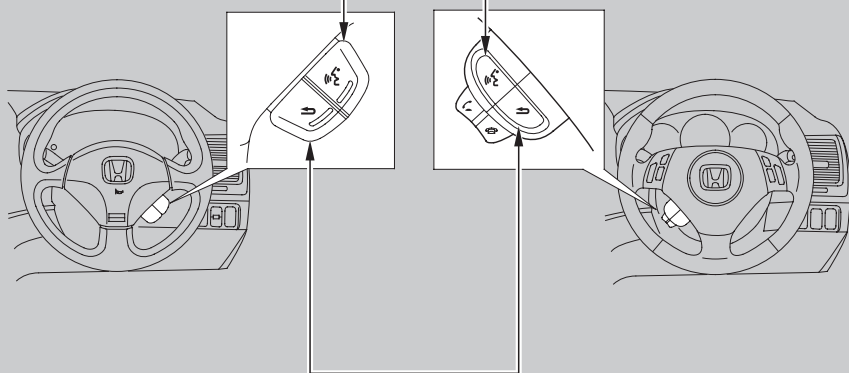
●音声でエアコンを調節するとき

発話スイッチ

スイッチを押すと、音声でエアコンを操作できます。

MOMO ステアリング装備車

MOMO ステアリング非装備車



取り消しスイッチ

操作を取り消したいときに押します。

使いかた

- ①発話スイッチを押します。
- ②“ピッ”と音が鳴ってから、目的の操作を言います。
例) エアコンを作動させるとき…「エアコンオン」と言います。

Honda インターナビシステムが音声を認識すると、「エアコンをオンします…」と言ってエアコンを作動します。

音声を認識できずに操作ができなかったときは、もう一度発話スイッチを押して操作します。

音声を誤認識して別の操作をしてしまったとき

取り消しスイッチを押してから、もう一度発話スイッチを押して、目的の操作を言い直します。



音声操作の一例

発した言葉	操作
えあこんおん(エアコンオン)	エアコンをオンします
えあこんおふ(エアコンオフ)	エアコンをオフします
あつい	設定温度を“1”下げます
さむい	設定温度を“1”上げます
ないき(内気)	“内気循環”にします
がいき(外気)	“外気導入”にします
でゅあるもーどおん (デュアルモードオン)	設定温度を左右独立にします
でゅあるもーどおふ (デュアルモードオフ)	左右の設定温度を同じにします
にじゅうごど	設定温度を“25”にします (操作を受け付ける温度は18°C～32°Cの間です。)

音声操作の詳細については、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書 音声操作編をご覧ください。

●エアコンを常用しないとき

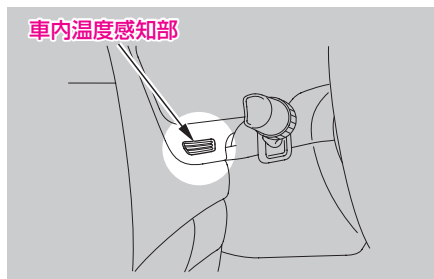
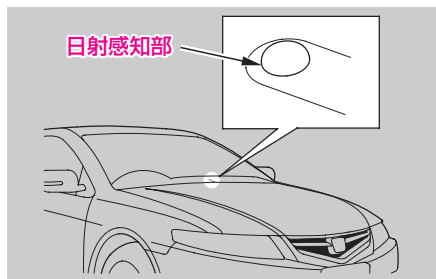
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



4. ドライブを快適にする装備

エアコン



オートエアコン(Hondaインターナビシステム非装備車)

●オートエアコンを使うとき

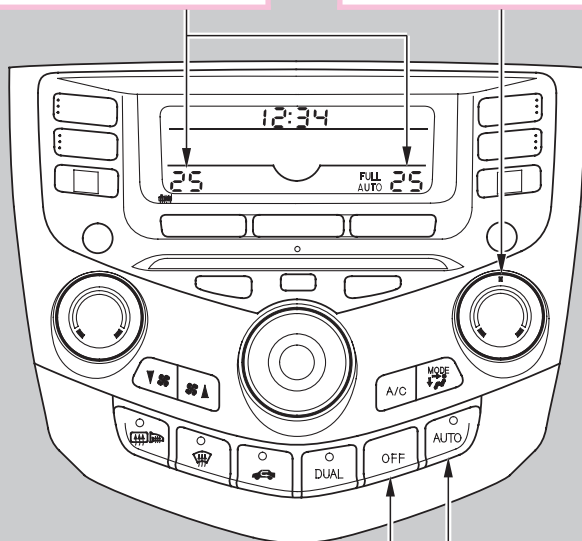
エンジンをかけた状態で使います。

温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。表示温度は室温設定時の目安となります。

温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を調節します。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示灯点灯)
風量、吹き出し口や内外気の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。



通常の使いかた

- ①AUTOスイッチを押します。
- ②運転席側温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

停止するときはOFFスイッチを押します。

知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 助手席側温度調節ダイヤルを回すと独立調節モードになり、設定温度を運転席側と助手席側で別々に調節することができます。(DUALスイッチの表示灯が点灯します)

別々に調節するとき →246ページ

- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。
- 設定温度表示で“L”は最大冷房を“H”は最大暖房を示します。

●マニュアルで使うとき

エアコンスイッチ

スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”が切り換わります。表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”が表示されます。冷房や除湿暖房をするときは“ON”にします。

MODEスイッチ

スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)、それぞれの表示灯が点灯します。

ファンスピード切り換えスイッチ

スイッチを押してファンスピードを切り換えます。

位置	
風量	弱 ← → 強

内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

各スイッチを組み合わせることができます。

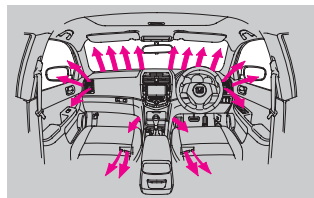
“FULL AUTO”(自動)で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“FULL”の表示は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

“FULL AUTO”(自動)に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

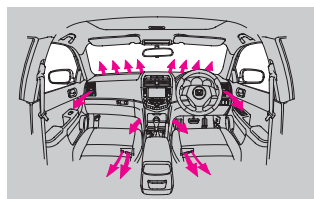


モードスイッチ

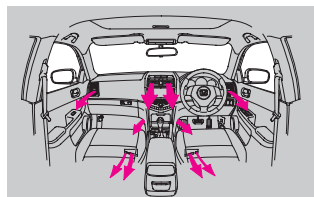
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



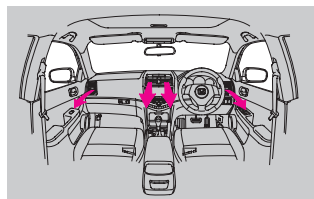
足元に送風したいとき



上半身、足元に送風したいとき



上半身に送風したいとき

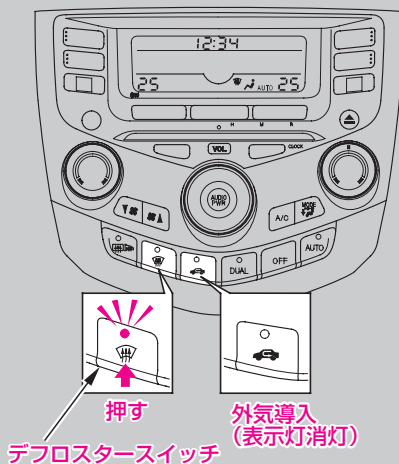
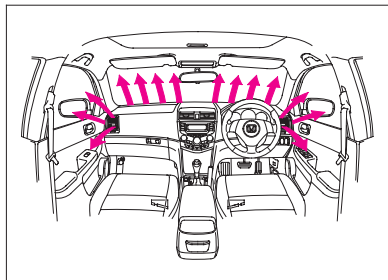


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。
- デフロスター作動中は**DUAL**スイッチまたは助手席側温度調節ダイヤルを押しても独立作動モードにはなりません。



急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

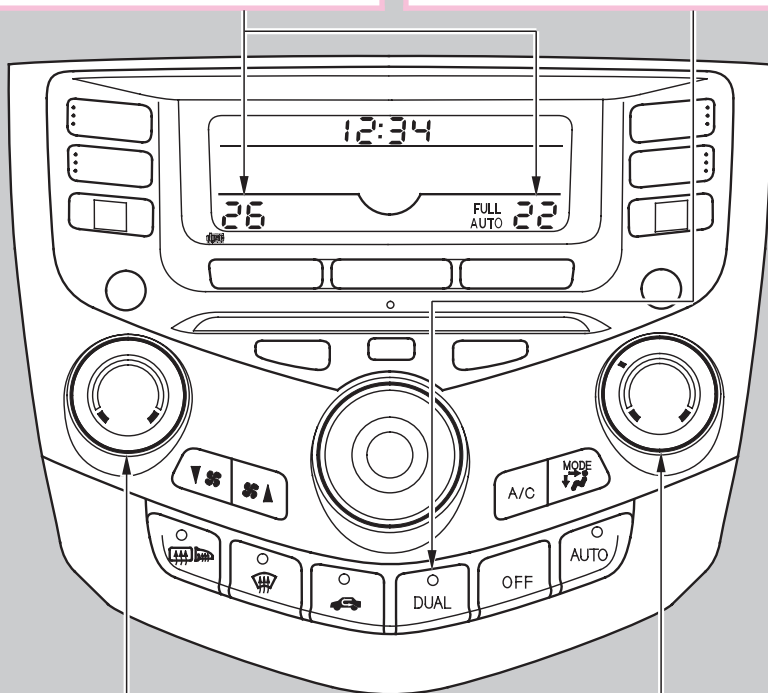
●設定温度を運転席側と助手席側で別々に調節するとき

設定温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。表示温度は室温設定時の目安となります。

DUALスイッチ

スイッチを押すと独立作動モードになります。(表示灯点灯)
運転席側と助手席側の設定温度を別々に調節できます。



温度調節ダイヤル(助手席側)

ダイヤルを回して助手席側の温度を調節します。また、両側が連動で動作しているときにダイヤルを回すと、独立作動モードに切り換わります。

温度調節ダイヤル(運転席側)

独立作動モード時に、ダイヤルを回して運転席側の温度を調節します。



使いかた

- ① DUALスイッチまたは助手席側温度調節ダイヤルを回して、独立作動モードに切り換えます。(DUALスイッチの表示灯点灯)
- ② 運転席側または助手席側の温度調節ダイヤルを回して温度を設定します。

連動モードに戻すときは、DUALスイッチを押します。(表示灯消灯)

知 識

- デフロスターを作動させると、連動モードに切り換わります。(DUALスイッチの表示灯が消灯します。)
- 助手席側の設定温度が運転席側と異なる状態で連動モードに戻すと、運転席側の設定温度に切り換わります。

●エアコンを常用しないとき

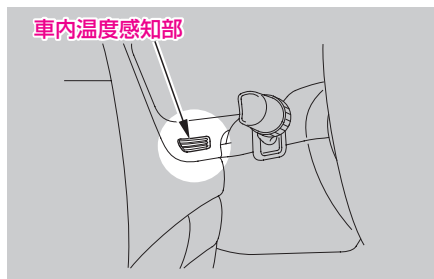
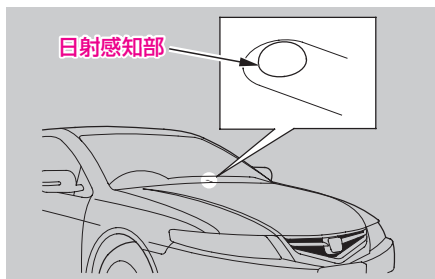
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入ると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。





エアクリンフィルター

エアコンには、空気中の花粉・ちり・ほこり・粉じん等を集じんし、ディーゼル排ガス臭・タバコ臭などに脱臭効果のあるエアクリンフィルターが取り付けられています。エアクリンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに行ってください。ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

また、芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなったり、脱臭寿命が短くなることがあります。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

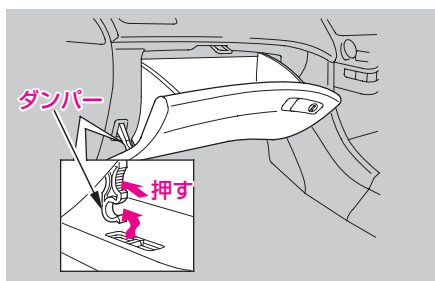
交換のしかた →250ページ

知 識

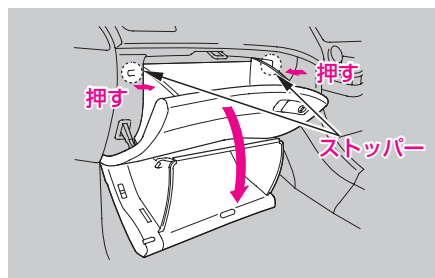
- グローブボックスの内側に交換時期が記載してあります。

●交換のしかた

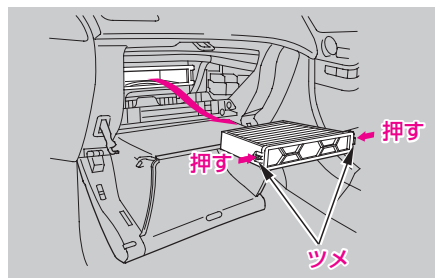
- ①前席助手席側ドアを開けます。
- ②グローブボックスを開けます。
- ③グローブボックスからダンパーを外します。



- ④グローブボックスの両側についているストッパーを内側に押し込んでグローブボックスを下ろします。

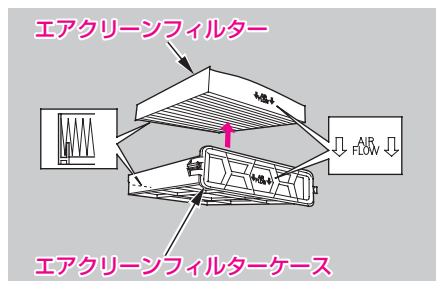


- ⑤左右にあるツメを押しながら、エアクリンフィルターケースを引き出します。





- ⑥ ケースからエアクリーンフィルターを取り出して新品と交換します。交換するときはケースとフィルターの“AIR FLOW”マークの矢印が同じ方向(下向き)になるように確実に取り付けてください。



知識

- エアクリーンフィルターを交換するときは、取り付け方向に注意してください。フィルターの取り付け方向を間違えると、フィルターの効果を十分に発揮しません。

シートヒーター

タイプ別装備

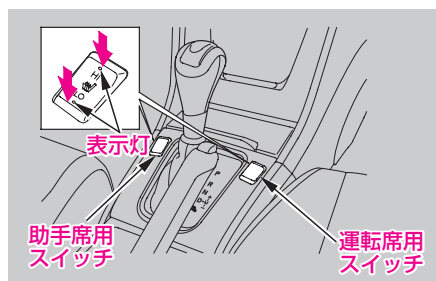
運転席、助手席のシートを暖めることができます。

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。



スイッチを“HI”側か“LO”側に押します。シートを早く暖めたいときは“HI”側を押します。暖まったら“LO”側にしてください。作動中、押している側の表示灯が点灯します。スイッチを切るときは、反対側を軽く押し、表示灯を消します。

スイッチの状態	シートヒーターの状態
HI LO 	HI
HI LO 	OFF
HI LO 	LO



⚠ 注意

● 次のようなかたは、熱すぎたり低温やけどをすることがありますので、ご使用になるときは十分注意してください。

- ・ 乳幼児、お子さま、お年寄、病氣のかた、体の不自由なかた。
- ・ 皮ふの弱いのかた。
- ・ 疲労の激しいのかた。
- ・ 深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を使用されたかた。

また、毛布や座ぶとんなどの保温性の高いものをかけて使用すると、低温やけどをすることがあります。



知 識

- この装置は消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- 凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針や釘など鋭利な物を突きさしたりしないでください。
- シートの手入れには、シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターおよびシート表面を損傷するおそれがあります。
- サイドエアバッグシステム装備車**
助手席の背もたれには、サイドエアバッグシステムの乗員姿勢検知システムのセンサーが装備されているため、ヒーター機能はありません。

オーディオ

上手な使いかた

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●CD/MDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

CD

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。



知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

MD

シャッターを無理にあげないでください。こわれることがあります。

また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

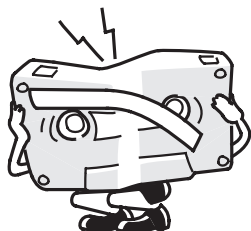




●カセットについて

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。

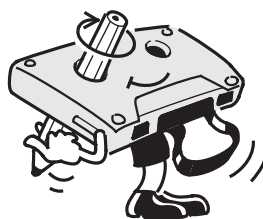


- 120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。



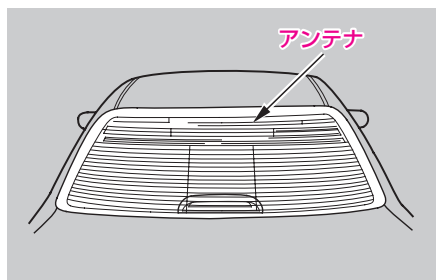
カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

アンテナ

リヤガラス内側にアンテナ線があります。



知識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

4. ドライブを快適にする装備

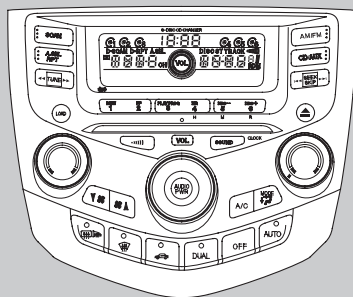
オーディオ



オーディオインデックス

AM/FMラジオ一体式CDチェンジャー ステレオ

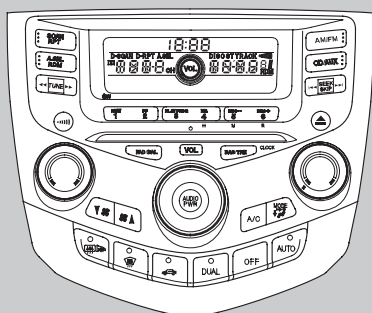
タイプ別注文装備



- 電源の入れかた 260
- 音量調節のしかた 260
- 音質、バランス調節のしかた 261
- オーディオモードの切り換え 261
- 照明(バックライト)の消しかた 261
- ラジオの使いかた 262
- CDの挿入のしかた 266
- CDの取り出しかた 270
- CDチェンジャーの使いかた 274
- CD/MD/カセットプレーヤー
の使いかた※ 276
- エラーコードについて 282
- 時計 283



AM/FMラジオ一体式CDステレオ



- 電源の入れかた 284
- 音量調節のしかた 284
- 音質、バランス調節のしかた 285
- オーディオモードの切り換え 286
- 照明(バックライト)の消しかた 287
- ラジオの使いかた 288
- CDプレーヤーの使いかた 292
- CDチェンジャーコントローラー等の
 使いかた※ 296
- エラーコードについて 302
- 時計 303

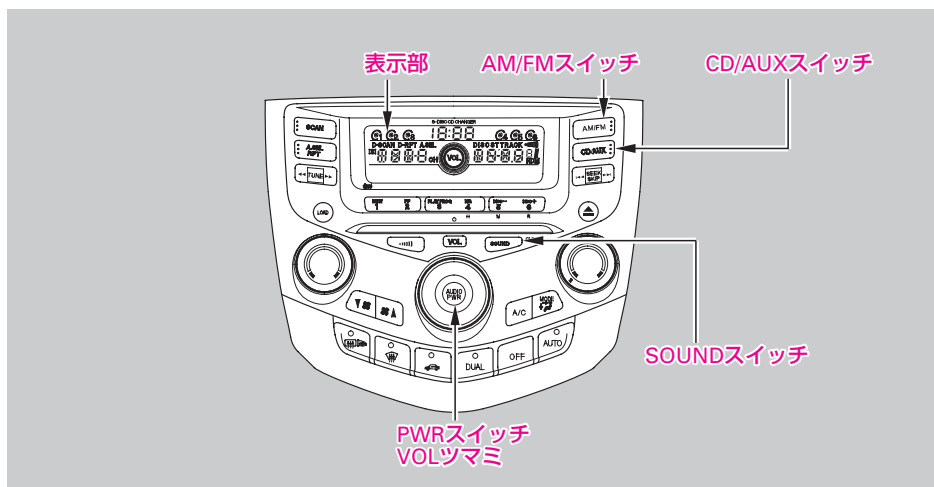
Honda インターナビシステム装備車のオーディオ・テレビの取り扱いについては、別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

※：Honda 純正のオーディオを接続し、操作することができます。詳しくはHonda 販売店にご相談ください。

AM/FMラジオ一体式CDチェンジャーステレオ

タイプ別注文装備

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



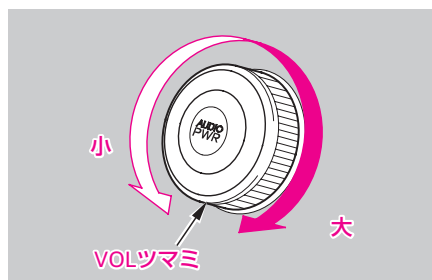
●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇔“OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、CD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

知 識

- このオーディオ装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。このアンプは消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

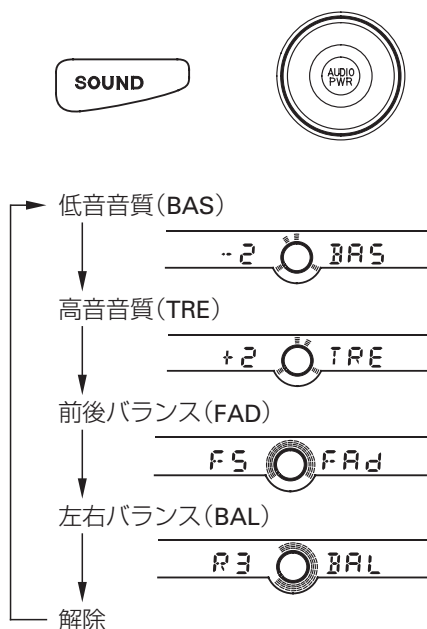
●音量調節のしかた





●音質、バランス調節のしかた

SOUNDスイッチを押して切り換え、VOLツマミで調節します。



SOUNDスイッチを押すたびに切り換わります。

🎓 知識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。

●オーディオモードの切り換え

・AM/FMスイッチ



ラジオに切り換わります。

・CD/AUXスイッチ



本体CDチェンジャーにディスクが入っているときに押すと、CD演奏に切り換わります。

Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

●照明(バックライト)の消しかた

CD/AUXスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押すと表示部の照明が消えます。



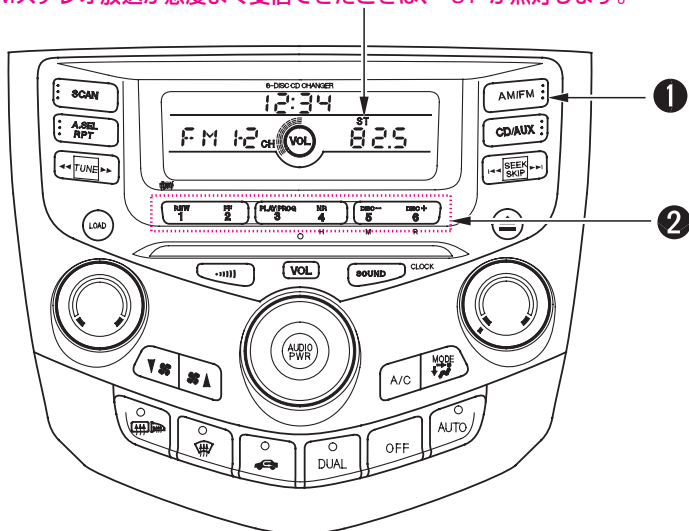
再び照明をつけるときは、CD/AUXスイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

🎓 知識

- 照明を消しているときに、エンジンスイッチを“0”にしてから、“I”または“II”にすると、再び照明がつきます。

●ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、FM1/FM2、AMを選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM 6局まで記憶できます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

①AM/FMスイッチでFM1/FM2、AMを選びます。

②TUNEスイッチ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。



- TUNEスイッチを1回ずつ押すと、周波数が少しずつ変わります。

押し続けると、押している間周波数が変わります。



- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知 識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知 識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELスイッチを押します。 (“A.SEL” が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6 局、FM12局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知識

- 放送局が 6 局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを押します。 (“SCAN” が点滅)



電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約 5 秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



交通情報をきくとき

…||| スイッチを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。（“…|||” が点灯）
周波数を切り換えるとき（1620kHz↔1629kHz）



…TUNEスイッチまたはSEEK/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

…||| スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



知 識

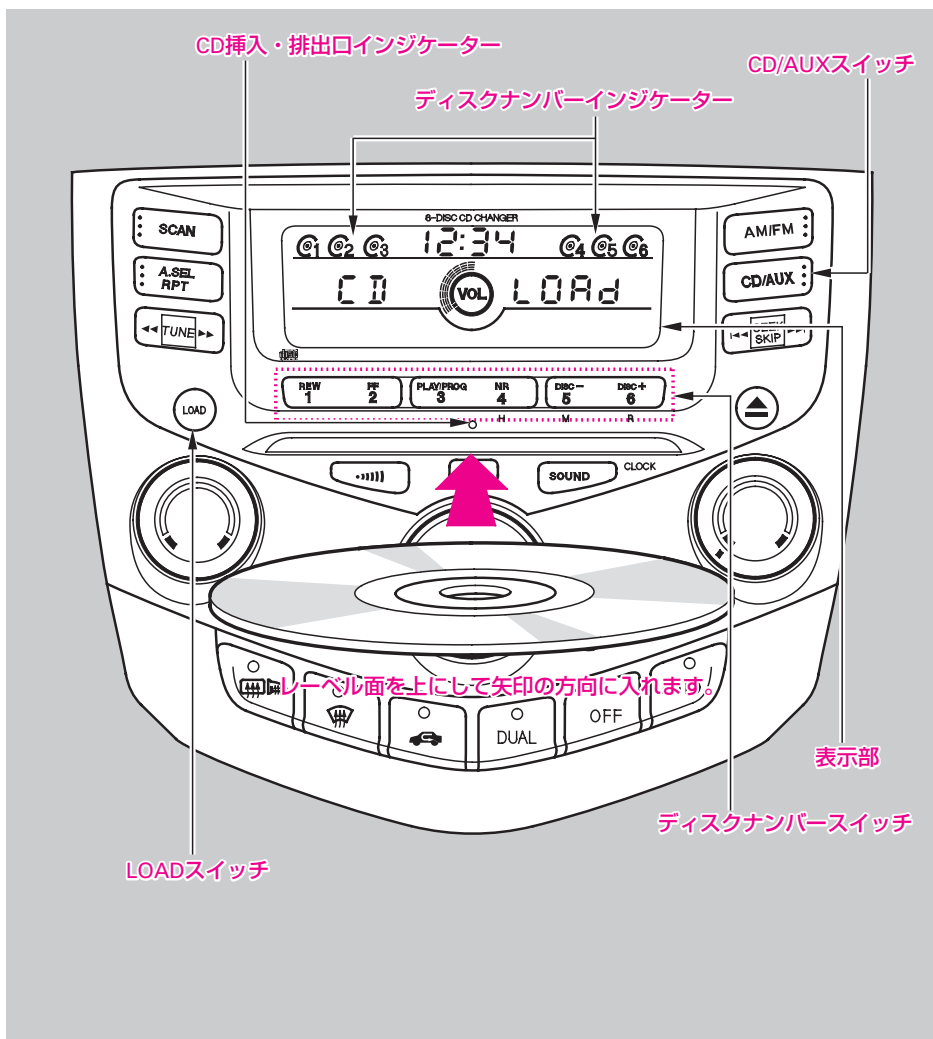
- …||| スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。
- …||| スイッチを使って交通情報を聞いているときは、ワンタッチ選局スイッチによる選局はできません。

●CDの挿入のしかた

エンジンスイッチが“I”または“II”のときに挿入できます。

CDを6枚まで収納することができます。

CDを収納すると、表示部のディスクナンバーインジケーター(①～⑥)が点灯します。





1 枚だけ挿入するとき

収納するディスクナンバーを指定しないとき

- ①LOADスイッチを短く押します。
- ②CDチェンジャーの収納部の中で最も小さい番号のディスクナンバーインジケーターが点滅します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケーターが赤の点滅）
- ③CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケーターが緑の点灯に変わります。
- ④CDを挿入します。

収納するディスクナンバーを指定するとき

- ①CD/AUXスイッチを押して、CDチェンジャーモードにします。
- ②収納したい空きディスクナンバースイッチを押します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケーターが赤の点滅）
- ③CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケーターが緑の点灯に変わります。
- ④CDを挿入します。

CDチェンジャーの使いかた →274ページ

知識

- CDチェンジャーは12cm CD専用です。8 cm CDは使わないでください。（CDアダプターを付けても使わないでください。）故障の原因になることがあります。
- ディスクナンバーを指定しないときは、モードに関係なくCDを挿入できます。
- CD挿入待機状態でないときに、無理にCDを挿入しないでください。
- CD挿入待機状態になってから約15秒以内にCDを挿入しないと、CD挿入待機状態は解除されます。
- CDを挿入すると再生されます。





数枚連続して挿入するとき

- ①LOADスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。
- ②CDチェンジャーの収納部の中で最も小さい番号のディスクナンバーインジケータが点滅します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケータが赤の点滅）
- ③CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケータが緑の点灯に変わります。
- ④CDを挿入します。
収納されたディスクナンバーインジケータが点灯に変わり、次に小さい番号のディスクナンバーインジケータが点滅します。（“BUSY”の表示およびCD挿入・排出口インジケータが赤の点滅）
- ⑤CD挿入待機状態になると、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケータが緑の点灯に変わります。
- ⑥手順④⑤を繰り返します。
- ⑦6枚ディスクを収納すると、すべてのディスクナンバーインジケータが点灯し、CD挿入待機状態は解除されます。

CDチェンジャーの使いかた →274ページ

知 識

- CDチェンジャーは12cm CD専用です。8 cm CDは使わないでください。（CDアダプターを付けても使わないでください。）故障の原因になることがあります。
- CD挿入待機状態になってから約15秒以内にCDを挿入しないと、CD挿入待機状態は解除されます。
- CDを6枚収納するかCD挿入待機状態が解除されると、最後に挿入されたCDが再生されます。

●CDの取り出ししかた

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに取り出せます。

エンジンスイッチが“0”のときにも取り出せます。

エマージェンシーイジェクト →273ページ





1枚ずつ取り出すとき

取り出すディスクナンバーを指定しないとき

- ① ▲スイッチを短く押します。 (“EJEC” の表示)

最後に再生されたCDのディスクナンバーインジケーターが点滅し、CDが排出されます。

- ② CDを取り出します。

- ③ 続けて ▲ スwitchを押すと、取り出したCDの次に大きい番号のディスクナンバーインジケーターが点滅し、CDが排出されます。

知識

- モードに関係なくCDを取り出せます。
- 取り出したCDのディスクナンバーはCD挿入待機状態になり、別のCDを挿入することができます。

CDの挿入のしかた →266ページ

- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

取り出すディスクナンバーを指定するとき

- ① CD/AUXスイッチを押して、CDチェンジャーモードにします。

- ② 取り出したいCDのディスクナンバースイッチを押します。

- ③ ▲スイッチを短く押します。 (“EJEC” の表示)

選択されたCDのディスクナンバーインジケーターが点滅し、CDが排出されます。

- ④ CDを取り出します。

知識

- 再生中のCDを取り出すときは③以降の手順だけで取り出せます。
- 取り出したCDのディスクナンバーはCD挿入待機状態になり、別のCDを挿入することができます。

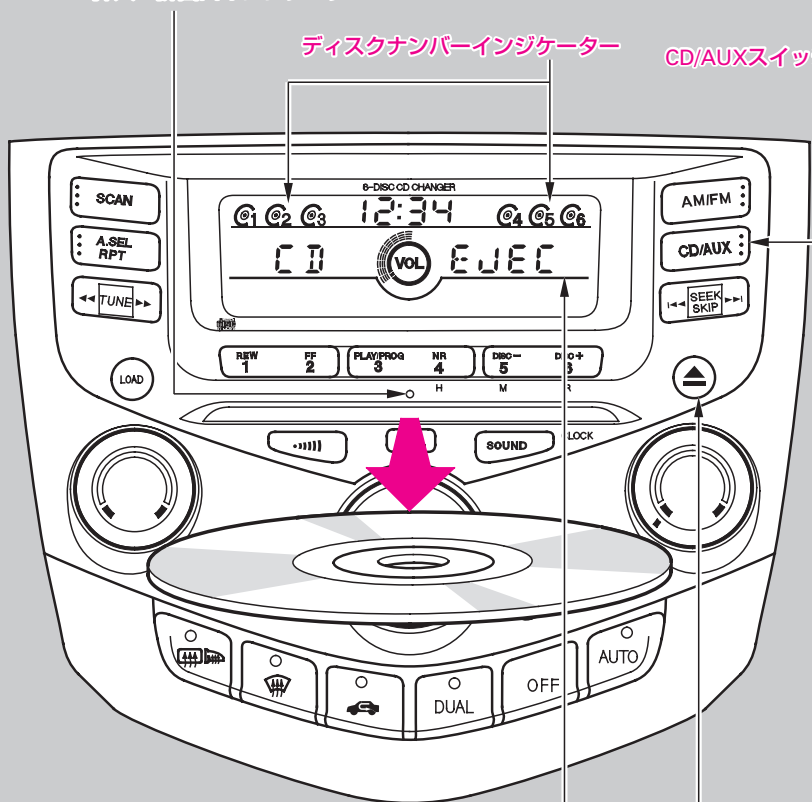
CDの挿入のしかた →266ページ

- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。

CD挿入・排出口インジケータ

ディスクナンバーインジケータ

CD/AUXスイッチ



▲ スイッチ

表示部



すべて取り出すとき

- ① ▲スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。（“EJEC”の表示）
収納されているCDの中で、最後に再生されたCDから順にCDが排出されます。
- ② CDを取り出します。
- ③ CDを取り出すと、自動的に次のCDが排出されますので、同様に取り出します。
- ④ 手順③を繰り返します。
- ⑤ すべてのCDを取り出すと、ディスクナンバー 1 へのCD挿入待機状態になり、表示部が“LOAD”の表示とCD挿入・排出口インジケーターが緑の点灯に変わります。

CDの挿入のしかた →266ページ

エマージェンシーイジェクト

エンジンスイッチが“0”のときにも取り出せますが、表示部にディスクナンバーが表示されないため、希望の1枚だけを取り出すことはできません。

1枚ずつ取り出すとき

- ① ▲スイッチを短く押します。
最後に再生されたCDが排出されます。
- ② CDを取り出します。
- ③ 続けて ▲スイッチを押すと、取り出したCDの次に大きい番号のCDが排出されます。
- ④ 手順③を繰り返します。

すべて取り出すとき

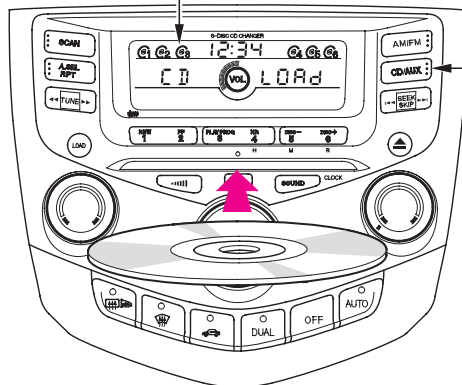
- ① ▲スイッチを約2秒押します。
- ② 収納されているCDの中で、最後に再生されたCDから順にCDが排出されます。
- ③ CDを取り出します。
- ④ CDを取り出すと、自動的に次のCDが排出されますので、同様に取り出します。
- ⑤ 手順④を繰り返します。

●CDチェンジャーの使いかた

ディスク演奏のききかた

ディスクナンバーインジケータ
(CDが収納されているディスクナンバーが点灯)

CD/AUXスイッチ



ディスクを差し込む
CDの挿入のしかた →266 ページ

または

CD/AUXスイッチを押す
(ディスクが挿入されているとき)

知識

- CD-Rは再生できない場合があります。CD-RWは使用できません。

ディスクを選ぶとき

ディスクナンバースイッチを押します。



早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

◀◀／▶▶スイッチまたは ◀◀／▶▶スイッチを押します。

早戻し
リプレイ



早送り
スキップ

早戻し



早送り

- ・◀◀／▶▶スイッチまたは ◀◀／▶▶スイッチを押し続けると、早送り／早戻しになります。
- ・◀◀／▶▶スイッチを短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。



ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、ディスクスキャン)

SCANスイッチを押します。



- 短く押すとトラックスキャンになります。(“SCAN”が点灯)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- “ピッ”という電子音ができるまで押すとディスクスキャンになります。(“D-SCAN”が点灯)
ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

知識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(トラックリピート、ディスクリピート)

RPTスイッチを押します。



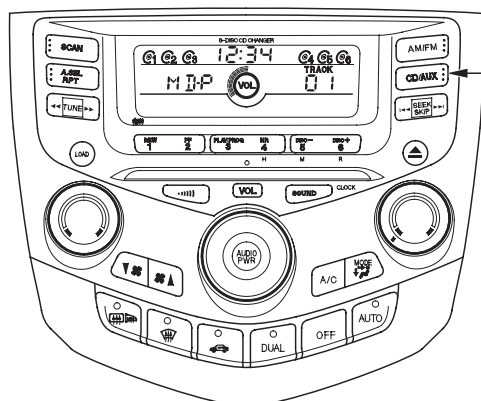
- 短く押すとトラックリピートになります。(“RPT”が点灯)
演奏中のディスクの各トラックをリピート演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。
- “ピッ”という電子音がするまで押すとディスクリピートになります。(“D-RPT”が点灯)
ディスクチェンジャー内の全てのディスクをリピート演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

●CD/MD/カセットプレーヤーの使いかた

Honda純正のCD/MD/カセットプレーヤー接続時

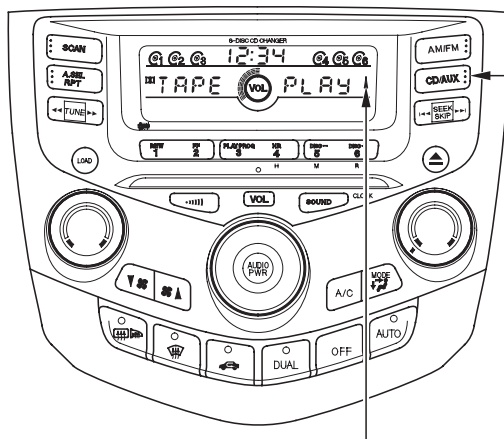
演奏のききかた

CD/MDプレーヤー接続時



CD/AUXスイッチ

カセットプレーヤー接続時



CD/AUXスイッチ

テープ演奏中は“▲”または“▼”のテープ走行表示灯が点灯



切り換える(CD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。
スイッチを押すたびに接続されている
CD/MD/カセットプレーヤーなどに切
り換わります。



CD/MDプレーヤー接続時

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

▶▶|/|◀◀スイッチまたは◀◀/▶▶スイッチを押します。

早送り
スキップ



早戻し
リプレイ

- ▶▶|/|◀◀スイッチまたは◀◀/▶▶スイッチを押し続けると、早送り／早戻しになります。

早送り



早戻し

- ▶▶|/|◀◀スイッチを短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)



- SCANスイッチを押すとスキャンになります。

(“SCAN”が点灯)

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。



知識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)



- RPTスイッチを押すとリピートになります。
(“RPT” が点灯)

演奏中のディスクの各トラックをリピート演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

カセットプレーヤー接続時

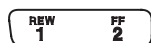
走行方向を切り換えるとき

PLAY/PROGスイッチを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わりま
す。

早送り／巻戻し、頭出しをするとき



巻戻し 早送り

- FF/REWスイッチを押すと、早送り／巻戻しになり、“FF/REW”が点灯します。
- I◀◀／▶▶Iスイッチを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF/REW”が点滅します。

頭出し
(演奏中
の曲)



頭出し
(次の曲)

早送り／巻戻しを止めるときは、スイッチをもう一度
押します。

知 識

- 曲間の無音部分が 4 秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

RPTスイッチを押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するとき、スイッチをもう一度押します。



ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

NRスイッチで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。

(ドルビーNR再生中は“ ”が点灯)

NR
4

※：ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。点検してください。



エラーコード	原因
ERR	ディスクやディスクマガジンの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
HOT	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
DISC	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れなど)



●時計

時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。

表示の合わせかた

- ①SOUND(CLOCK)スイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)



- ②「時」の調整… 4 (H)スイッチを押します。
「分」の調整… 5 (M)スイッチを押します。



- ③SOUND(CLOCK)スイッチをもう一度押します。(時計表示が点灯)

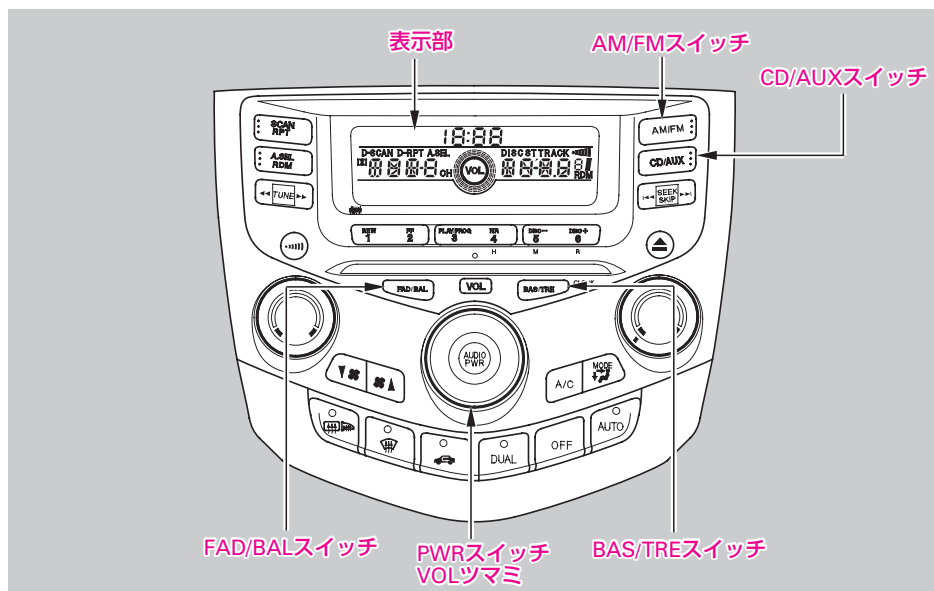
時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に6 (R)スイッチを押します。



(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00

AM/FMラジオ一体式CDステレオ

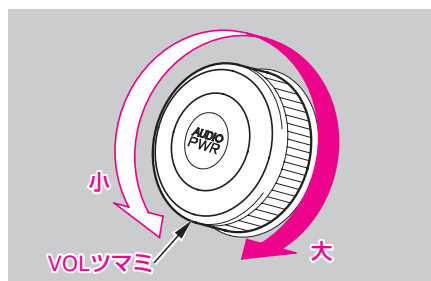
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇔“OFF”になります。また、AM/FMスイッチ、CD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた





●音質、バランス調節のしかた

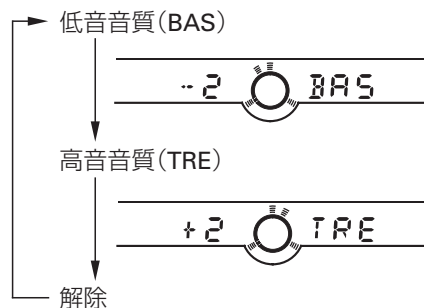
知 識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。

音質調節

BAS/TREスイッチを短く押して切り換え、VOLツマミで調節します。

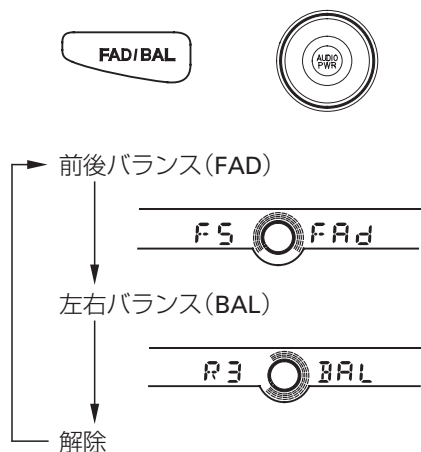
BAS/TRE



BAS/TREスイッチを押すたびに切り換わります。

バランス調節

FAD/BALスイッチを押して切り換え、VOLツマミで調節します。



FAD/BALスイッチを押すたびに切り換わります。

●オーディオモードの切り換え

各モードスイッチで切り換えます。

・AM/FMスイッチ



ラジオに切り換わります。

・CD/AUXスイッチ



ディスクが入っているときに押すと、CD演奏に切り換わります。

Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。



●照明(バックライト)の消しかた

CD/AUXスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押すと表示部の照明が消えます。

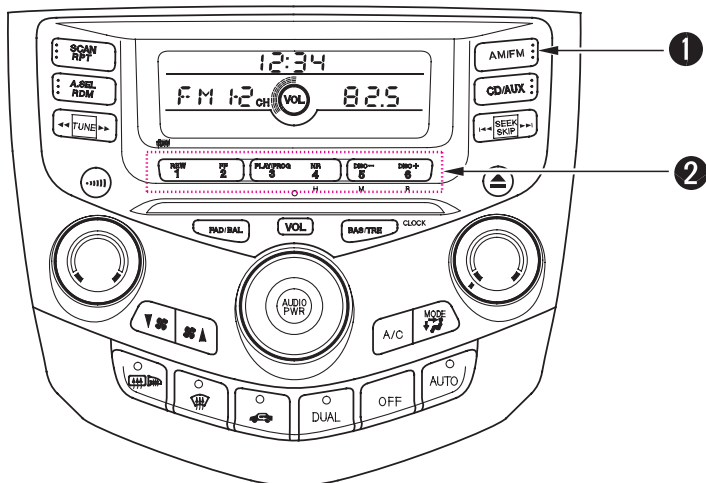
CD/AUX

再び照明をつけるときは、CD/AUXスイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

知 識

- 照明を消しているときに、エンジンスイッチを“0”にしてから、“I”または“II”にすると、再び照明がつきます。

●ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMスイッチ)

スイッチを押して、FM1/FM2、AMを選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。
FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM6局まで記憶できます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

①AM/FMスイッチでFM1/FM2/AMを選びます。

②TUNEスイッチ、SEEK/SKIPスイッチで選局します。

低  高

- TUNEスイッチを1回ずつ押すと、周波数が少しずつ変わります。

押し続けると、押している間周波数が変わります。

低  高

- SEEK/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを押します。(“SCAN”が点滅)



電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELスイッチを押します。(“A.SEL”が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 6局、FM12局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知識

- 放送局が6局または12局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



交通情報をきくとき

●●●●| スイッチを短く押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。（“●●●●|”が点灯）



周波数を切り換えるとき（1620kHz↔1629kHz）

…TUNEスイッチまたはSEEK/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

●●●●| スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



知 識

- | スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

●CDプレーヤーの使いかた ディスク演奏のききかた

DISCインジケーター
(本機にディスクがセットされていると点灯)

CD/AUXスイッチ



ディスクを差し込む

または

CD/AUXスイッチを押す
(ディスクが差し込まれているとき)

🎓 知識

- 8 cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。
- CD-Rは再生できない場合があります。CD-RWは使用できません。



ディスクを取り出すとき

▲ スイッチを押して、ディスクを取り出します。



ディスク演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、▲ スイッチを押せばディスクを取り出すことができます。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

▶▶|/|◀◀スイッチまたは▶▶/◀◀スイッチを押します。

早戻し
リプレイ



早送り
スキップ

早戻し



早送り

- ▶▶|/|◀◀スイッチまたは▶▶/◀◀スイッチを押し続けると、早送り／早戻しになります。
- ▶▶|/|◀◀スイッチを短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。

(“SCAN”が点灯し、トラックナンバーが点滅します)

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。



知 識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

**演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)**

RPTスイッチを短く押します。("RPT" が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度短く押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。("RDM" が点灯)



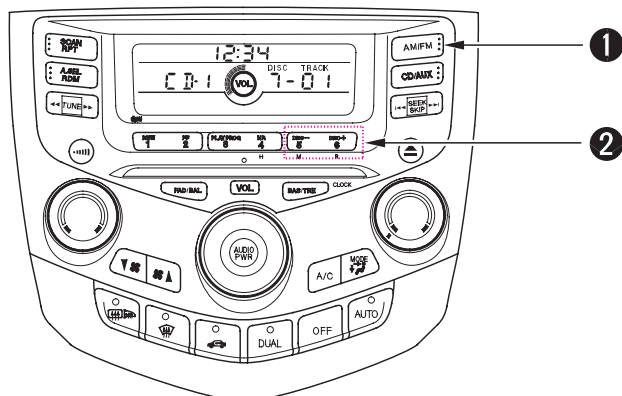
ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

●CDチェンジャーコントローラー、CD/MD/カセットプレーヤーの使いかた

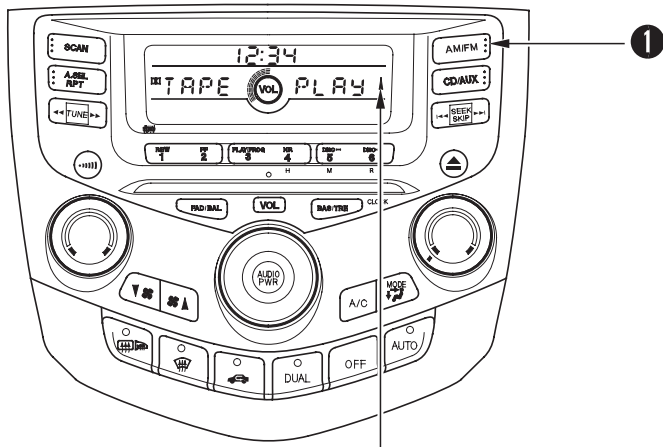
Honda純正のCDチェンジャー、CD/MD/カセットプレーヤー接続時

演奏のききかた

CDチェンジャー、CD/MDプレーヤー接続時



カセットプレーヤー接続時

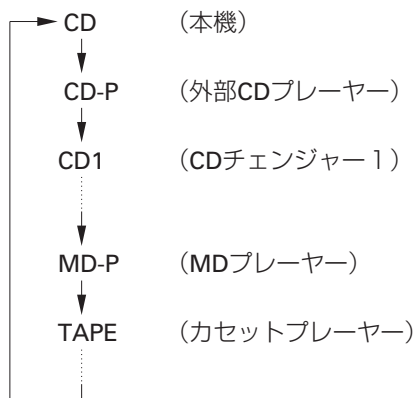


テープ演奏中は“▲”または“▼”のテープ走行表示灯が点灯



①切り換える(CD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。
スイッチを押すたびに接続されている
チェンジャー、CD/MD/カセット
プレーヤーなどに切り換わります。



②ディスクを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

CDチェンジャー接続時

DISC-、DISC+スイッチを押すごとに切り換わります。
ディスクスイッチに続けてSEEK/SKIPスイッチを短く押すと、トラックナン
バーの指定もできます。

CDチェンジャー、CD/MDプレーヤー接続時

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

▶▶|/|◀◀スイッチまたは▶▶/◀◀スイッチを押します。

早送り
スキップ



早戻し
リプレイ

・▶▶|/|◀◀スイッチまたは▶▶/◀◀スイッチを押し続けると、早送り／早戻しになります。

早送り



早戻し

・▶▶|/|◀◀スイッチを短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

スキャン演奏のしかた

SCANスイッチを“ピッ”という電子音がするまで押します。

(“SCAN” が点灯し、トラックナンバーが点滅)

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



機能を解除するには、スイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押します。

リピート演奏のしかた

RPTスイッチを短く押します。

(“RPT” が点滅)



演奏中のディスクの各トラックをリピート演奏します。

機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。



ランダム演奏のしかた

RDMスイッチを押します。("RDM" が点灯)



機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

カセットプレーヤー接続時

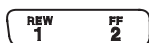
走行方向を切り換えるとき

PLAY/PROGスイッチを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わります。

早送り／巻戻し、頭出しをするとき



巻戻し 早送り

- FF/REWスイッチを押すと、早送り／巻戻しになり、“FF/REW”が点灯します。
- I◀◀／▶▶Iスイッチを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF/REW”が点滅します。

頭出し
(演奏中の曲)



頭出し
(次の曲)

早送り／巻戻しを止めるときは、スイッチをもう一度押します。

知 識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

RPTスイッチを押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するときには、スイッチをもう一度押します。



ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

NRスイッチで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。

(ドルビーNR再生中は“ ”が点灯)

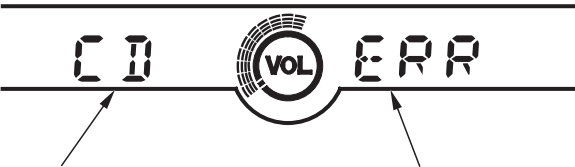
NR
4

※：ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

- CD (本機CDプレーヤー)
- CD-P (外部CDプレーヤー)
- CD-1 (CDチェンジャー 1)
- MD (MDプレーヤー)
- TAPE (カセットプレーヤー)
- ⋮

エラーコード	原因
ERR	ディスクマガジンやディスクの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
HOT	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
DISC	ディスクが汚れている、または裏返しになっている
No	外部CDチェンジャー ディスクマガジンにディスクが入っていない



●時計

時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。

表示の合わせかた

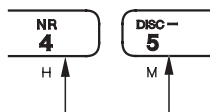
- ①BAS/TRE(CLOCK)スイッチを押し続けます。(時計表示が点滅)



BAS/TRE(CLOCK)スイッチ

- ②「時」の調整… 4 (H)スイッチを押します。

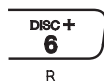
「分」の調整… 5 (M)スイッチを押します。



4 (H)スイッチ 5 (M)スイッチ

- ③BAS/TRE(CLOCK)スイッチをもう一度押します。

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に 6 (R)スイッチを押します。



(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00

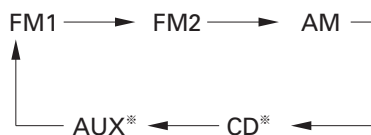
オーディオリモートコントロールスイッチ

タイプ別装備

音量調節スイッチ

△を押す…音量が大きくなります。
▽を押す…音量が小さくなります。

MODEスイッチ



スイッチを押すたびに切り換わります。

※：CDが入っているときや、プレーヤーなどを接続しているときに切り換わります。

CH(チャンネル)スイッチ

ラジオを聞いているとき

＋を押す…プリセットされている次の放送局を選局します。

－を押す…プリセットされている前の放送局を選局します。

CDを聞いているとき

＋を押す…スキップ(先の曲の頭出し)します。

－を押す…リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)します。

4. ドライブを快適にする装備

オーディオ



室内装備品

室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

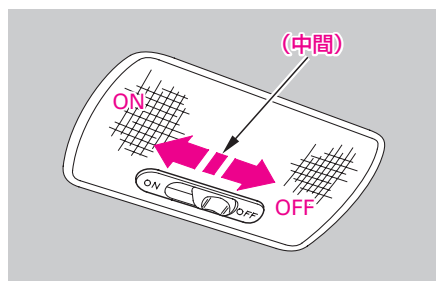
次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- ・運転席ドアを解錠したとき
(ウエルカムライト機能)
- ・エンジンスイッチからキーを抜いたとき
- ・Hondaスマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを“0”(プッシュオフ)にしたとき。

消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



知識

- 次の操作を行ったときは、室内灯はすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしたとき。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “中間”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると約3分後に消灯します。



マップランプ

サンルーフ装備車

“DOOR”

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

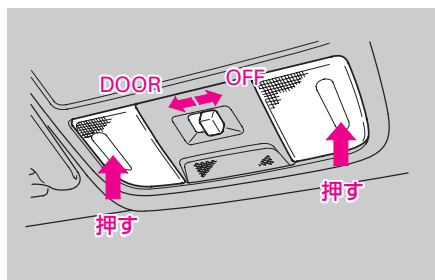
- ・運転席ドアを解錠したとき
(ウエルカムライト機能)
- ・エンジンスイッチからキーを抜いたとき。
- ・Hondaスマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを“0”(プッシュオフ)にしたとき。

消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。

また、ノブ位置に関係なくレンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



知識

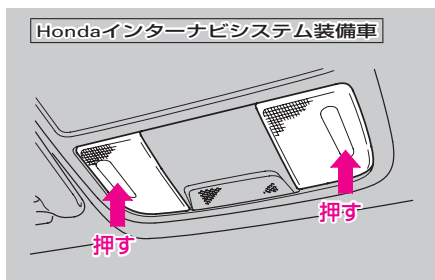
- 次の操作を行ったときは、マップランプはすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしたとき。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもマップランプは点灯しません。
- “DOOR”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

サンルーフ非装備車

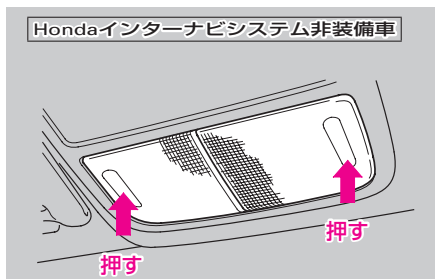
レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。

Honda インターナビシステム 装備車

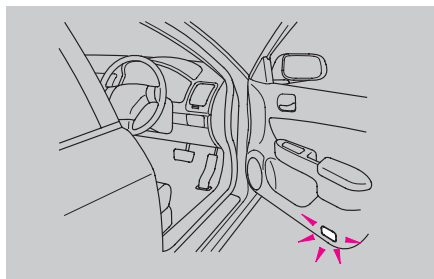


Honda インターナビシステム 非装備車



ドア開閉灯(フロントドア)

ドアを開けると点灯します。
閉めると消灯します。





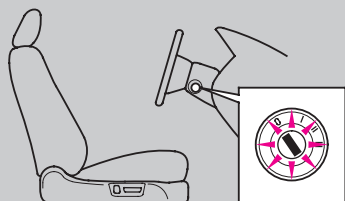
エンジンスイッチ照明灯

ドアを開けると点灯し、閉めるとその後消灯します。

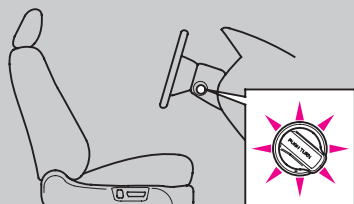
また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- ・運転席ドアを解錠したとき。
- ・エンジンスイッチからキーを抜いたとき。
- ・Hondaスマートキーシステム装備車は、エンジンスイッチを“0”（プッシュオフ）にしたとき。

Hondaスマートキーシステム非装備車



Hondaスマートキーシステム装備車



知識

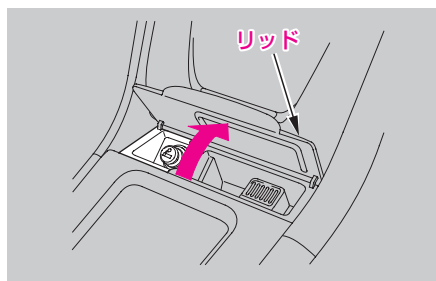
- 次の操作を行ったときは、エンジンスイッチ照明灯は減光しながら消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしたとき。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもエンジンスイッチ照明灯は点灯しません。
- エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

シガレットライター

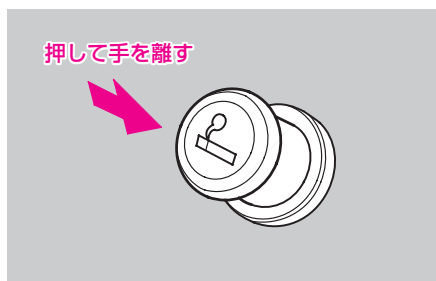
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



リッドを開きます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターの差し込み口からは、**Honda**純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、**Honda**販売店で点検を受けてください。



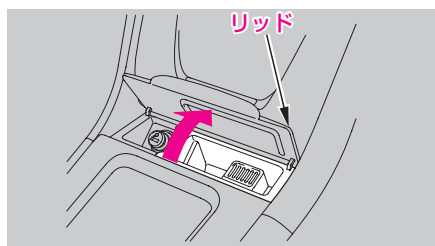
灰皿

●前席用

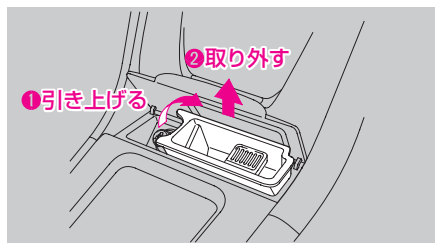
リッドを開きます。

ライトスイッチが“OFF”以外のときに照明灯が点灯します。

オートライトコントロール装備車で、ライトスイッチを“AUTO”にしているときは、車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ照明灯が点灯します。



清掃するときは灰皿本体を引き抜けば、取り外すことができます。



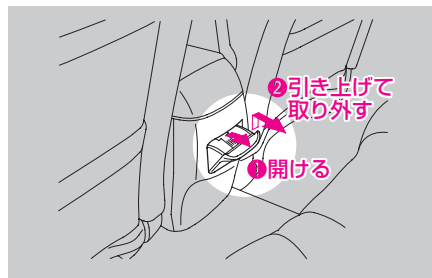
🎓 知 識

●オートマチック車

前席用灰皿を取り外すときは、セレクトレバーをRの位置にすると、取り外しやすくなります。

●後席用

清掃するときは図の状態を取り外します。

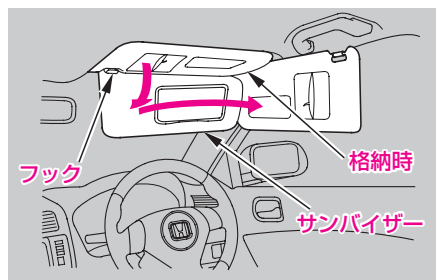


⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

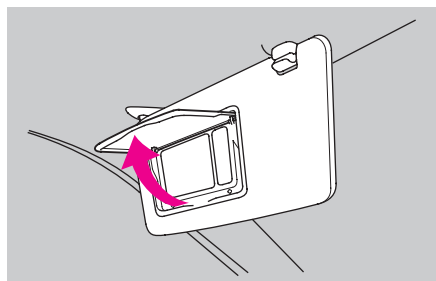
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

サンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。



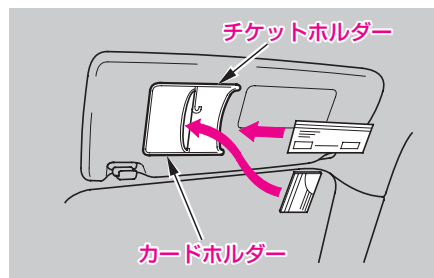
フタを開けると照明灯が点灯します。

知 識

- 使わないときはフタを閉じておいてください。
バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

チケットホルダー

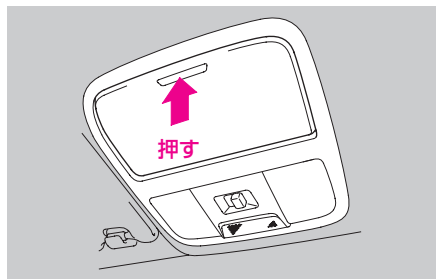
運転席側のサンバイザーにあります。



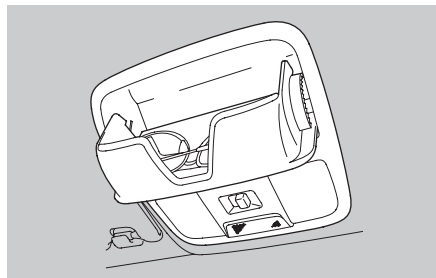


サングラスホルダー

矢印部を押すと開きます。もう一度押すと格納されます。



サングラスなどを入れることができます。



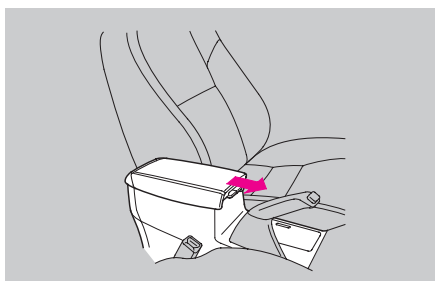
知 識

- 炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを入れたままにしないでください。レンズやフレームが、変形やひび割れをおこすことがあります。
- 重い物や破損しやすい物、鋭利な物などを入れないでください。
- 開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。
- サングラスでも大きさ、形状により収納できないものがあります。

アームレスト

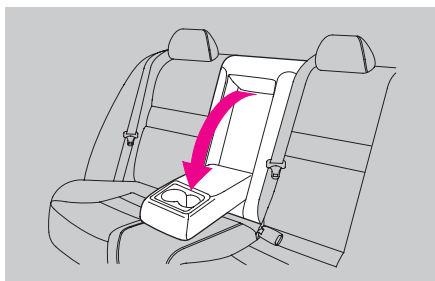
●前席用

センターコンソールボックス上部を前に動かして使うことができます。



●後席用

引き出してアームレストとして使えます。

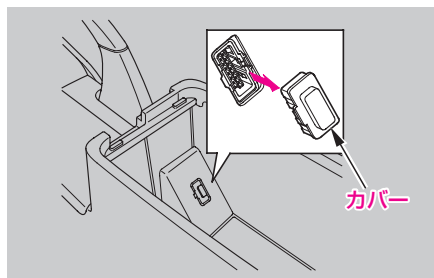


携帯電話接続端子

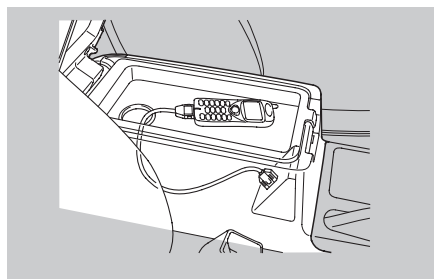
Hondaインターナビシステム装備車

別売のケーブルを使って、携帯電話をセンターコンソールボックスの中にある端子と接続して使います。

接続するときは、カバーを取り外します。



接続した携帯電話は、図のように置いておくことができます。



詳細に関しては、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。



小物入れ

●グローブボックス

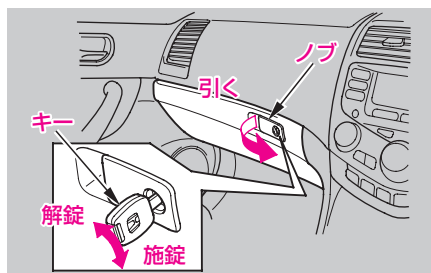
ノブを引くと開きます。

ライトスイッチが“OFF”以外のときに照明灯が点灯します。

オートライトコントロール装備車で、ライトスイッチを“**AUTO**”にしているときは、車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ照明灯が点灯します。

キーまたは内蔵キー(Hondaスマートキーシステム装備車)で施錠(解錠)ができます。

内蔵キー →37ページ

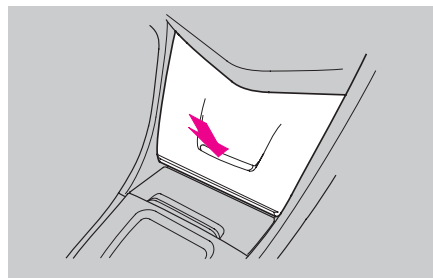


⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのフタを必ず閉めてください。グローブボックスのフタが開いていると、衝突したときなどにフタにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

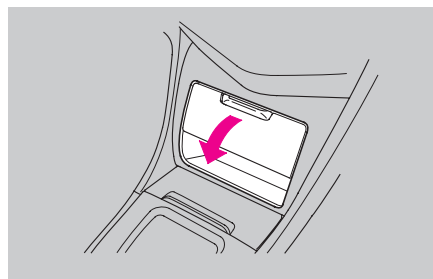
●センターボックス

矢印部を押すと、フタが開きます。



Hondaインターナビシステム装備車
プレミアムサウンドシステム装備車

フタを下げると開きます。



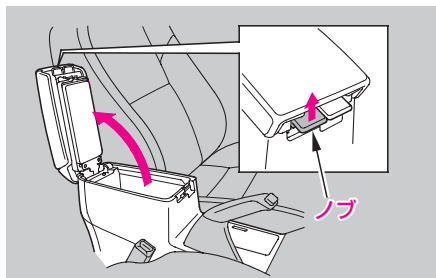
🎓 知識

- Hondaインターナビシステム
装備車

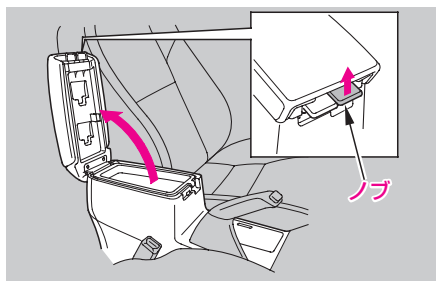
ボックスの中には、ナビゲーションシステムユニットが入っています。

●コンソールボックス

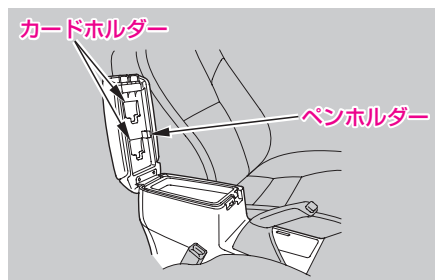
運転席側ノブを引くと開きます。



フタの中も小物入れとして使えます。
助手席側のノブを引くと開きます。



フタには、カードホルダーとペンホルダーがあります。

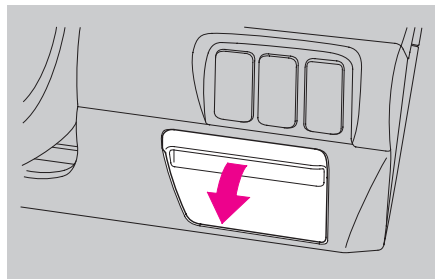


📖 知識

- カードホルダーには、カード以外の物を入れないでください。
カード以外の物を入れると、取り出せなくなることがあります。

●ドライバーズポケット

フタを下げると開きます。小銭を入れておくと有料道路の料金所などで便利です。





カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

⚠ 注意

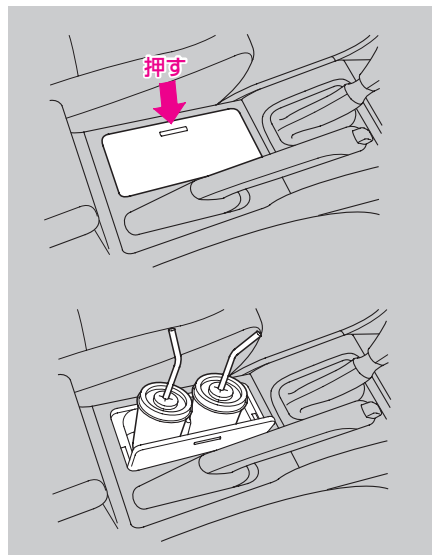
- オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物などをこぼさないように注意してください。
故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。
万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

🎓 知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。

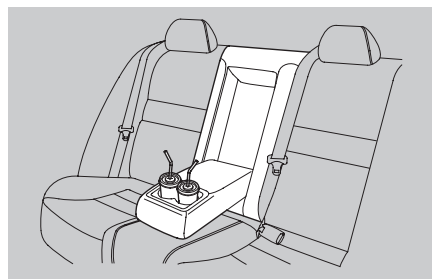
●前席用

矢印部を押すと、フタが開きます。



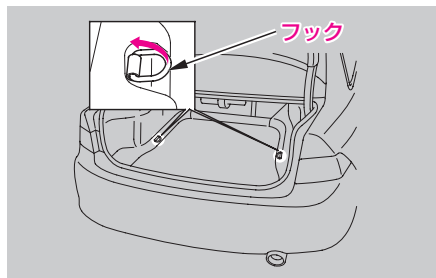
●後席用

アームレストを引き出して使います。



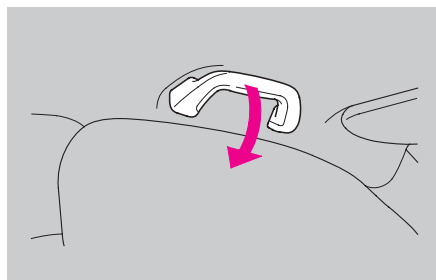
カーゴフック

荷物を固定するときに使います。



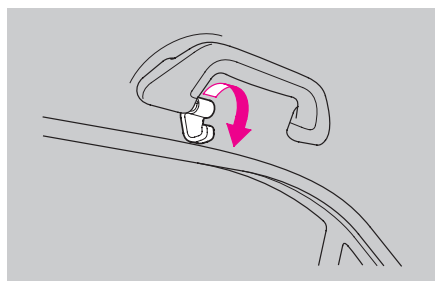
グラブレール

回転させて使います。



コートフック

後席右側のグラブレールにあります。
回転させて使います。
使わないときは格納しておきます。



⚠ 注意

● サイドカーテンエアバッグ システム装備車

コートフックにハンガーや重い物、
とがった物をかけないでください。
サイドカーテンエアバッグが作動
したときに、これらの物が飛んで
けがをするおそれがあります。
服をかけるときは、ハンガーを使
用せずにコートフックに直接服を
かけてください。

4. ドライブを快適にする装備

室内装備品



カスタマイズ機能

カスタマイズ機能について

HiDS装備車

マルチインフォメーションディスプレイを使って、下表の機能の設定を、必要に応じてカスタマイズ(設定変更)することができます。

カスタマイズメニュー一覧 工場出荷時の設定：工場出荷時の設定

カスタマイズ画面での表示			カスタマイズ(設定変更)の内容
カスタマイズグループ	カスタマイズメニュー	カスタマイズセットアップ	
HiDS設定	先行車検知	有り	→HiDS取扱説明書
		無し	
メーター設定 →324ページ	外気温表示補正	0℃	外気温表示が+3℃～-3℃の範囲で1℃ごとに補正できます
		+3℃～-3℃	
	トリップA、平均燃費Aの給油連動リセット →104ページ	連動	トリップメーターの“TRIP A”と“平均燃費A”を給油時に自動的にリセットする、しないを設定できます
		非連動	
	経過時間表示のリセット →103ページ	IGN OFF	経過時間表示のリセット条件を変更できます
		TRIP A	
		TRIP B	

知 識

- カスタマイズしたすべての設定を初期化し、一度に工場出荷時の設定に戻すことができます。

設定をリセットする →326ページ



●スイッチの使いかたとカスタマイズ画面

スイッチ

インフォメーション(①)スイッチとセレクト/リセット(SEL RESET)スイッチを使って、カスタマイズを行うことができます。



・インフォメーション(①)スイッチ

通常表示のとき：

約3秒以上押し続けると、“カスタマイズエントリー”画面に切り換わります。

カスタマイズ画面のとき：

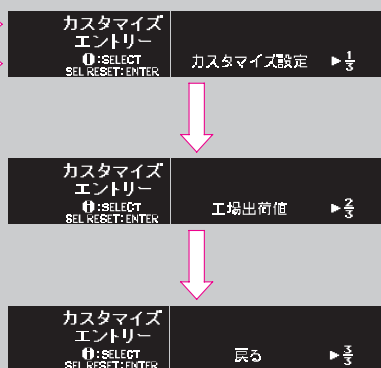
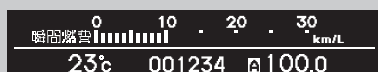
一回押すごとに項目を選択できます。

・セレクト/リセット(SEL RESET)スイッチ

一回押すごとに、選択した項目を決定します。

知識

- “カスタマイズエントリー”画面表示後は、メーター内のセレクト/リセットノブを回して項目を選択し、セレクト/リセットノブを押して決定することもできます。



●カスタマイズのしかた

カスタマイズ操作は、エンジンスイッチが“II”で、セレクトレバーが回るときに行うことができます。

カスタマイズグループの選びかた

- ①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押し続けて、“カスタマイズエントリー”画面を表示させます。
- ②“カスタマイズ設定”を選択し、決定すると、“カスタマイズグループ”画面に切り換わります。

スイッチの使いかたとカスタマイズ画面 →321ページ

知 識

- カスタマイズ操作の途中でエンジンスイッチを“I”または“0”にしたり、セレクトレバーを回以外にしたときは、通常画面に戻ります。このとき、変更途中の設定は、変更されず元の設定のままになります。
- カスタマイズグループおよびカスタマイズメニューの編成や、カスタマイズする機能の詳細については、カスタマイズメニュー一覧で確認できます。

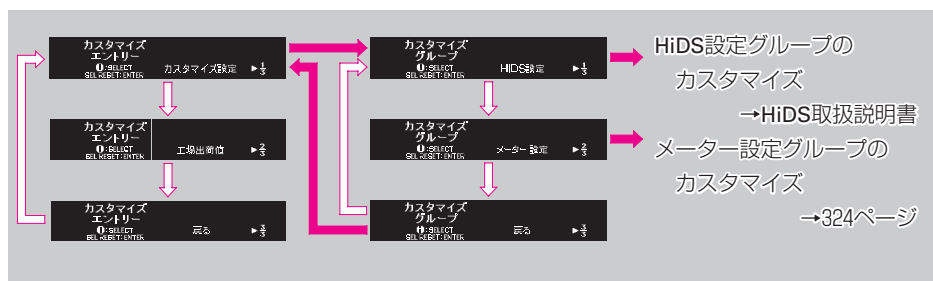
カスタマイズメニュー一覧 →320ページ



- ③カスタマイズしたい機能のカスタマイズグループを選択し、決定すると、“カスタマイズメニュー”画面に切り換わります。“戻る”を選択し、決定すると、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⇒ インフォメーション(①)
スイッチを押す。(選択)

⇒ セレクト/リセット(SEL RESET)
スイッチを押す。(決定)



メーター設定グループのカスタマイズ

① “カスタマイズグループ”画面を表示させます。

カスタマイズのしかた →322ページ

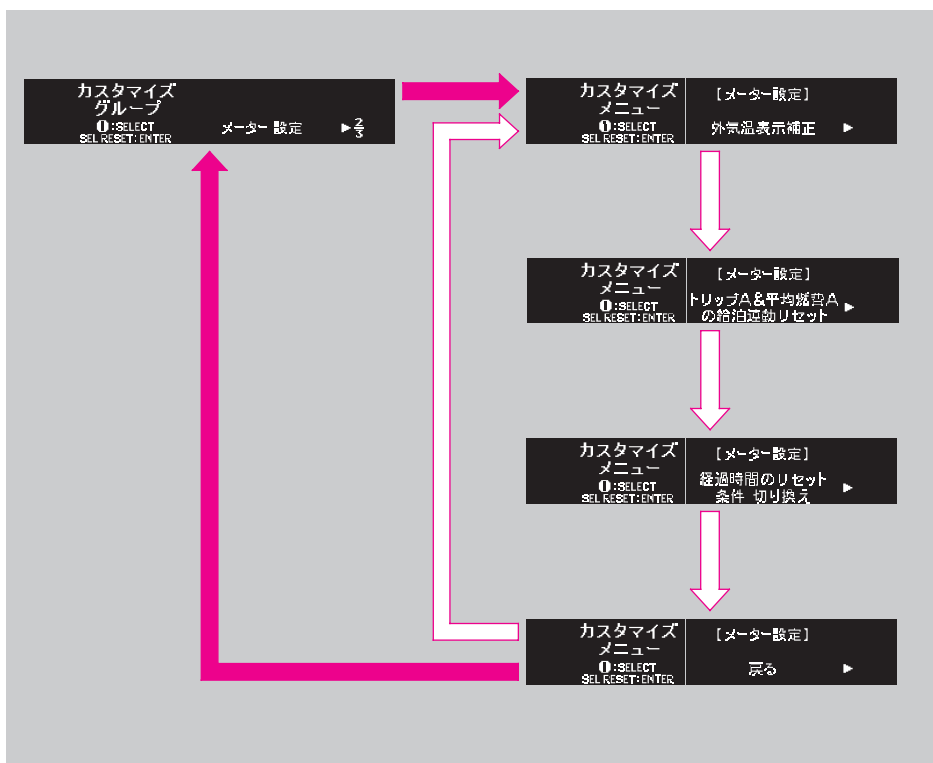
② “カスタマイズグループ”画面から“メーター設定”を選択し、決定すると“カスタマイズメニュー”画面に切り換わります。

③ カスタマイズしたい機能の“カスタマイズメニュー”を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはセレクト／リセット(SEL RESET)スイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

⇒ インフォメーション(①)
スイッチを押す。(選択)

⇒ セレクト／リセット(SEL RESET)
スイッチを押す。(決定)





④ 設定したい内容の表示を選択し、決定します。

工場出荷時の設定 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	$\pm 0^{\circ}\text{C}$	外気温表示が $+3^{\circ}\text{C}$ ～ -3°C の範囲で 1°C ごとに補正できます。
	$+3^{\circ}\text{C}$ ～ -3°C	
	連動	“TRIP A”および“平均燃費A”が給油時に自動的にリセットします。
	非連動	“TRIP A”および“平均燃費A”は給油時に自動的にリセットしません。
	IGN OFF	イグニッションスイッチを“II”から“I”または“0”にしたときに、経過時間表示は自動的にリセットします。
	TRIP A	“TRIP A”をリセットしたときに、経過時間表示も自動的にリセットします。
	TRIP B	“TRIP B”をリセットしたときに、経過時間表示も自動的にリセットします。

知 識

- 現在設定されている項目は、背景が白く表示されます。
- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

⑤ 設定完了画面が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⑥ “戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

知 識

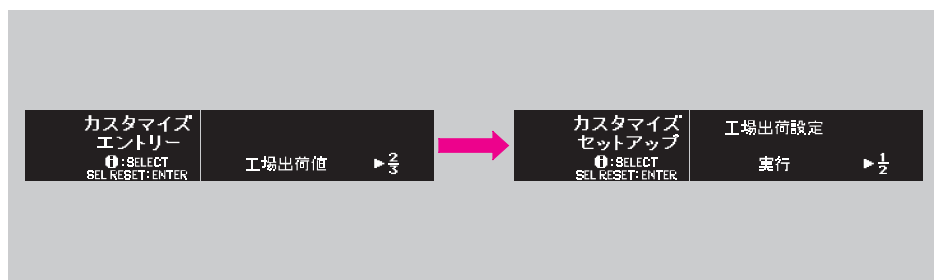
- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返して行います。

設定をリセットする

カスタマイズ(設定変更)したすべての設定を、一度に工場出荷時の設定に戻すことができます。

- ①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押し続けて、“カスタマイズエントリー”画面を表示させます。
- ②“工場出荷値”を選択し、決定すると、“工場出荷値設定”画面に切り換わります。

カスタマイズ画面 →321ページ



- ③“実行”を選択し、決定すると、“工場出荷値に設定しました”が約2秒間表示され、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。
- “中止”を選択し、決定しても、“カスタマイズエントリー”画面へ戻ります。
- ④“カスタマイズエントリー”画面で“戻る”を選択し、決定すると通常画面に戻ります。

知 識

- 工場出荷時の設定に戻すと、カスタマイズした設定は消去されます。カスタマイズしていた設定に戻すには、再度カスタマイズを行ってください。

カスタマイズ機能について →320ページ

5

万一のとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	328
工具の種類	329
発炎筒について	329

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	330
高速道路で故障したとき	330
道路で動けなくなったとき	331
故障の修理について	331

●事故が起きたとき

●けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	334
故障車をけん引するとき	337

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	338
応急用スペアタイヤ	340
タイヤ交換	341

●オーバーヒートしたとき

	348
--	-----

●電気系統が異常のとき

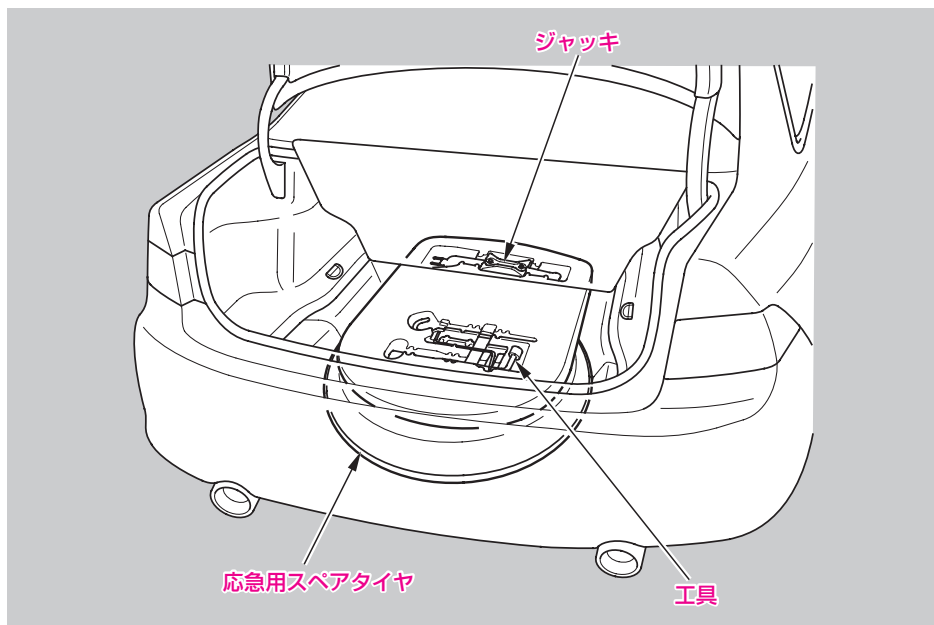
バッテリーあがりのとき	350
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	354
サンルーフが作動 しないとき	372
キーの電池が消耗したとき	374
Hondaスマートキーで エンジンスイッチを 操作できないとき	376

* 全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

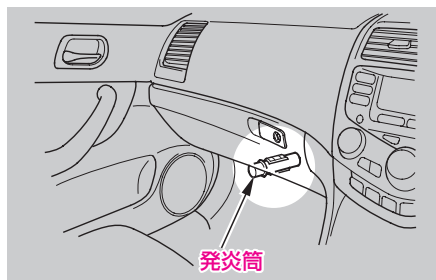
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



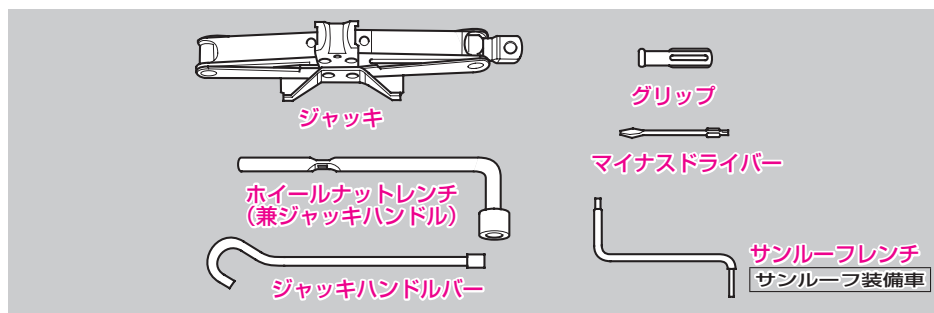
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすい物のそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

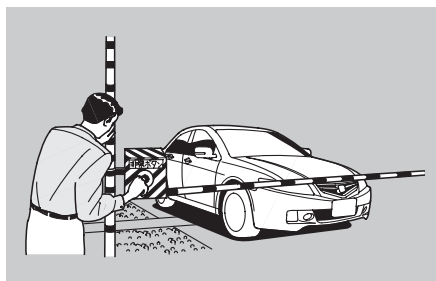
- お子さまにいらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔や身体に向けるとやけどなどをすることがあるのでやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

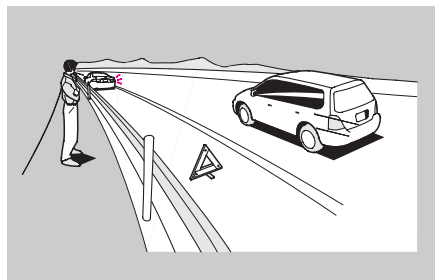
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押しってもらってください。



知識

- マニュアル車、オートマチック車ともにスターターを回して車を動かすことはできません。

クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

→156ページ

故障の修理について

Honda販売店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

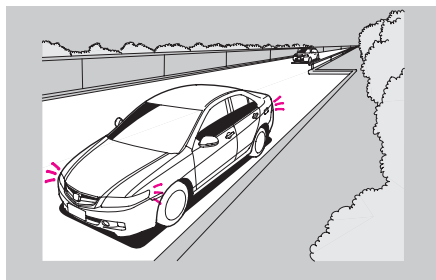
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

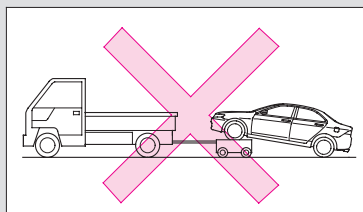
5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車の場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

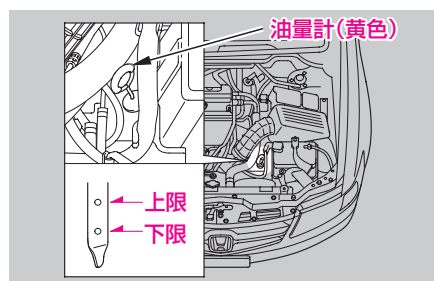


けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① オートマチック車

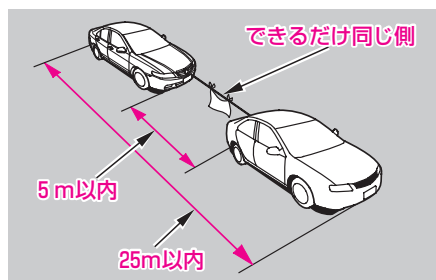
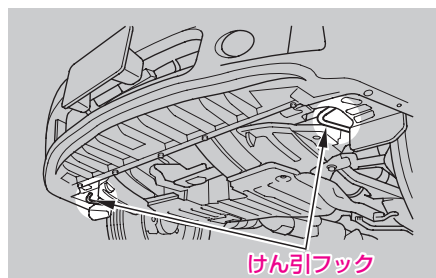
トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。



- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③エンジンをかけます。
エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。

- ④チェンジレバーまたはセレクトレバーをN(ニュートラル)にします。
⑤パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

- ⑥ **オートマチック車**
速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。



アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。
そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。



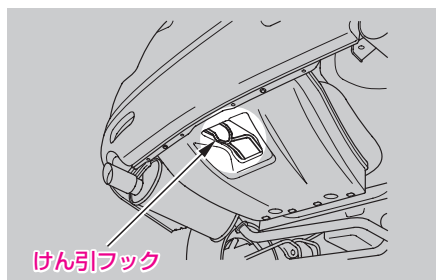
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がリブレーキが効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。



アドバイス

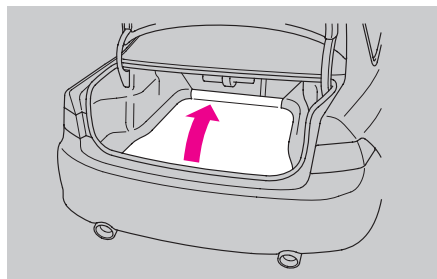
- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

パンクしたとき

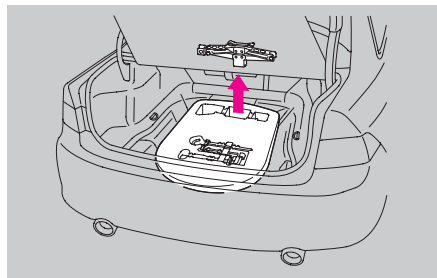
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

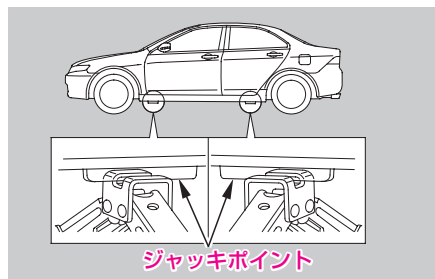
①スペアタイヤリッドを開けます。



②ジャッキを取り出します。



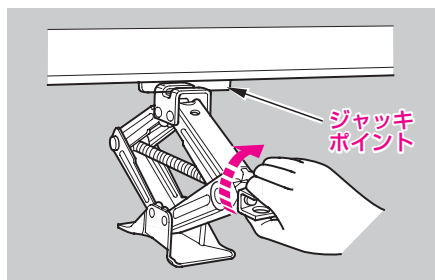
●ジャッキをかける位置



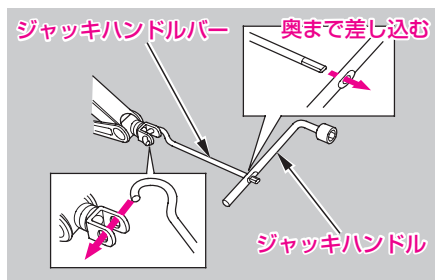


● ジャッキのかけかた

- ① 地面が固い平らなところに車を停めます。
- ② パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

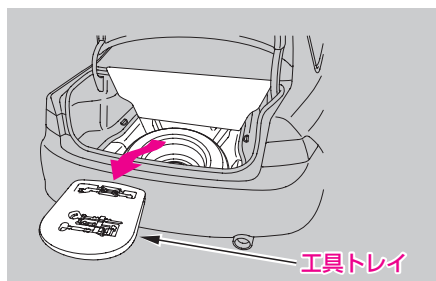
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

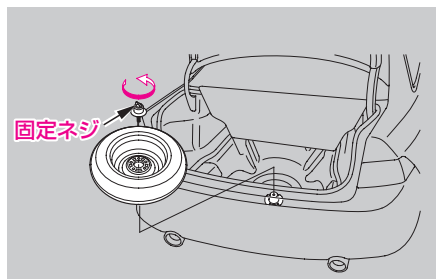
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

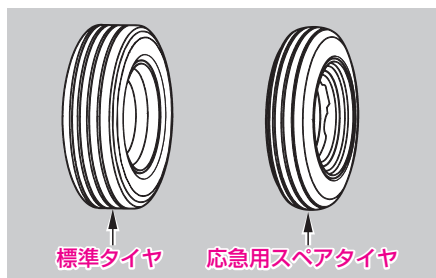
- ①スペアタイヤリッドを開け、工具トレイを取り出します。



- ②固定ネジをゆるめて取り出します。



- ③応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

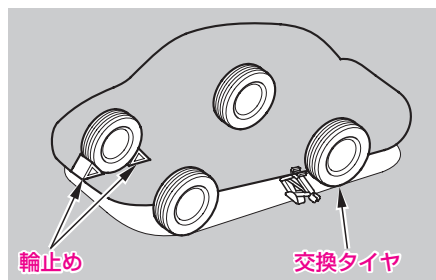
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。
- **LSD装備車**
前輪に応急用スペアタイヤを装着しないでください。



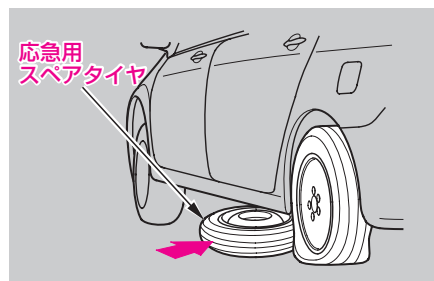
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

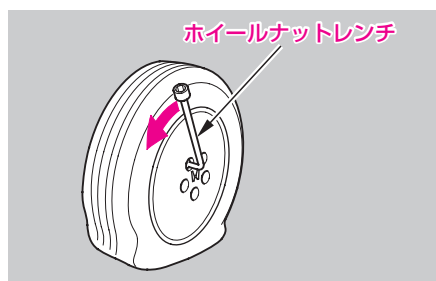


2 ジャッキで車体を上げる

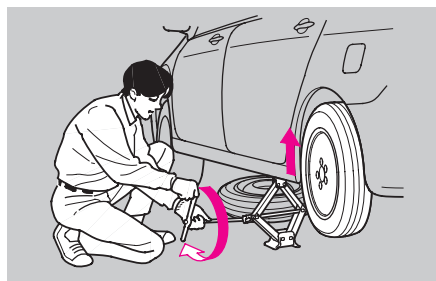
①ジャッキをセットします。

→338ページ

②ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

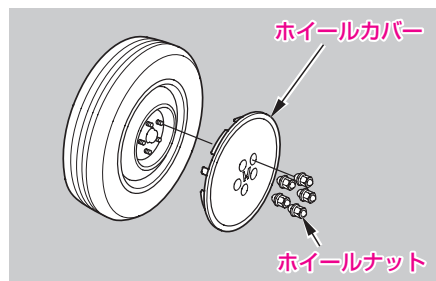


③タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



3 タイヤを交換する

①ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。

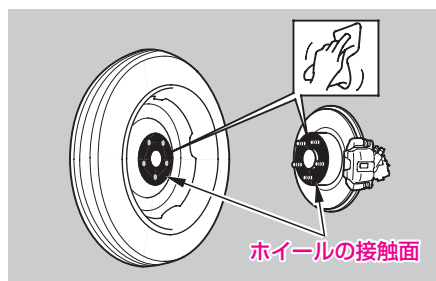


知識

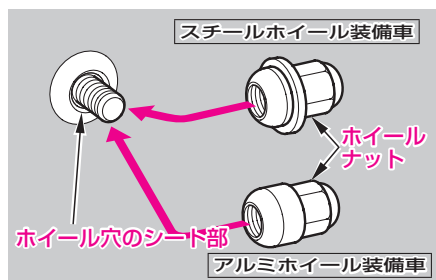
- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。



- ② 応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



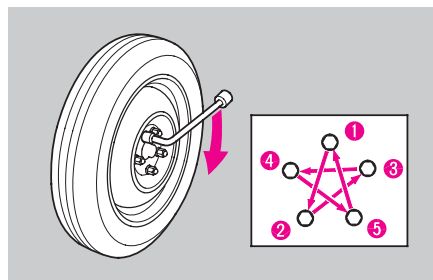
- ③ 応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑤ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

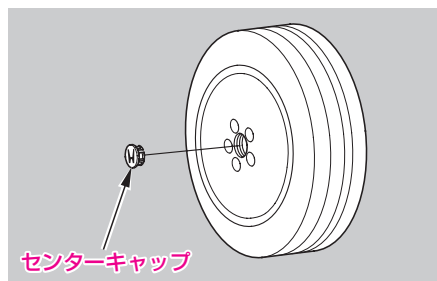
98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)



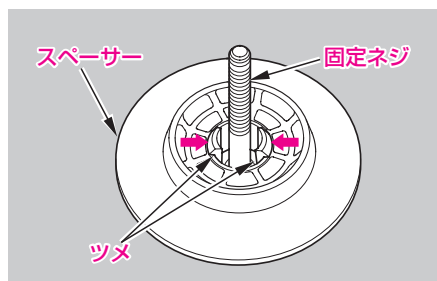
4標準タイヤを収納する

① アルミホイール装備車

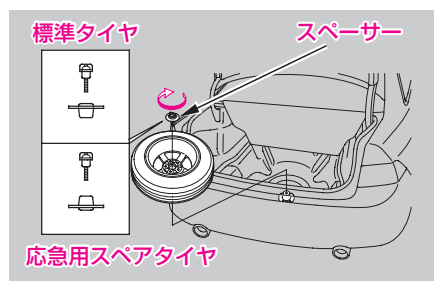
パンクした標準タイヤはセンターキャップを外します。



② スペーサーを逆向きにするときは、ツメを押して、スペーサーから固定ネジを取り外します。



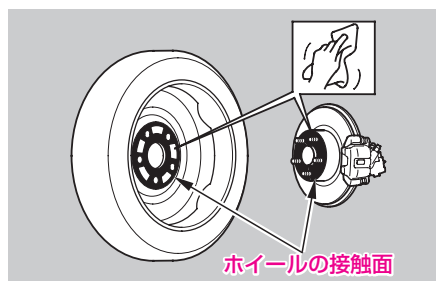
③ パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スペアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。





5 標準タイヤを取り付けるときは

- ① 標準タイヤのホイールの接触面のよ
これをふき取ります。

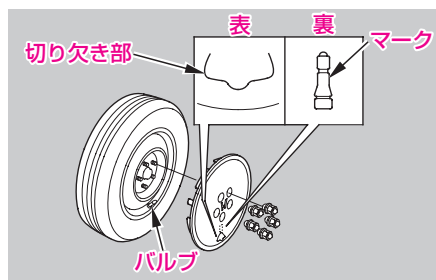


知識

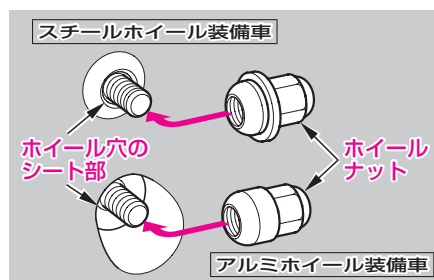
- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ② ホイールカバー(タイプ別装備)を取り付けるときは、ホイールカバーの切り欠き部(マーク部)がバルブの位置にくるようにします。



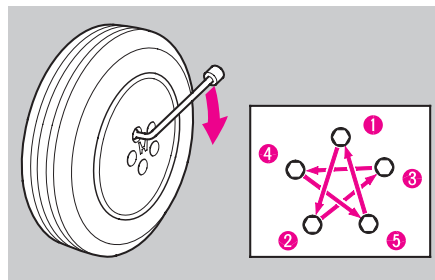
- ③ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク:

98-118 N・m (10.0-12.0 kgf・m)



アドバイス

- **4WD車**は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- **LSD装備車**の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響をあたえます。
- **VSA装備車**は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとVSAが正常に機能しなくなることがあります。
- **HiDS装備車**は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や、摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとHiDSが正常に機能しなくなることがあります。



知 識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。
トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらHonda販売店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の固い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。

タイヤの空気圧 →419ページ

● スチールホイール装備車

ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。
ドライバーなどで無理にこじらないでください。

● アルミホイール装備車

パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

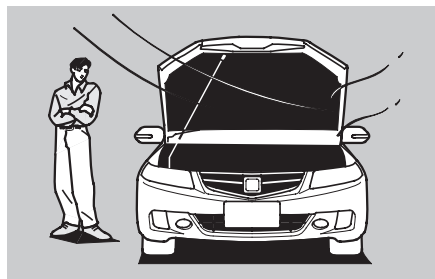
- ・水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

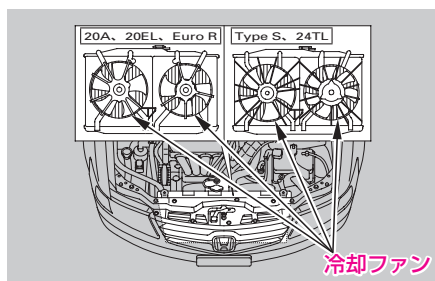


🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。
蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



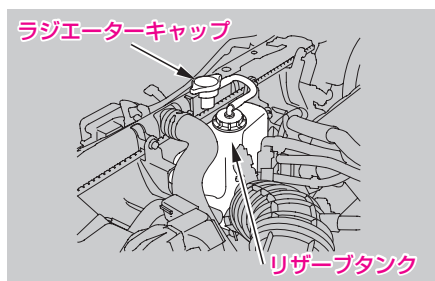
- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、Honda販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・ スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

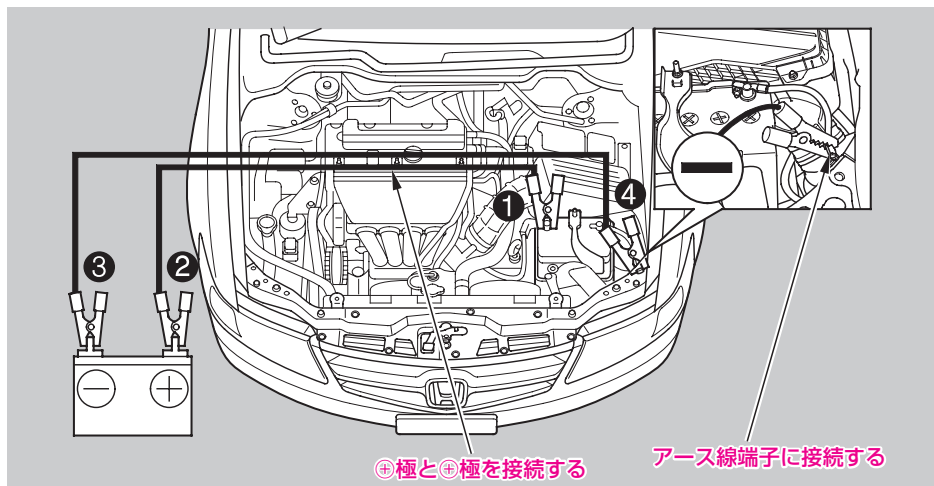
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車のバッテリーの $\oplus$ 端子
- ②救援車のバッテリーの $\oplus$ 端子

2本目

- ③救援車のバッテリーの $\ominus$ 端子
- ④自車のアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した身体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

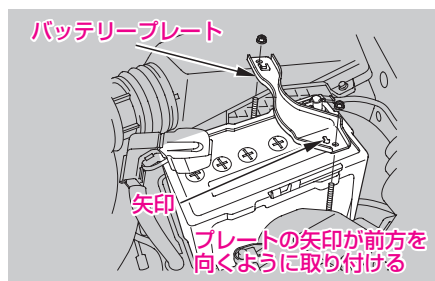
🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。

●バッテリーを交換したとき

バッテリーを交換したあと、セットプレートを取り付けるときは、セットプレートにある矢印の向きに合わせて取り付けてください。

向きを間違えて取り付けると、エアクリーナーカバーを取り外したりするときに傷を付けたりするおそれがあります。



5. 万一のとき

電気系統が異常のとき



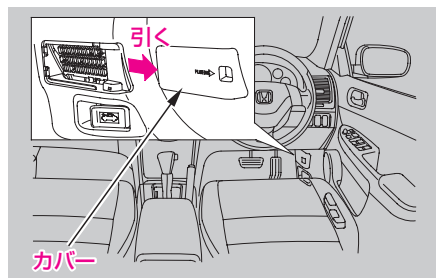
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ① エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示と取扱説明書で確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

●ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス



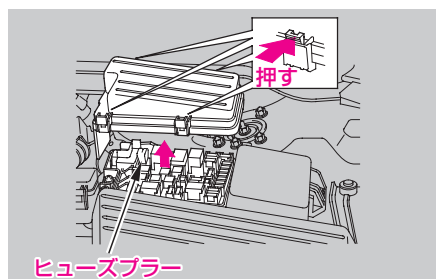
・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		ドライブバイワイヤー	(15A)
2		イグニッションコイル	15A
3		—	—
4		LAFセンサー	10A
5		オーディオ/アンプ	(20A)
6		室内灯	10A
7		バックアップ	10A
8		ドアロック	20A
9		シガレットライター	15A
10		サイドエアバッグ 自動停止装置	7.5A
11		ワイパー	30A
12		—	—
13		—	—
14		運転席パワーシート 前後スライド	(20A)
15		シートヒーター	(20A)
16		運転席パワーシート リクライニング	(20A)
17		—	—
18		発電機	15A
19		フューエルポンプ	15A
20		ウォッシャー	10A
21		メーター	7.5A
22		SRSエアバッグシステム	10A
23		IGP	7.5A
24		パワーウィンドー 後席左側	20A
25		パワーウィンドー 後席右側	20A
26		パワーウィンドー 助手席	20A



	表示	装備	容量
27	DR 	パワーウィンドー 運転席	20A
28		サンルーフ	(20A)
29		ヘッドライト レベリング、HiDS	(7.5A)
30		エアコン	(7.5A)
31		HiDS	(7.5A)
32		アクセサリー	7.5A
33	—	—	—

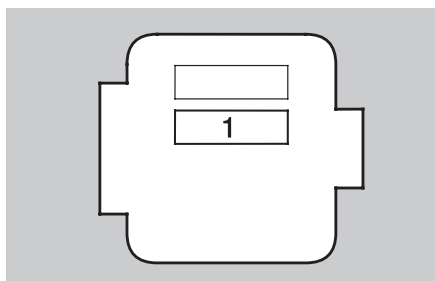
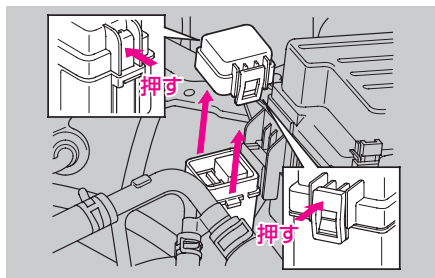
エンジンルーム内のヒューズボックス



	表示	装備	容量
1		左側ヘッドライト ロービーム	15A
2		リヤデフロスターコイル	30A
3		左側ヘッドライト ハイビーム	10A
4		車幅灯	10A
5		右側ヘッドライト ハイビーム	10A
6		右側ヘッドライト ロービーム	15A
7		バックアップ	7.5A
8		IGP	15A
9		コンデンサーファン	20A
10		フォグライト	(20A)
11		ラジエーターファン	20A
12	—	—	—
13		ホーン／制動灯	20A
14		リヤデフロスター	30A
15		バックアップ／ アクセサリ	40A
16		非常点滅表示灯	15A
17		ABSモーター	30A
		VSAモーター	30A
18		ABS	20A
		VSA	40A
19		オプション	40A
20		オプション	40A
21		ヒーターモーター	40A
22		EPS	70A
		バッテリー	100A
23		イグニッション	50A
		パワーウィンドー	40A



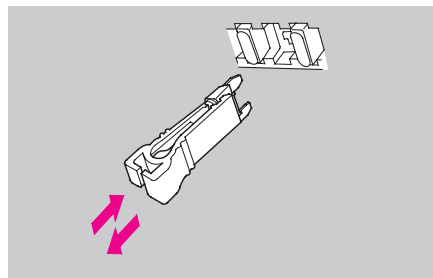
エンジンルーム内のサブヒューズボックス



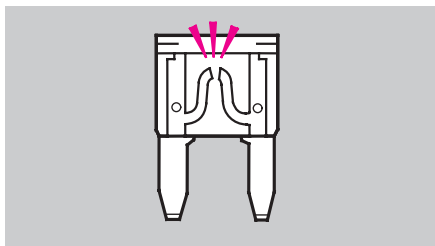
	表示	装備	容量
1		ヒータッドアミラー	7.5A

ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

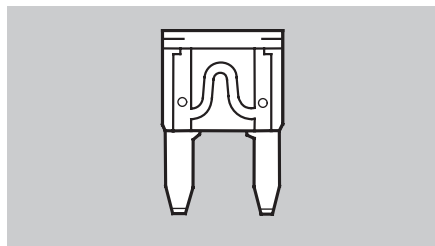
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外の物は絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知 識

- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

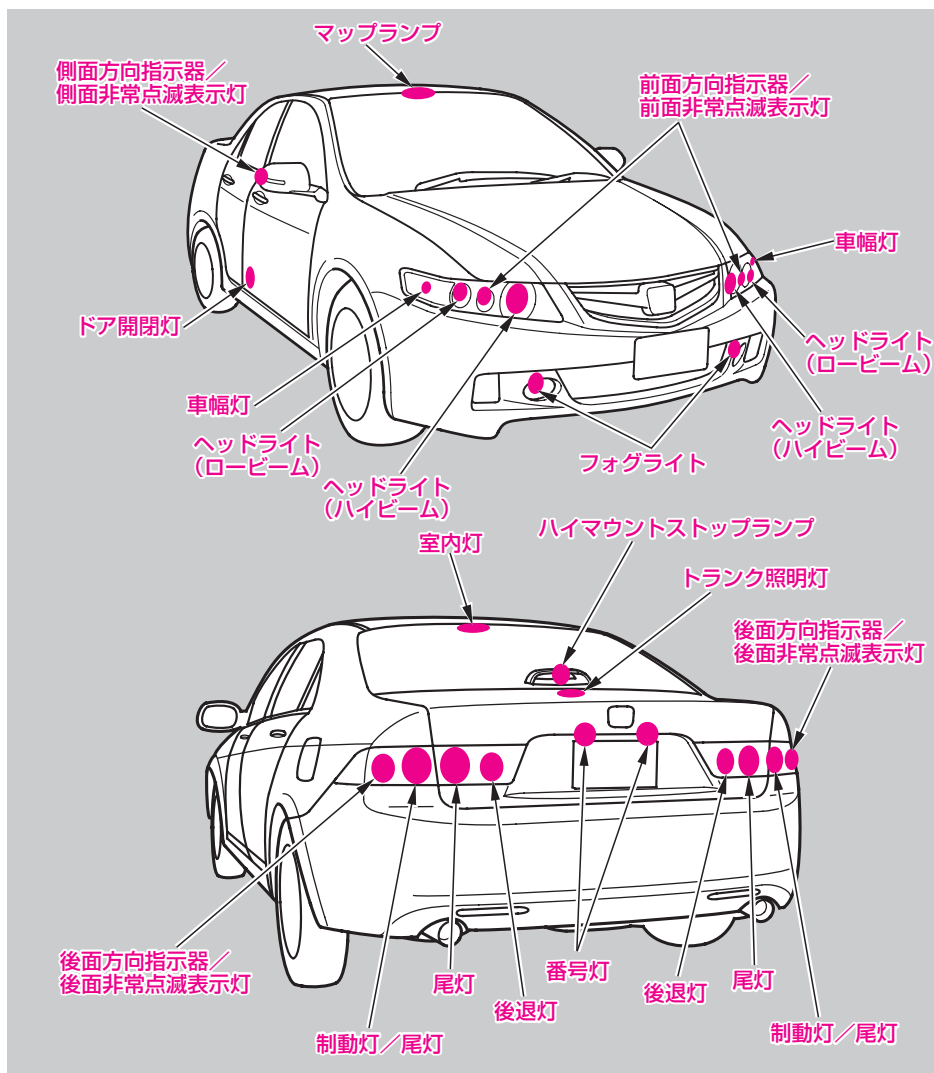
知 識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。



●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



知 識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。

- 電球を交換するときはワット(W)数の違う物を使わないでください。

電球のワット数 →416ページ

- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。

取り扱いには十分に注意してください。

また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。

- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、**Honda** 販売店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)について

ディスチャージヘッドライト装備車

ヘッドライト(ロービーム)の電球切れの点検、交換は必ずHonda販売店で行ってください。

注意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。



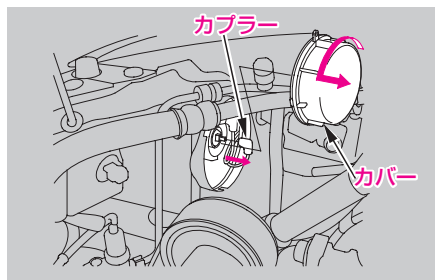
ヘッドライト(ロービーム)

ハロゲンヘッドライト装備車

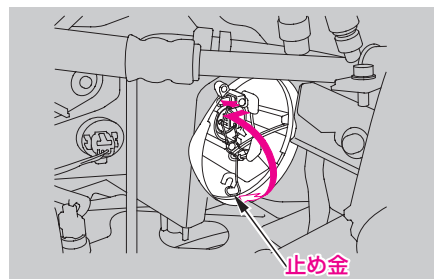
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて →360ページ

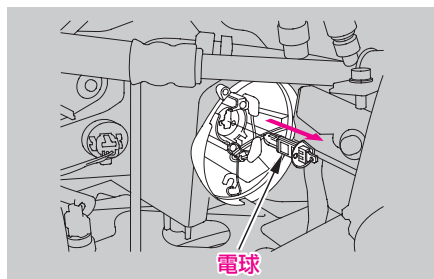
- ①カバーを左へ回して外し、カプラーを外します。



- ②止め金を外します。



- ③電球を外します。

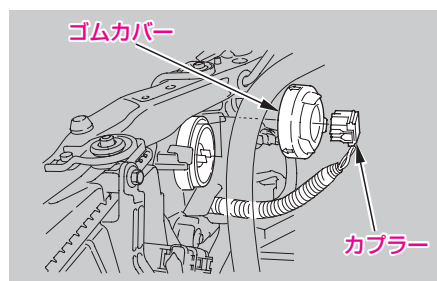


ヘッドライト(ハイビーム)

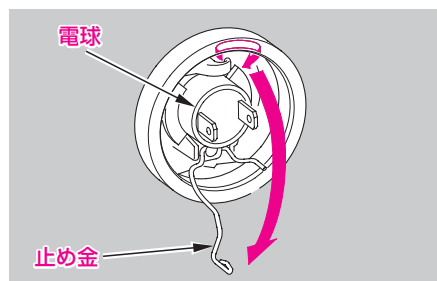
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて →360ページ

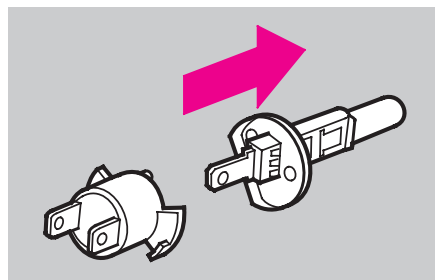
- ①カプラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。



- ③止め金を外し、電球を外します。



- ④電球本体を抜き取ります。

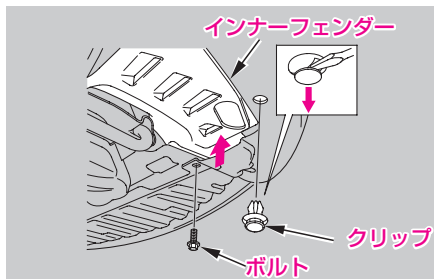


**フォグライト****タイプ別装備**

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

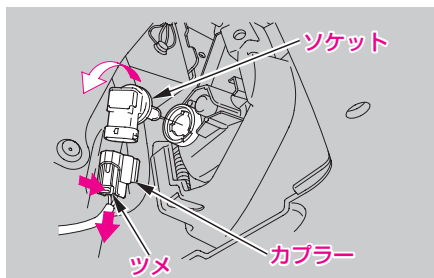
ハロゲンバルブについて →360ページ

- ①ボルトとクリップを外して、インナーフェンダーを押し込みます。

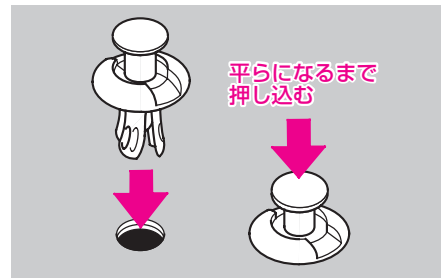


- ②カブラーのツメを押しながらカブラーを外します。

- ③ソケットを左に回して電球を外します。

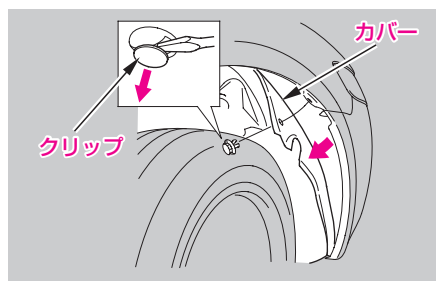


インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

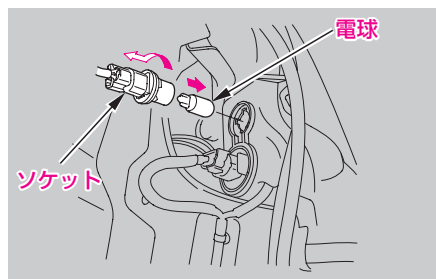


車幅灯

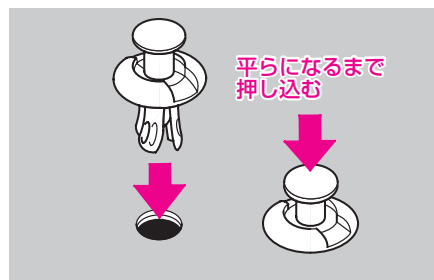
- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

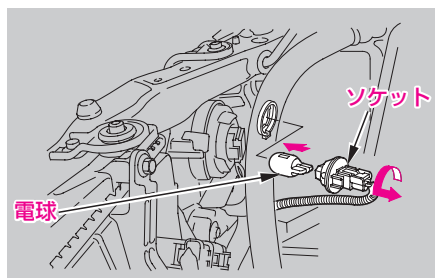


インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

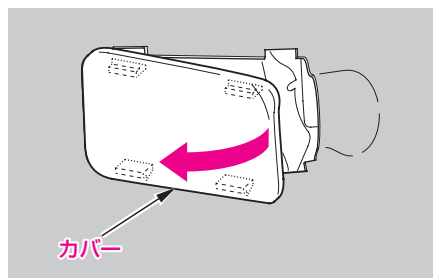
ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

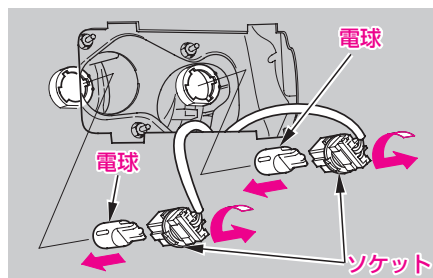
電球切れの点検、交換は、Honda販売店にご相談ください。

制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯

①カバーを外します。

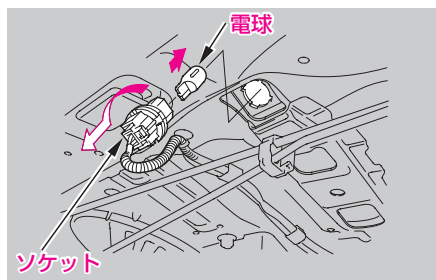


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



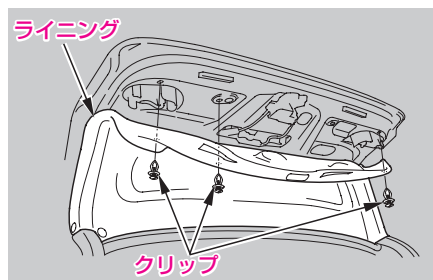
ハイマウントストップランプ

トランクを開け、内側からソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

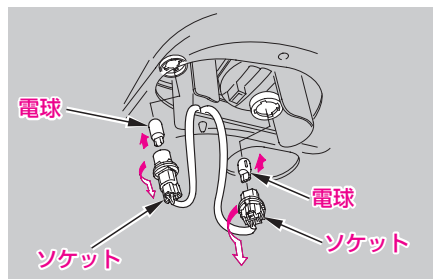


尾灯／後退灯

①ライニングからクリップを引き抜き、ライニングをめくります。

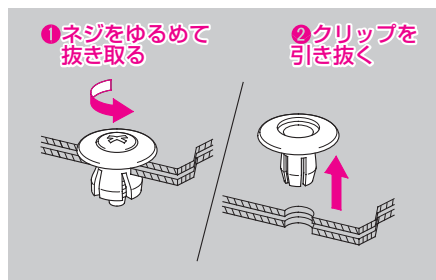


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

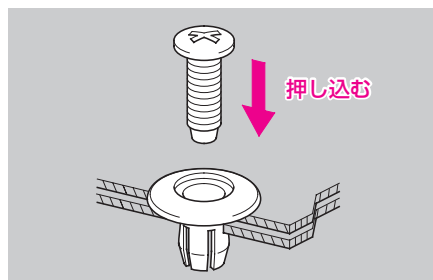


**・クリップの脱着のしかた**

クリップのネジをドライバーなどで左へ回して抜き取り、クリップを引き抜きます。

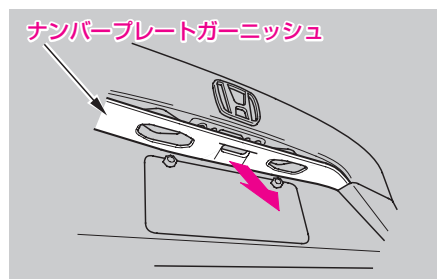


固定するときには、ネジを外したままのクリップを取り付けたライニングに差し込んでから、ネジ部を平らになるまで押し込みます。

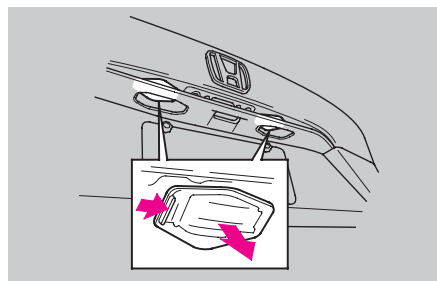


番号灯

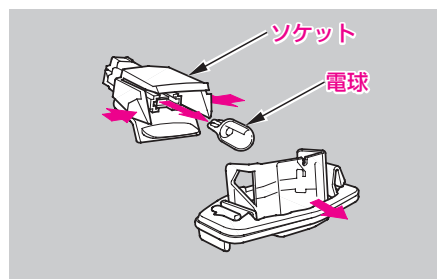
- ①ナンバープレートガーニッシュを外します。



- ②側面を押し、ランプ本体を外します。

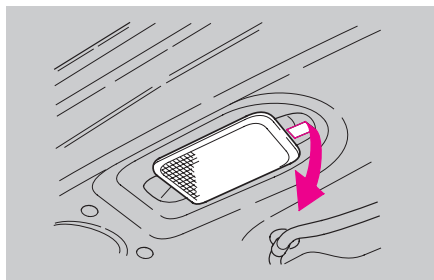


- ③ソケットの両端を押しながら外し、電球を抜き取ります。

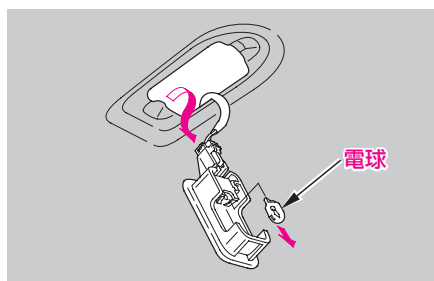


トランク照明灯

- ①側面を押し、ランプ本体を外します。



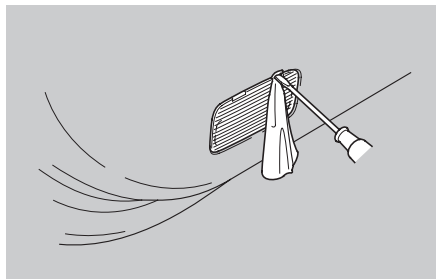
- ②電球を抜き取ります。



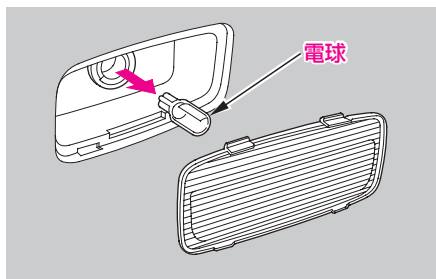


ドア開閉灯(フロントドア)

①レンズを外します。



②電球を抜き取ります。

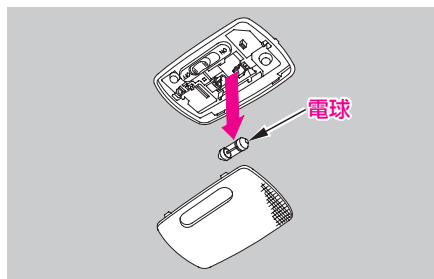


室内灯

①レンズを外します。



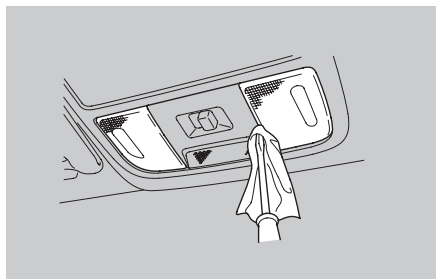
②電球を抜き取ります。



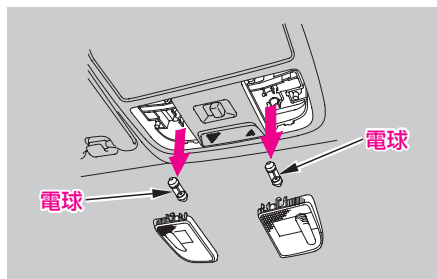
マップランプ

サンルーフ装備車

- ① レンズを押してすきまを作り、ドライバールーフを差し込んでレンズを外します。



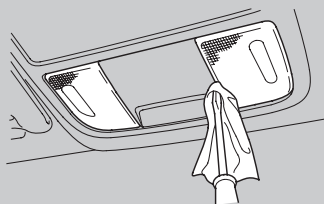
- ② 電球を抜き取ります。



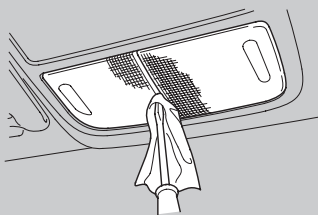
サンルーフ非装備車

- ① レンズを押してすきまを作り、ドライバールーフを差し込んでレンズを外します。

Honda インターナビシステム 装備車

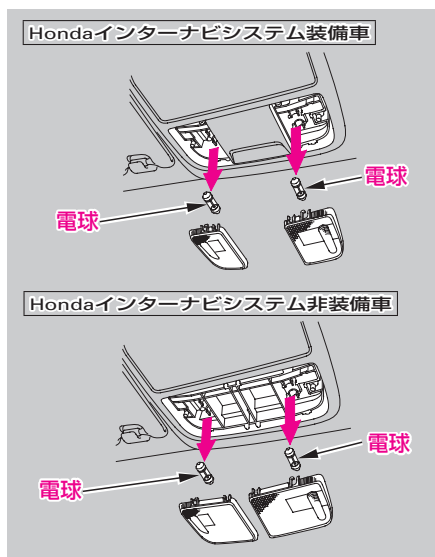


Honda インターナビシステム 非装備車



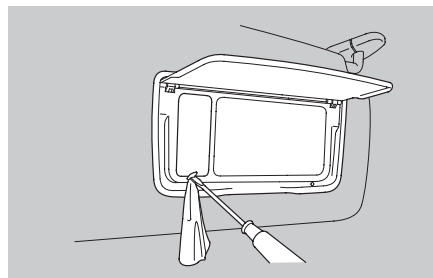


②電球を抜き取ります。

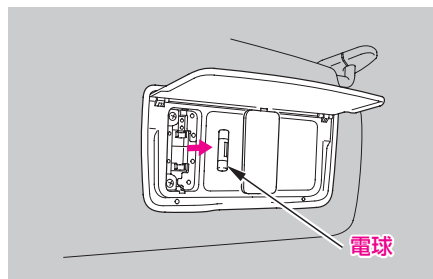


バニティミラー照明灯

①レンズを外します。



②電球本体を抜き取ります。



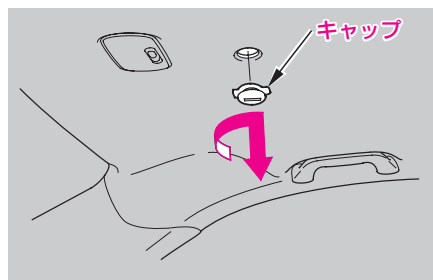
サンルーフが作動しないとき

サンルーフ装備車

万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具トレイ内のサンルーフレンチを使って閉めてください。

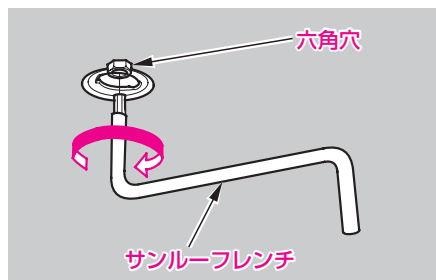
工具 → 329ページ

- ①後席ルーフ中央のキャップをコインなどで回し、キャップの溝が図のように前後を向いたところを取り外します。





②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。



知識

- サンルーフが閉まった後もレンチを回し続けるとサンルーフ後部が持ち上がりますので、そのときはレンチを反対方向に回して正しい位置まで戻してください。
- 応急処置後はHonda販売店で点検を受けてください。

キーの電池が消耗したとき

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での変換をおすすめします。

⚠ 注意

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
飲み込むと、傷害を受けるおそれがあります。

🎓 知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池交換の際は、ケースやカバーを確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

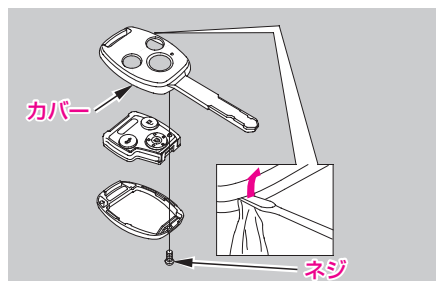


●キーレスエントリー一体キーの電池交換

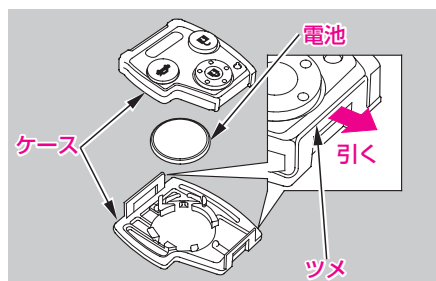
Hondaスマートキーシステム非装備車

使用電池……………ボタン電池CR1616

- ①ネジを外して、マイナスドライバーを使ってカバーを外します。



- ②ツメを引いてケースを外し、電池を交換します。

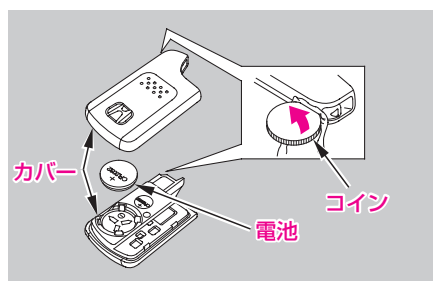


●Hondaスマートキーの電池交換

Hondaスマートキーシステム装備車

使用電池……………ボタン電池CR2032

- ①内蔵キーを取り出します。
内蔵キーの取り出しかた →37ページ
- ②コインを使ってカバーを外し、電池を交換します。



Hondaスマートキーで エンジンスイッチを操 作できないとき

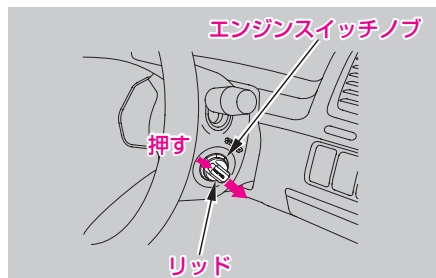
Hondaスマートキーシステム装備車

Hondaスマートキーによるエンジンスイッチの操作や、エンジンの始動ができない場合は、内蔵キーを使ってエンジンスイッチの操作や、エンジンの始動をすることができます。

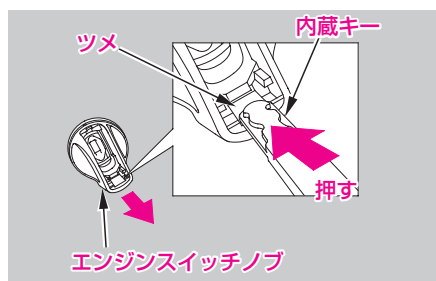
内蔵キーの取り出しかた →37ページ

●内蔵キーの差し込みかた

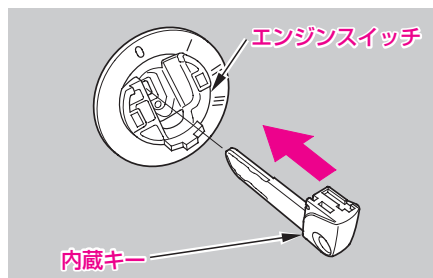
- ①リッドの上端を押しながら、リッドを外します。



- ②エンジンスイッチノブの内側のツメを、内蔵キーの先端で押して、エンジンスイッチノブを外します。



- ③エンジンスイッチに内蔵キーを図の向きで差し込みます。

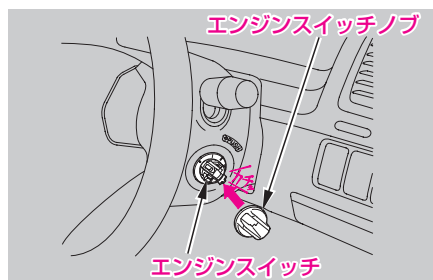


キーを使ったエンジンスイッチの操作

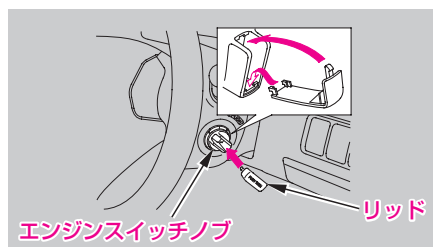
→130ページ

エンジンスイッチノブの取り付け

- ①エンジンスイッチにエンジンスイッチノブを取り付けます。



- ②エンジンスイッチノブにリッドを取り付けます。



6

車の手入れ

●点検・整備について……378

●日常の手入れ

外装の手入れ ……………382

内装の手入れ ……………386

タイヤについて ……………388

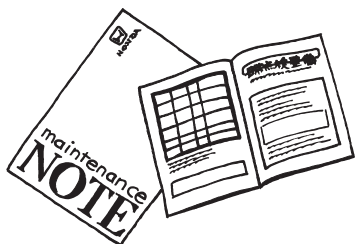
アルミホイールについて ……392

●車にあった部品の使用…394

点検・整備について

車は走行するにしたがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

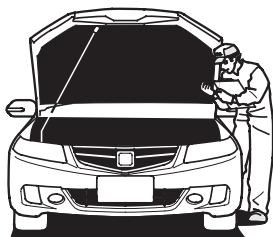
点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

日常の手入れ

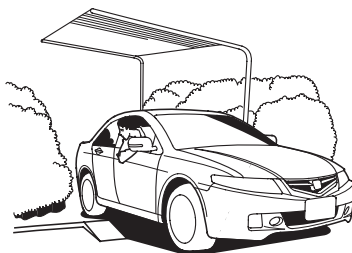
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。





洗車を忘れずに

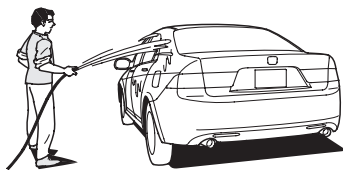
- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。

- ・凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。

錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。

- ・コールドタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
- 化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。

ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。

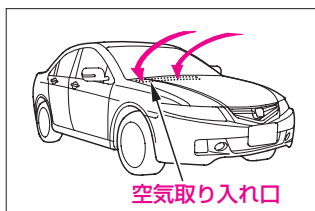


外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかい物で洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納して洗車してください。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかい物で洗ってください。
- オートワイパー装備車は、ワイパースイッチを“OFF”にしてください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

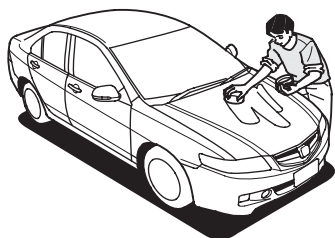


●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。
塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

はっ水ガラスについて

前席ウィンドー(ドアガラス)にははっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。

知 識

- 水滴をはじく効果の持続時間には限りがありますが、できるだけ長持ちさせるために次のことをお守りください。
 - ・前席ウィンドーが汚れているときは、水洗いをするか柔らかい湿った布などでふき取ってください。
 - また、泥などの汚れがひどいときは、前席ウィンドーの開閉をなるべく行わないでください。
 - ・みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わないでください。
 - ・金属製の物で霜取りなどを行わないでください。
 - ・自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落してから行ってください。

知 識

- ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。
- 水はじきが悪くなったときは、補修できますのでHonda販売店にご相談ください。

リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



●アクアクリーンミラー (親水ミラー)の回復作業

ミラー表面に汚れなどが付着して、一時的に親水効果が低くなることがありますが、異常ではありません。数日間の日射をすることで親水効果が回復しますが、早く回復させたいときは次の回復作業を行ってください。

・点検

ミラー表面に散水し、水滴にならず薄い水膜(親水状態)になることを確認します。親水状態になっていない場合は、洗浄作業を行います。親水状態になっている場合は、紫外線照射を行います。

・回復作業

- ①ミラー表面を水洗いし、汚れを落とします。
- ②水を含ませたきれいな布で、汚れを落とします。
- ③それでも汚れが落ちない場合は、純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤などを使用して、柔らかい布を使ってミラー表面を洗浄後、十分な水で洗浄剤を洗い流してください。

・紫外線照射

屋外に車両を5～9時間ほど放置し、ミラー表面に太陽の光を当てます。

内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- 室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

●ケミカル類、 液体芳香剤について

取扱方法や成分を確認の上、取り扱いには十分にご注意ください。

⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

- ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

次のことに注意してください。

- ・ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。

また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。

- ・ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

- ・液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。

芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。



●本革の取り扱い

タイプ別装備

- ①ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- 本革部分に油污れなどが付くとカビなどの原因となるので、早めに落としてください。

- 本革部分を直射日光に長時間さらすと、変質、縮みの原因となります。駐車するときは、日よけに心がけてください。

- 夏期などは、ビニール類を本革部分の上に置かないでください。

室内が高温になっていると、ビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

- 雨などでぬれたときは、早めに水分をふき取り風通しのよい日陰で乾燥させてください。シート表面に水分が残っていると、皮革の硬化、収縮の原因となります。

●サイドエアバッグシステム 装備車

助手席は、乾燥していない状態で使用するとサイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないおそれがあります。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。
- 摩耗限度を超えたタイヤ。
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ。

タイヤの空気圧

→419ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。



- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。
- LSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響を与えます。
- VSA装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとVSAが正常に機能しなくなることがあります。
- HiDS装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとHiDSが正常に機能しなくなることがあります。

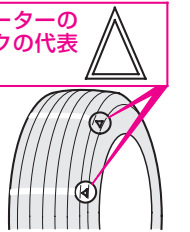
摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です

ウェアインジケーターが表われたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



●位置交換

(タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。
- 前輪と後輪でタイヤの空気圧が異なるので、位置交換後は必ず空気圧を調整してください。

タイヤの空気圧 →419ページ

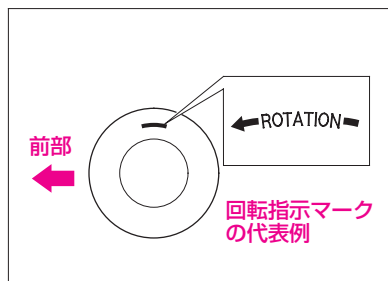
●Euro R、Type S

標準装着のタイヤは、回転方向が指定されています。タイヤの側面に回転方向を指定する矢印がありますので、タイヤを交換する際は回転方向に注意してください。

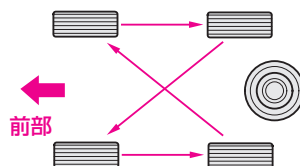


タイヤ回転指示マーク

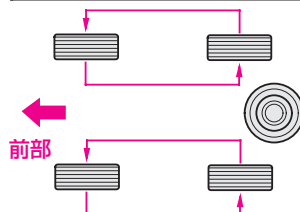
タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。



回転指示マークがないタイヤの場合



回転指示マークがあるタイヤの場合

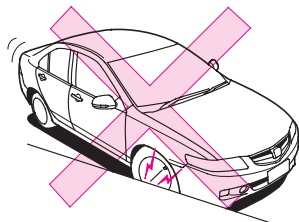


アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きの物）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	396
運転するとき	398
駐車するとき	403
冬期の手入れ	404

●こんなときは

雨の日の運転	406
夏場の取り扱い	408

●環境にやさしい

省エネドライブを するために	410
-------------------	-----

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時に屋根に積もった雪がすべり落ち視界の妨げになるなど危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。
- ・ドアミラーに付着した雪や霜は、ヒートドアミラースイッチを“ON”にするか、温水や水道水を使って溶かしてください。解氷剤を使ったり、プラスチックの板を使って削り落とすと、ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

寒冷地用ワイパーブレードを装着する際は、Honda販売店にご相談ください。

寒冷時以外は通常のワイパーブレードに戻してください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

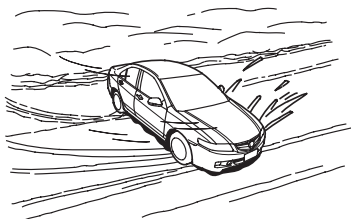
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

チェーンサイズ →400ページ
タイヤチェーンの取り付けかた
→401ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

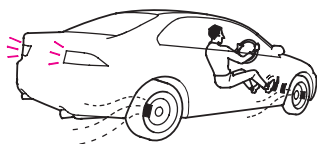
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキの効きについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキの効きが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

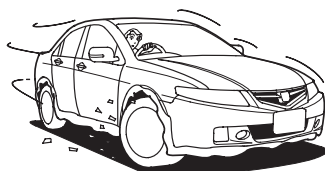
先にデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

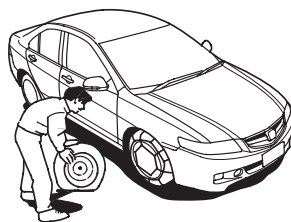
フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなることがあります。ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪に付けてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



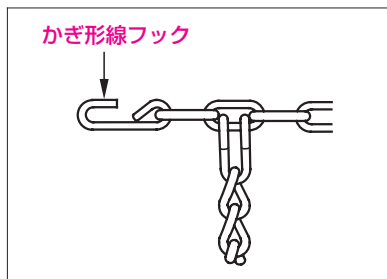
●タイヤチェーンのつけかた

チェーンサイズ

お求めはHonda販売店へお申し付けください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
195/65R15 91H	スチールチェーン
205/55R16 89V	45102(新JIS)
215/45R17 87W	Honda純正
225/45R17 90W	スチールチェーン

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。



- タイヤチェーンはタイヤに合った適正な物をお使いください。

推奨タイヤチェーン以外の物を使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

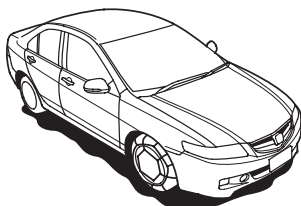


標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

4WD車の場合も前輪駆動を主とした四輪駆動なので、チェーンは前輪に装着してください。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。



- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。

- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。

必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。

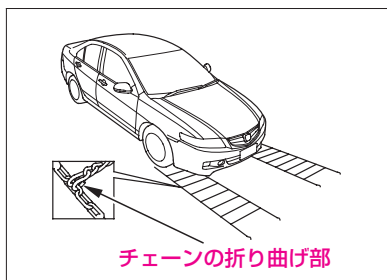
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。

なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

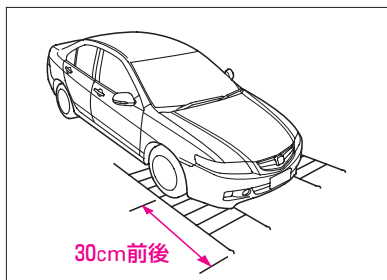
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。

チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。

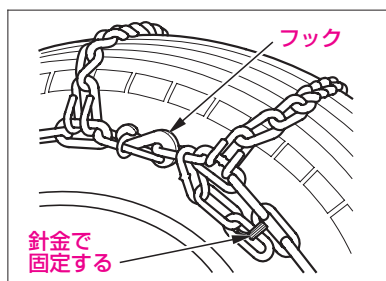
- ①前輪を直進状態にします。
- ②チェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。



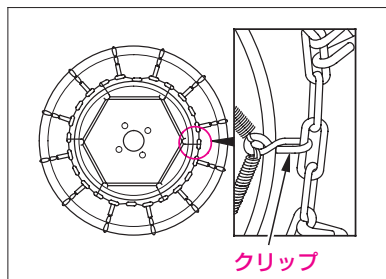
- ③先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。



- ④チェーンをタイヤにまきつけていっばいに引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。
- ⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



- ⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっばいに張ります。



- ⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがなければ確認します。

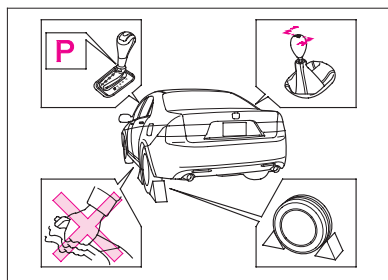


駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車はPに入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

●エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。

・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。

●落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。

・車の屋根などがへこむことがあります。

●ワイパーアームは起こしてください。

・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

ワイパーアームの起こしかた

→407ページ

●長期間使わないで

屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠ 注意

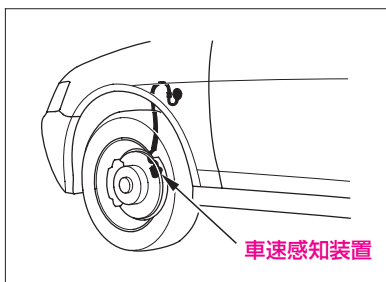
●格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり（前、後輪の4か所）に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はHonda販売店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- 雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- このような状態になると、ハンドルやブレーキが効かなくなり、非常に危険です。

**●ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

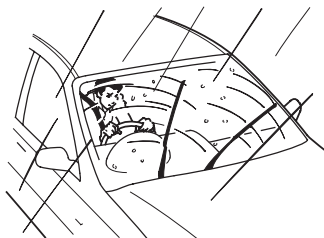
●ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

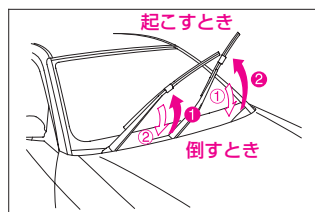
- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

●ワイパーの拭きむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、拭きむらが出て視界の妨げとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



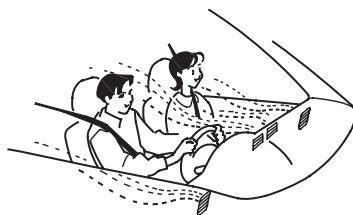
- ワイパーアームを起こしたり倒したりするときは、図の順に行ってください。



夏の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- 冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。



**●炎天下に駐車するときは**

- ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- 走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→348ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

●点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

■適正空気圧で50km走ると50kPa {0.5kgf/cm²} 減

のときに比べてガソリン 150ccの節約。

▲CO₂ 1250g削減(650km/月)



- タイヤの空気圧が低下すると走行抵抗が増加し、燃費に大きく影響します。また、冬用タイヤや幅広タイヤを装着したときも同様に燃費に影響します。

● unnecessary 荷物は降ろして走行しましょう。

■10kgの荷物を降ろして50km走ると、

ガソリン 15ccの節約。

▲CO₂ 130g削減(650km/月)



●エアコンは少し控えめにしましょう。

室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。

■エアコンを6分停止して、ガソリン 70ccの節約。

▲CO₂ 1340g削減(3時間/月)

- エアコンは冷媒を循環するため、コンプレッサーをエンジンで駆動しており、エンジンに大きな負荷が発生します。それを補うため、燃料消費が多くなります。

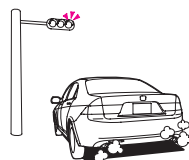
●ヘッドライトやリヤデフロスターは電力を多く消費するため、不必要なときはスイッチを“OFF”にしてください。

- 発電機はエンジンで駆動しており、消費電力が増加すると発電量が増加し、エンジンの負荷が大きくなり、それを補うため、燃料消費が多くなります。



●空ぶかしはしないようにしましょう。

■空ぶかしを1回やめて、ガソリン 6 ccの節約。

▲CO₂ 1150g削減(300回/月)

●長時間停車するときは、エンジンを停止してください。

また、長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。

■5分間のアイドリングを止めて、ガソリン
65ccの節約。▲CO₂ 420g削減(10回/月)

●変速位置の選択は、走行速度や坂の勾配に合わせて適切に行ってください。

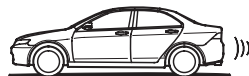
- ・オートマチック車は通常は回で走行します。
- ・下り坂で速度が出すぎてしまうときは、オートマチック車は、にし、マニュアル車またはオートマチック車のシークエンシャルモードのときは、ギヤを一段ずつ落としてエンジンブレーキを使います。



- 下り坂などでエンジンブレーキを使う目的で、より低速のギヤを有効に使うと、燃料カットの時間が長くなり、燃費が良くなることがあります。

●経済速度について

- ・高速道路では100km/hを80km/hにして燃費10～30%の節約。
- ・一般道路では法定速度(40～60km/h)の範囲で一定走行すると燃費は良くなります。



参考資料＊社団法人日本自動車工業会：「あしたへECO-MOTION」参照

《対象車種2.0L 乗用(AT)の燃費＝11.7km/l(10・15モード)が計算ベース》

●10・15モード燃費について

10・15モード燃費とは

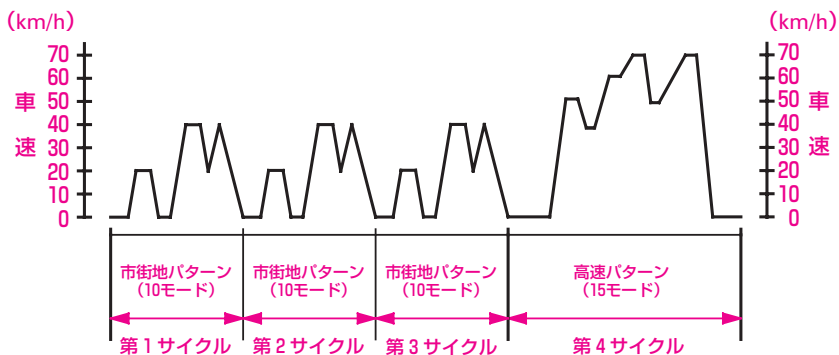
東京都内の幹線道路における平均的な走行形態の10モードと、高速走行や渋滞など大都市における走行形態を反映させた15モードを図のように

- ・市街地パターン(10モード)を3回
- ・高速パターン(15モード)を1回

の計4サイクルで走行したときの排出ガス量(g/km)を測定します。

このときに消費した燃料を10・15モード燃費(km/l)として表示しています。

*計測走行距離 4.2km、平均時速 23km/h





10・15モード燃費と実走行燃費との違い

10・15モード燃費は図のようにシャーシダイナモーター上で定められた試験条件のもとで行われた燃費値です。

実際の走行時には気象、道路、車両、運転、整備などの状況が異なってきますので、それに応じて燃費が異なります。



10・15モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

- ・ 完全暖機状態 60km/h 15分暖機後モード測定
- ・ 走行抵抗設定 車両(空車)状態+110kg(2名乗車分)
- ・ 搭載電気機器“OFF”状態
- ・ エアコン“OFF”で測定

クラッチフルードタンク
マニュアル車

エアクリーナー
エレメント

エンジンオイル注入口

エンジンオイル
レベルゲージ

ブレーキ液リザーブタンク

ウォッシャー液
タンク

エアコン冷媒量
点検窓

補機ベルト

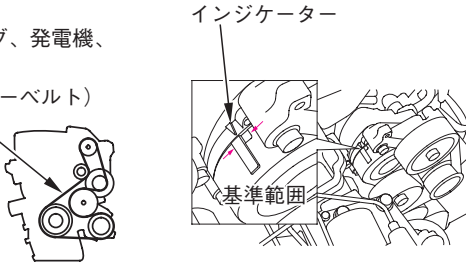
冷却水
リザーブタンク

ラジエーター
キャップ

バッテリー

トランスミッション
オイルレベルゲージ
オートマチック車

点検整備については「メンテナンスノート」も合せてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
ベルトのたわみ量	補機ベルト (パワーステアリング、発電機、 ウォーターポンプ、 エアコンディショナーベルト)			
	発 電 機 ベ ル ト	自動調整式(インジケーターが基準範囲内にあること)		
点 火 プ ラ グ	タ イ プ	20A	NGK	ZFR6K-11
		20EL	DENSO	KJ20DR-M11
		Euro R*	NGK	IFR7G-11KS
			DENSO	SK22PR-M11S
		Type S*	NGK	IZFR6K-11
	24TL*	DENSO	SKJ20DR-M11	
	電 極 の す き 間 (基準値)	1.0－1.1 mm		
ブレーキペダル	遊 び	1－5 mm		
	床板とのすき間	マニュアル	107 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}	
		オートマチック	112 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}	
	カーペットとのすき間 (参考値)	マニュアル	77 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}	
オートマチック		82 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}		
クラッチペダル	遊 び	10－18 mm		
	床板とのすき間	92 mm 以上(クラッチが切れたとき)		
	カーペットとのすき間 (参考値)	62 mm 以上(クラッチが切れたとき)		
パーキングブレーキ	引 き し ろ	7－9 ノッチ {約196N(20kgf)の力}		

※：イリジウムプラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・イリジウム合金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。基準値をこえているものは交換してください。
(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
バ ッ テ リ ー	容 量 / タ イ プ	20A、20EL、	36AH(5)／46B24L ※1
		Euro R	36AH(5)／55B24L ※2
		Type S、24TL	36AH(5)／55B24L
電 球 (バ ル ブ)	W (ワット)／CP (キャンドルパワー)数 [CP (キャンドル パワー) :光度の単位]	ヘッドライト(ロービーム).....	12V-35W ※3
			12V-55W ※4
		(ハイビーム).....	12V-55W ※4
		フォグライト.....	12V-55W ※4
		前面方向指示器／前面非常点滅表示灯 ..	12V-21W
		車幅灯.....	12V-5W
		側面方向指示器／側面非常点滅表示灯 ..	LED
		後面方向指示器／後面非常点滅表示灯 ..	12V-21W
		番号灯.....	12V-5W
		制動灯／尾灯.....	12V-21/5W
		尾灯.....	12V-5W
		ハイマウントストップランプ.....	12V-21W
		後退灯.....	12V-21W
		室内灯.....	12V-8W
		マップランプ.....	12V-8W
		ドア開閉灯.....	12V-3.8W
			(2CP)
		トランク照明灯.....	12V-5W
		バニティミラー照明灯.....	12V-2W

※1 : Hondaインターナビシステム非装備車

※2 : Hondaインターナビシステム装備車

※3 : ディスチャージヘッドライト

※4 : ハロゲンバルブ

⚠ 注意

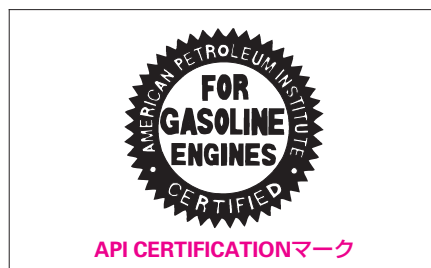
- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずHonda販売店で行ってください。
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラLEO-SM(API SM/GF-4級SAE 0W-20)※ ウルトラLTD-SM(API SM/GF-4級SAE 5W-30) ウルトラMILD-SM(API SM/GF-4級SAE 10W-30) ウルトラGOLD-SM(API SM級SAE 5W-40)		
	規 定 量	オイル交換時	20A、20EL、 Type S、 24TL、	4.0 ℓ
			Euro R	4.2 ℓ
		オイル、オイル フィルター 同時交換時	20A、20EL、 Type S、 24TL、	4.2 ℓ
			Euro R	4.4 ℓ

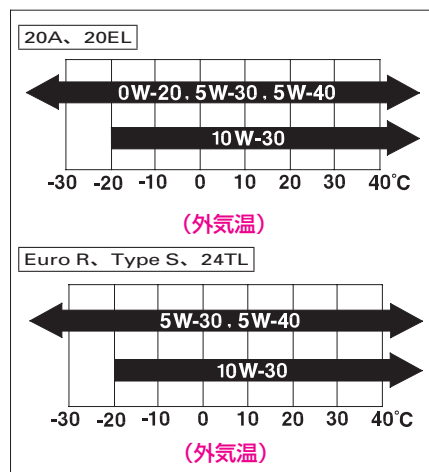
※：0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。
(但し、Euro R、Type S、24TLには使用しないでください。)

推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI S L 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



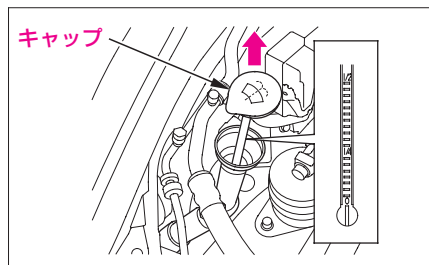
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
燃 料	指 定 燃 料	Euro R、Type S、24TL	無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク)	
		20A、20EL	無鉛レギュラーガソリン (無鉛ハイオクも使用可能)	
	タ ン ク 容 量	2WD車	65 ℓ	
		4WD車	60 ℓ	
トランスミッション オ イ ル	指 定 オ イ ル	マニュアル	Honda純正オイルウルトラMTF-II	
	指 定 液	オートマチック	Honda純正ウルトラATF-Z1	
	規 定 量	マニュアル (交換時)	1.9 ℓ	
		オートマチック (交換時)	2WD車	2.9 ℓ
デファレンシャル オ イ ル (4WD車)	指 定 液	Honda純正ウルトラDPSF		
	規 定 量 (交換時)	1.0 ℓ		
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラ e クーラント		
	規 定 濃 度	50%		
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.6ℓ含む)	マニュアル (交換時)	Euro R	4.8 ℓ
		オートマチック (交換時)	20A、20EL Type S、 24TL	4.4 ℓ 5.0 ℓ
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 または DOT 4		
ク ラ ッ チ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 または DOT 4		
ウ オ ッ シ ャ ー 液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ		
エ ア ク リ ー ナ ー エ レ メ ン ト	タ イ プ	湿式		

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



20A

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	195/65R15 91H	220 (2.2)	210 (2.1)	15×6JJ	15×6JJ
応急用スベアタイヤ	T135/90D15 100M	420 (4.2)		15×4T	

20EL

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	195/65R15 91H	220 (2.2)	210 (2.1)	15×6JJ	
	205/55R16 89V	210 (2.1)	200 (2.0)		16×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T135/90D15 100M	420 (4.2)		15×4T	

Euro R

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	215/45R17 87W	240 (2.4)	230 (2.3)		17×7JJ
応急用スベアタイヤ	T135/80D16 101M	420 (4.2)		16×4T	

24TL

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	205/55R16 89V	210 (2.1)	200 (2.0)		16×6½JJ
応急用スベアタイヤ	T135/80D16 101M	420 (4.2)		16×4T	

Type S

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		※リムサイズ	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ		220 (2.2)	210 (2.1)		
標準タイヤ	225/45R17 90W			16×4T	17×7JJ
応急用スペアタイヤ	T135/80D16 101M	420 (4.2)			

タイヤの溝の深さ	1.6 mm以上
位置交換時期 (タイヤローテーション)	5,000kmごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。

名称	排気量 (cm³)	車体形状	乗車定員 (人)	タイプ	
アコード	1,998	4 ドア ノッチバック	5	20A	2WD
				20EL	
	Euro R				
	Type S				
	24TL			4WD	
	20A				
1,998	20EL				

さくいん

ア

アームレスト	314
アクアクリンミラー	78
親水効果の回復作業	385
雨の日の運転	406
アルミホイールについて	392
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	212
ABSのしくみ	212
警告灯	213
取り扱いについて	213
アンテナ	256

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	34
スイッチ	130
スイッチノブ	376
イモビライザーシステム	60
表示灯	115
イルミネーションコントロール	98
インフォメーションディスプレイ	222

ウ

ウィンカー	
スイッチ	144
電球の交換	365
表示灯	113
W(ワット)数	416
ウィンドー	55
はさみ込み防止機構	57
ウォッシャー液	
スイッチ	146
タンクの容量	418
冬期の手入れ	404
補給	418
雨滴検知センサー	147
運転のしかた	154

エ

エアクリーナーエレメント	418
エアクリーンフィルター	249
エアコン	224
インデックス	226
エアクリーンフィルター	249
常用しないとき	238・248
使いかた	228・240
吹き出し風の調節	225
ベルト	415
AM/FMラジオ一体式CDステレオ	284
AM/FMラジオ一体式CDチェンジャー	
ステレオ	260
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムの効果を	
十分に発揮させるために	190
SRSエアバッグシステムのしくみ	186
お子さまを乗せるときは	191
警告灯	193
作動しないとき	189
作動するとき	188
取り扱いについて	192
エレクトリックパワーステアリング(EPS)	
警告灯	126
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	417
冬期の手入れ	404
エンジンキー(キー)	34
エンジンスイッチ	130
照明灯	309
エンジンスイッチノブ	376
エンジンのかけかた	154
エンジンブレーキ	18
エンジンルーム	414

オ

応急用スペアタイヤ	
格納場所	328
空気圧	419
サイズ	419
スペアタイヤについて	340
オーディオ	254
インデックス	258
上手な使いかた	254
オーディオリモートコントロール	
スイッチ	304
オートエアコン	228・240
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	168
オイル	418
セレクトレバー	162
オートワイパー(雨滴検知ワイパー)	147
オーバーヒートしたとき	348
オドメーター	96
音声操作	
エアコン	236
温度感知装置	238・248

カ

カーゴフック	318
カードホルダー	312・316
外気温表示	97・320
外装の手入れ	382
学童用(ジュニア)シート	15・85
カスタマイズ機能	
カスタマイズ機能について	320
設定をリセットする	326
カップホルダー	317
ガラスの手入れ	384
換気	13
環境にやさしい省エネドライブを するために	410
寒冷時の取り扱い	396

キ

キー	34
キーオフオペレーション	57
キー閉じ込み防止装置	46
キー抜き忘れ警告ブザー	131
キーレスエントリー	35・36
電池交換	374
キックダウン	20

ク

曇り取り(デフロスター)	232・244
クラッチスタートシステム	156
クラッチペダル	415
グラブレード	318
クリープ現象	20
車にあった部品の使用	394
クルーズコントロール	178
表示灯	116
グローブボックス	315

ケ

経過時間表示	103
警告灯	
警告灯類	118
電球切れの点検	128
携帯電話接続端子	314
けん引	
けん引されるとき	334
故障車をけん引するとき	337

コ

工具(ツール)	
格納場所	328
種類	329
航続可能距離表示	103
高速道路で故障したとき	330
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	366
W(ワット)数	416
後部ワイパー(リヤワイパー)	
スイッチ	150
コートフック	318
故障したとき	330
故障の修理について	331
小物入れ	315
コンソールボックス	316

サ

サービスデータ	414
サイドエアバッグシステム／	
サイドカーテンエアバッグシステム	
お子さまを乗せるときは	205
警告灯	209
作動しないとき	200
作動するとき	198
サイドエアバッグシステム自動停止	
表示灯	116・204
サイドエアバッグシステムおよび	
サイドカーテンエアバッグシステムの	
効果を十分に発揮させるために	201
サイドエアバッグシステムおよび	
サイドカーテンエアバッグシステム	
のしくみ	194
乗員姿勢検知システム	203
取り扱いについて	206
三点式シートベルト	83
サングラスホルダー	313
サンバイザー	312
サンルーフ	
作動しないとき	372
サンシェード(遮光板)	58
操作	58

シ

シーケンシャルモード	163
表示灯	114
CD/MD/カセットプレーヤーの 使いかた	276
CDチェンジャーの使いかた	274
CDチェンジャーコントローラー、 CD/MD/カセットプレーヤーの 使いかた	296
CDプレーヤーの使いかた	292
シート	
フロントシート	66・68・70
リヤシート	72
シートヒーター	252
シートベルト	80
種類	82
ショルダーアンカー	87
チャイルドシート固定機構	88
着用のしかた	86
非着用警告灯	123
シートベルトプリテンショナー	
シートベルトプリテンショナー のしくみ	210
取り扱いについて	211
シガレットライター	310
事故が起きたとき	332
室内灯	
使いかた	306
電球の交換	369
W(ワット)数	416
シフトロック装置	23・162・171
霜取り・曇り止め	
前面・側面ガラス	232・244
ジャッキの取り扱い	338
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	364
W(ワット)数	416
車両挙動安定化制御システム(VSA)	
運転のしかた	215
警告灯	217
取り扱いについて	216
VSAのしくみ	214
充電警告灯	123
樹脂塗装部品	383
ジュニア(学童用)シート	15・85

ス

瞬間燃費表示	103
純正部品	394
乗員姿勢検知システム	203
親水ミラー	78
水温計	95
スイッチの使いかた	130
スノータイヤ(冬用タイヤ)	398
スパークプラグ(点火プラグ)	415
スピードメーター	95
スペアタイヤ	
格納場所	328
空気圧	419
サイズ	419
スペアタイヤについて	340

セ

セーフティインジケーター	127
制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	365
W(ワット)数	416
整備	378
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	398
運転するまえ	396
駐車するとき	403
冬期の手入れ	404
セキュリティシステム	
イモビライザーシステム	60
セレクトレバー	
操作	162
ポジション表示灯	114
洗車	382
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	142
上向き表示灯	113
追越合図(パッシング)	142
オートレベリング機能	142
スイッチ	140
電球の交換	361・362
ヘッドライトレベリングダイヤル	143
W(ワット)数	416
前席シート	
パワーシート	66
マニュアルシート	68
レカロシート	70
センターボックス	315

ソ

速度計	95
速度範囲	161・165
その他の安全装備	220

タ

タイヤ	
位置交換(ローテーション)	390
ウェアインジケーター	389
応急用スベアタイヤ	340
空気圧	419
交換	341
サイズ	419
スノータイヤ	398
チェーン	400
タコメーター	95
正しい運転姿勢	64

チ

チェーン	400
チェンジレバーの操作	160
チケットホルダー	312
チャイルド(幼児用)シート	15・85
チャイルドシート固定機構付き	
シートベルト	88
チャイルドシート固定装置	88
チャイルドブルーフ	46
駐車	
坂道	25
積雪・寒冷時の取り扱い	396
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	121
積雪・寒冷時の取り扱い	403
操作	158
チルト/テレスコピックステアリング	74

テ

テザーアンカー	91
デファレンシャルオイル	418
デフロスター	232・244
点火プラグ	415
電気系統が異常のとき	350
電気装置が作動しないとき	354
電球(バルブ)	
交換	359
W(ワット)数	416
点検・整備について	378
電動リモコンドアミラー	76

ト

ドア

開閉警告灯	127
施錠・解錠	39
積雪・寒冷時の取り扱い	397
ドア開閉灯(カーテシーランプ)	308
電球の交換	369
W(ワット)数	416
ドアミラー	76
冬期の手入れ	404
道路で動けなくなったとき	331
時計	283・303
ドライバーズポケット	316
トランク	47
開閉	48・50
開閉警告灯	127
トランク照明灯	
電球の交換	368
W(ワット)数	416
トランスミッション	
オイルの容量	418
警告灯	123
トリップメーター	96・104

ナ

内装の手入れ	386
夏場の取り扱い	408

ニ

日常の手入れ	380
乳児用(ベビー)シート	15・85

ネ

燃料(ガソリン)

指定燃料	53・418
タンク容量	53・418
燃料計	95
燃料残量警告灯	124
補給口	53

ハ

パーキングブレーキ

警告灯	121
積雪・寒冷時の取り扱い	403
操作	158
灰皿	311
ハイドロプレーニング現象	406
ハイビーム表示灯	113
ハイマウントストップランプ	220
電球の交換	366
W(ワット)数	416
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	145
電球の交換	365
W(ワット)数	416
発炎筒	
格納場所	328
発炎筒について	329
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	75
バッテリー	
充電	351
冬期の手入れ	404
バッテリーあがり	350
容量/タイプ	416
発電機ベルト	415
バニティミラー(化粧鏡)	312
電球の交換	371
W(ワット)数	416
パワーウィンドー	55
パワーステアリング(EPS)	
警告灯	126
パワーシート	66
パワードアロック	40
バンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	399
バンクしたとき	338
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	368
W(ワット)数	416

ヒ

ビークルスタビリティアシスト(VSA)

運転のしかた	215
警告灯	217
取り扱いについて	216
VSAのしくみ	214
PGM-FI警告灯	122
ヒートッドアミラー	77
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	145
電球の交換	366
W(ワット)数	416
尾灯	
電球の交換	365・366
W(ワット)数	416
ヒューズ	354
表示灯	110

フ

吹き出し風の調節	225
フォグライト	
スイッチ	144
電球の交換	363
W(ワット)数	416
踏切で動けなくなったとき	330
フューエルリッド	54
プラグ	415
ブレーキ	
警告灯	121
積雪・寒冷時の取り扱い	399
倍力装置	18
ペダル	415
ブレーキアシスト	219
フロントシート	
パワーシート	66
マニュアルシート	68
レカロシート	70

へ

平均車速表示	103
平均燃費表示	104
ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	142
上向き表示灯	113
追越合図(パッシング)	142
オートレベリング機能	142
スイッチ	140
電球の交換	361・362
ヘッドライトレベリングダイヤル	143
W(ワット)数	416
ヘッドレスト	67・69・72
ベビー(乳児用)シート	15・85
ベルトのたわみ量	415
ペンホルダー	316

ホ

ホイールサイズ	419
防眩式ルームミラー	75
芳香剤	386
方向指示器(ウィンカー)	
スイッチ	144
電球の交換	365
表示灯	113
W(ワット)数	416
ホーンスイッチ	152
本革の取り扱い	387
Hondaスマートキー	36
電池交換	374
Hondaスマートキーシステム警告灯	124
ボンネット	51

マ

窓ガラスアンテナ	256
マップランプ	
使いかた	307・308
電球の交換	370
W(ワット)数	416
マニュアルシート	68
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	100
万一のとき	327

ミ

ミラー	
ドアミラー	76
ルームミラー	75

ム

無線装置	27
------	----

メ

メーター(計器類)	94
-----------	----

ユ

油圧警告灯	122
雪道走行後の手入れ	404

ヨ

幼児用(チャイルド)シート	15・85
四輪駆動機構(4WD)	
運転するときは	218
取り扱いについて	218

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	141
ライトスイッチ	140
ライト点灯表示灯	113
ライト類が点灯しないとき	354
ラジオの使いかた	262・288
ランバーサポート	67

リ

リミテッドスリップデフ(LSD)	
LSDのしくみ	184
取り扱いについて	184
リムサイズ	419
リモートコントロールドアミラー	76
リヤシート	72
リヤデフロスター	151
リヤワイパー	150

ル

ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	75
------------------	----

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	418
冬期の手入れ	404
レカロシート(RECARO)	70

ワ

ワイパー	
スイッチ	146
積雪・寒冷時の取り扱い	397
ワックスがけ	383

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	212
ABSのしくみ	212
警告灯	213
取り扱いについて	213
A/C(エアコン)	
使いかた	228・240
吹き出し風の調節	225
ベルト	415
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	168
オイル	418
セレクトレバー	162

C

CDチェンジャーの使いかた	274
CDプレーヤーの使いかた	292

E

ELR付三点式シートベルト	82
ELR・ALR付三点式シートベルト	82
EPS(エレクトリックパワーステアリング)	
警告灯	126

H

Hondaインテリジェントドライバー サポートシステム(HiDS)	
作動表示灯	117
警告灯	125
Hondaスマートキー	36
電池交換	374
Hondaスマートキーシステム警告灯	124

I	
INT(間欠ワイパー)	147
ISO FIXテザータイプチャイルドシート 固定装置	90

L	
LSD(リミテッドスリップデフ) LSDのしくみ	184
取り扱いについて	184

M	
MT(マニュアルトランスミッション) オイル	418
チェンジレバー	160

P	
PGM-FI警告灯	122
PRESS(シートベルトバックル)	87

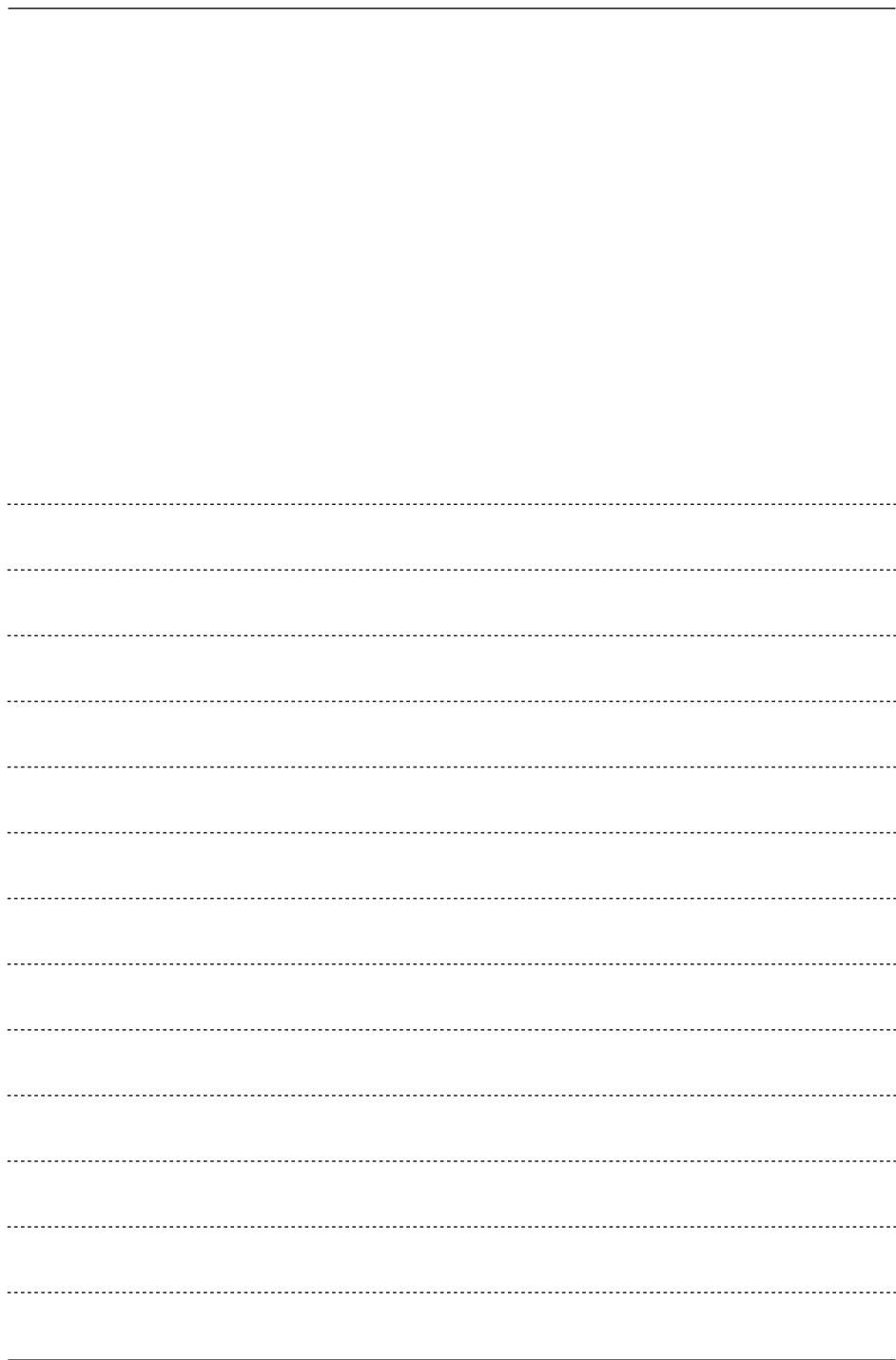
R	
RECARO(レカロシート)	70

S	
SRSエアバッグシステム SRSエアバッグシステムの効果を 十分に発揮させるために	190
SRSエアバッグシステムのしくみ	186
お子さまを乗せるときは	191
警告灯	193
作動しないとき	189
作動するとき	188
取り扱いについて	192

T	
TRIP(トリップメーター)	96・104

V	
VSA(ビークルスタビリティアシスト) 運転のしかた	215
警告灯	217
取り扱いについて	216
VSAのしくみ	214

W	
W数(ライト類の電球のワット数)	416



お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010 イイフリーダイヤル

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
〒351-0188 埼玉県和光市本町 8 - 1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ①車検証記載事項 車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
②車種名、タイプ名、走行距離 ③ご購入年月日 ④販売店名

エアバッグシステム故障診断記録装置について

この車には、エアバッグシステムを制御するためのコンピューターが搭載されており、衝突によりセンサーが一定以上の衝撃を感知したときには次の内容をデータとして記録します。

- ・エアバッグシステムの故障診断情報
- ・エアバッグの作動に関する情報
- ・助手席乗員の有無(サイドエアバッグシステム装備車)

これらのデータはお車を所有されるかたのものであり、次の場合を除き、利用されることはありません。

- ・エアバッグシステムを点検、修理するとき
- ・お車の所有者または使用者の同意があるとき
- ・裁判所の命令等、法的強制力を持つ要請があるとき

こんなことでお困りのとき

●キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで解錠しても、自動で閉まってしまう

- ・キーレスエントリーまたはHondaスマートキーで解錠してから、ドアを開けないまま、約30秒たっていませんか。

キーレスエントリーで施錠・解錠するとき →40ページ

Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき →42ページ

●エンジンスイッチが回せない

“0”から“1”に回らないとき（ハンドルロックの解除）

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →131ページ

Hondaスマートキーシステム装備車

- ・ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回すか、エンジンスイッチノブを押し直してゆっくり回してください。

エンジンスイッチ →134ページ

“1”から“0”に回らないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーがⅡに入っていますか。

キーを抜くとき →130ページ

●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーがⅡかⅢに入っていますか。
- ・イモビライザーシステム表示灯が点滅していませんか。

イモビライザーシステムについて →60ページ

Hondaスマートキーシステム装備車

- ・Hondaスマートキーに異常はありませんか。

エンジン始動の作動範囲 →133ページ

- ・ガソリンが入っていますか。（メーター内の燃料計で確認してください。）
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →350ページ

- ・マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込んでいますか。

クラッチ・スタートシステム →156ページ

●セレクトレバーがⅡから動かせない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
（操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。）

セレクトレバーが動かないとき →171ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →23ページ

●パワーウィンドーの開閉ができない

- ・パワーウィンドーのメインスイッチが“OFF”になっていませんか。

パワーウィンドー →55ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

「ピピピピ」とブザーが繰り返し鳴り続けるときは

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →131ページ

Hondaスマートキーシステム装備車

- ・エンジンスイッチを“0”(ブッシュオフ)以外にいませんか。

エンジンスイッチ警告ブザー →135ページ

「ピー」とブザーが鳴り続けるときは

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →141ページ

●後席ドアが室内から開けられない

- ・チャイルドブローフが施錠されていませんか。

チャイルドブローフ →45ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計の針が“H”の目盛に入った

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。

(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)

オーバーヒートしたとき →348ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。

(Honda販売店で点検を行ってください。)

●走行中にブレーキを踏むと、ペダルが振動する

- ・アンチロックブレーキシステム(ABS)が作動したものと思われます。

ABSのしくみ →212ページ

●走行するとブザーが鳴る

ブザーが鳴り、シートベルト非着用警告灯が点滅しているときは

- ・運転席シートベルトを着用していますか。

(運転席シートベルトを着用してください。)

シートベルトリマインダー →83ページ

ブザーが鳴り、ブレーキ警告灯が点灯しているときは

- ・パーキングブレーキを完全に解除していますか。

(パーキングブレーキを完全に解除してください。)

ブレーキ警告灯 →121ページ

パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー →159ページ

●チェンジレバーがRに入らない **Euro R**

- ・停車してもRに入らないときは、一度Nへ戻し、1、2側に倒してからRに入れてください。

Rに入らないとき →160ページ

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manual のホームページ
<http://www.honda.co.jp/manual/>